

# 官報

號外

明治二十五年六月三日

金曜日 內閣官報局

## 第三回衆議院議事速記録第十七號

明治二十五年六月二日(木曜日)午後一時十七分開議

議事日程 第十八號 明治二十五年六月二日

午後一時 開議

第一 鐵道公債法案(政府提出)

第一讀會ノ續キ(特別委員)

第二 施設鐵道買收法案(政府提出)

第一讀會ノ續キ(特別委員)

第三 政談集會政社法案

第二讀會

第四 府縣制改正法案(朝長慎三君外三名提出) 第一讀會

○議長(星亨君) 是ヨリ報道ヲ致シマス

(水野書記官長朗讀)

政府ヨリ左ノ通牒アリタリ

政府ノ提出ニ係ル施設鐵道買收法案ハ鐵道公債法案議決ノ後ニ於テ議事ニ付セラレ度此段及請求候也

明治二十五年六月二日 內閣總理大臣 伯 岡 松 方 正 義

衆議院議長星亨殿

區裁判所檢察局檢察補設置ニ關スル法律案ヲ政府ヨリ提出セラレタリ

岡崎運兵衛君、井上角五郎君、上田農夫君ヨリ製鋼原料調査並ニ製鋼試驗ニ關スル建議案ヲ提出セラレタリ

○議長(星亨君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、柴四朗君江龍清雄君ハ病氣ニ附キ各、二週間ノ請假ヲ願出ラレマシタガ、例ニ依ッテ御許シニナリマス

(異議ナシ異議ナシト呼ブ者多シ)

○議長(星亨君) 然ラバ御許ニナルコトニ取極メマス

○鈴木重遠君(二百一十八番) 唯今ノ御報告デゴザイマスガ、——何デゴザイマスガ、鐵道公債法案ヲ議シ終ッテ施設鐵道買收法案ヲ議シテ吳レト云フコトヲ、政府カラ請求ガアツタノデゴザイマスガ

○議長(星亨君) ツレハ今報道シヤウト考ヘル、今日議事ニ掛リ掛ケテ居ル鐵道公債法案ト、施設鐵道買收法案トノ何デゴザイマスガ、委員會ヨリノ報告ニ依リマス、之ヲ二ツニシ、——一ツノモノヲ一ツニシ、其他ノ同様ノ議案モ一緒ニシテ、サウシテ一ノ修正案ガ出テ居リマス、ツレデアリマスカラ、ドウモ一進ニシテ行キカト云ヘバ、即チ第一ニ鐵道公債法案ヲ原案トシテ、サウシテ委員會ノ報告ヲ即チ修正案ニ致シテ、ツレガ極マツタ上デ施設鐵道買收ノ方ニ移ラナケレバナラヌデアリマス、サウ云フ譯カラシテ茲ニ二ツ出テ居ルカラ、今日鐵道公債法案ハ一讀會ニ讀會ニ讀會ヲ開イテ仕舞ッタナラバ、今日直チニ買收案ノ會讀ニ取掛ルコトモ出來マスケレドモ、若シサウ

デナク一讀會ヲ開イテ二讀會ハ二日以後ニ開クト云フコトニナルト、直チニ買收法案ノ討議ニ掛ラナケレバナラヌ、サウ云フ譯カラシテ政府ニ於テハ鐵道公債法案ノ濟ンダ上デ、買收案ノ方ニ掛ッデ貫ヒタイ、斯ウ云フ請求デゴザイマス

○鈴木重遠君(二百一十八番) サウスルト施設鐵道買收法案ト云フノハ……、鐵道ハ總テ國ノ所有ニスルト云フノデゴザイマスカラ……

○議長(星亨君) エ……ドウ云フノデスカ

○鈴木重遠君(二百一十八番) 國ノ所有トアルカラ、是ガ決シナケレバ鐵道公債法案ノ議モ從テ出來ナイ様ニ思ヒマス

○議長(星亨君) 其出來ルカ出來ナイカト云フ、ソコノ所ハ議論モアル所デゴザイマセウガ、詰リ一時政府カラ施設鐵道買收法案ハ鐵道公債法案ノ後ニ議シテ貫ヒタイト云フ、斯ウ云フ趣意カラ出テ居ルノダサウデゴザイマス、公債法案ガ否決シテ仕舞ッテ、買收ノコトモアリマスガ、鐵道買收法案ト云フモノハ……、ソコヲノ所ハ豫メ言フ譯ニハ行キマセマスデゴザイマスカラ、鐵道公債法案ヲ先ニ議シテ貫ヒナケレバ都合ガ惡イト云フ譯ノ様ニ思ヒマス

○鈴木重遠君(二百一十八番) シテ見マスルト轉倒シテ居ル様ニ思ヒマスガ……

○議長(星亨君) 轉倒シテモ……鐵道公債ノ中ニ買收ノコトハ書イテアツタ所ガ、是ハ矢張所謂修正案デスカ何トデモ議スルコトモ出來レバ、又修正スルコトモ出來ルト思ヒマス

○東尾平太郎君(百九十九番) 今政府ハ如何ナル政略ニヨッテ此宣告ヲサレマシタカ分リマセマスガ、私等ハ議案ノ性質上ヨリ考ヘマスレバ政府ハ國有鐵道ニスルニ就イテ之ヲ許スヤ否ヤト云フ……、ツレニ就イテノ問題デアルカラ、ドウシテモ施設鐵道買收法案ヲ先ニシナケレバナラヌト思ヒマスカラ、政府ノ請求ニ反對シテ第一著ニ買收法案ヲ先キニセラレンコトヲ望ミマス

○議長(星亨君) ドウ言ッテモ、ツレハ政府カラサウ言ッテ來テアルノダカラ……

○東尾平太郎君(百九十九番) ツレダカラ政府ノ提出ノ請求ヲ多數ヲ以テ拒絶シタイノ精神デゴザイマス

○石田貫之助君(百七十八番) 私モ百九十九番ト同意デゴザイマス、啗ニ此政府ト云フモノ、請求ヲ拒絶シタイト云フノ私ノ精神デハナイ、隨分ツレガ宜シケレバ取ルガ宜シウゴザイマスガ、併ナガラ之ヲ議スル順序ト云ヘバ鐵道買收法案ヲ先キニスルト云フコトハ頗ル至當ナコトデアル、又サウナケレバナラヌト考ヘル、何トナレバ是ハ我國ノ鐵道ヲシテ國有鐵道ニシテ仕舞フ

ト云フ大體ノ方針デ、國家百年ノ大計ヲ定ムル所デゴザイマス、抑政府ガ左様ナコトヲ請求シテ來ルノガ元來異ナコトダガ、ツレハ私ハ別ニ言ハヌガ、此何レヲ先ニシ、何レヲ後ニスルト云フコトヲ能ク考ヘマシタナラバ、鐵道買收法案ガ先ニナルノハ洵ニ議事ノ順當ヲ得タルモノト考ヘマス、故ニ私ハ議事ノ變更、即チ百九十九番ノ說ニ贊成致シマス

○議長(星亨君) ツレハ議事日程ヲ變更シタイト云フノデゴザイマスネ  
○東尾平太郎君(百九十九番) 左様、議事日程ノ變更デゴザイマス  
○議長(星亨君) 是カラ變更シタ所ガ、ツレヲ引イテ吳ロト云フノダカラ、  
之ヲ強テ政府ニ出サセルト云フノデゴザイマスガ

○石田貫之助君(百七十六番) ツレハ政府カラ唯之ヲ先キニシテ吳レト云フ  
ノデゴザイマスカラ、議案デモ問題デモ何デモナイ、ダカラ返答ニモ回答ニ  
モ及バナイ、本當ハ政府ハコナコトヲ爲スベキモノデナイ

○議長(星亨君) 百七十六番ニ言ヒマスガ、其事ハ今迄ニ例ノアルコトデゴ  
ザイマスカラ、行ケマセヌト云フモノハ、一時此議事日程カラ引イテ貫フト  
云フコトハ是迄幾ラモ例ノアルコトデ、ゴザイマスカラ、議シタクモ爰ニハ  
無イモノナリマスカラ

○石田貫之助君(百七十六番) ツレハ引クト云フノデハナイ、唯之ヲ前後シ  
テ貫ヒタイト政府ハ言フノダカラ、一時引クト云フノトハ譯ガ違フ、政府ガ  
引クト云フコトナラバ宜シク撤回スルガ宜シイ

○議長(星亨君) 一時引クトハ是ハ出來ルノデス、今迄ノ例ニ依レバ出來  
ルノデス

○石田貫之助君(百七十六番) ツレハ一時引クトデハナイ  
○東尾平太郎君(百九十九番) ドウシテモ政府ガツレヲ……  
○鈴木萬次郎君(三十六番) 幾人モ起ツテハ、何ヲ言フノカ分ラヌ  
○東尾平太郎君(百九十九番) モウ一度ツレヲ……

○議長(星亨君) ドツチガ言フ積リデスカ  
○石田貫之助君(百七十六番) 發言ハ私ガ許サレテ居ル  
○議長(星亨君) 宜シイ、ツレナラバ百七十六番ニ許シマセウ

○石田貫之助君(百七十六番) 議長ハ縱令サウ言ハレテモ、私ハ一時引クト  
云フノトハ事柄ガ違フト思フ、政府ハ後ノ議題ニ掛ケテ吳ロト云フ議事ノ順  
序ノ請求デ、一時引クト云フノデハナイ、一時引クナラ撤回ヲスルガ宜シイ、  
引クト云フ精神トハ私ハ違フト思ヒマスカラ、爰ニ決議サヘスレバ宜シイト  
思フ

○議長(星亨君) ツレハ一時引クトデ撤回トハ違フ、今迄幾ラモ例ガアルカ  
ラ、ツレハ一時引クトニナルノデアリマス、政府カラサウ云ツテ來レバ許  
ス譯ニナル

○石田貫之助君(百七十六番) ツレハ違ヒマス  
○山田東次君(百三番) 一時引クト云フノハドウ云フノデスカ……、撤回シ  
タノデナイカラ、唯議事ヲ先キニ延バシテ吳レト云フノデセウ

○議長(星亨君) ツレダカラ一時引クトニナリマス  
○伊藤大八君(九十七番) 唯今石田君カラノ議論モゴザイマスシ、是ハ議論  
ニナリマシタ以上ハ、政府ノ要求ヲ容レルヤ否ヤト云フ決ヲ採ルヨリ外ニ仕  
方ガ無イト考ヘマス

○議長(星亨君) ツレハ採リマセヌ、一時引クト云フノハ蠶絲ノコトモゴザ  
イマスシ、鐵道法案ニ就イテモ幾ラモ例ガアリマス

○伊藤大八君(九十七番) トコロガツレハ議事ノ進行上買収法案ヲ先ニスル  
ガ宜シイト見レバ、ツレヲ先ニスルガ宜シイ、其公債法案ヲ議シテ其結果上  
或ハ買収法案ヲ撤回スルカシナイカト云フコトガアルカモ知レナイ、何シロ

議論ニナツタ以上ハ先決問題トシテ決ヲ採ツテ貫ヒタイ  
(發言ヲ求ムル者多シ)

○議長(星亨君) 誰ニモ發言ハ許シマセヌ……、誰ニモ許シマセヌ  
○東尾平太郎君(百九十九番) 私ガ言フ所ハ……、斷ツテ發言ヲ請求スル  
○議長(星亨君) 請求シテモ私ガ言フ間ハアナタハ止メテ居ラナケレバナラ  
ヌ、ツレデハ是ハ政府カラシテ一時引クト云フコトノ要求ガ出テ居ツテ、是ハ  
今迄ノ例ニ依ツテ引キ得ルト云フコトガ定ツテ居レバ、縱令是ガ先キニト云ツ  
タ所ガ先キハ無イノデアアル、先キニシヤウト言ツタ所ガ出來ナイモノデアアル、  
出來ナイモノ先キニスルト云フコトハ出來マセヌ

○加藤政之助君(百二十七番) 私ハ議長ニ質問致シタクゴザイマスガ、政府  
ノ今ノ要求ハ言葉ヲ以テ議長ニ請求シテ來タカ、書面ヲ以テ請求シタカ、若シ  
書面ヲ以テ請求シタナラバ、其書面ヲ爰デ朗讀シテ貫ヒタイ

○議長(星亨君) 今朝讀シタ  
(笑聲起ル)

○魚住逸治君(十五番) 是ハ議員カラ提出シテ居ル法案ヲ暫ク後トヘ廻ハシ  
テ吳レト云ツテ提出者カラ引イテモ、議院規則カラ衆議院規則ノ六十條ノ末項  
ニ依レハ、前後スルハ一向差支ナイノデアアル、又政府ガ之ヲ撤回スルト云フ  
デモナイ、私ハ六十條ニ依ツテ差支ナイト思ヒマス

○東尾平太郎君(百九十九番) 今議長ノ言フニ、政府ガ此買収法案ヲ引イタ  
ト云フガ決シテ私ハサウハ思ヒマセヌ、先キニ書記官ノ朗讀デハ買収法案ヲ  
後ニシテ、公債法案ヲ先キニシテ吳レト云フノデアラウガ、政府ガ引イテ吳レ  
ト請求スルナラバ、速ニ撤回スルガ宜イ、私ハ飽クマデモ議事日程ヲ變更シ  
テ、買収法案ヲ先キニセンコトヲ望ミマス

○加藤政之助君(百二十七番) 私ハ居リマセヌデゴザイマスガ、今東尾君  
ノ言フニ政府ハ之ヲ引クト云フデハナク、之ヲ後トニシテ吳レト云フ要求デ  
アル、然ラバ茲ニ議案ガ矢張成立ツテ居ル、成立ツテ居ルナラバ東尾君ノ言フ如  
ク、議事日程ヲ變更スルヤ否ヤヲ議決スルハ差支ナイト思ヒマスガ、議長ハ何  
故ニ御差支デアリマスカ

○議長(星亨君) ツレハ議長ノ職權デアリマス、議事日程ヲ定ムルノハ議長  
ノ職權デアリマスカラ、政府ガ後トデ議スルト云フコトヲ申シテ來タラ之ヲ  
先キニスルコトハ言ヘナイ、故ニ議院ニ諮フノ必要ガナイ

○島田三郎君(百五十一番) 政府ガ請求シタカ命令シタカ、承リタイ  
○議長(星亨君) 先キニシテ貫ヒタイト言フノデアアル

○島田三郎君(百五十一番) 請求シタノデアレバ……  
○議長(星亨君) ツレナ尻理屈ハ止メニシテ

○島田三郎君(百五十一番) 尻理屈デハナイ、政府ノ要求ヲ拒ムコトガ出來  
ヌト云フノハ將來マデ關係スル

○議長(星亨君) 今マデニ後トニシテ貫フトカ、若クハ此事ニ就イテハ一時  
引クト云フコトハ幾ラモアル

(引クト書イテアルカト呼ブ者アリ)  
(議長胡魔化シテハ行ケナイト呼ブ者アリ)

○島田三郎君(百五十一番) 議長ノ唯今ノコトハドウシテモ、モウ一度朗讀  
シタラ分ル、議院ハ拒ムト云フコトハ出來ヌカ

○議長(星亨君) 外ノ者ハ默レ

○福田久松君(二百八十四番) 議長ニ伺フコトガアル、先程朗讀ニハ鐵道公債法案ヲ先キニ議シテ吳イ、買収法案ハ後トニ議シテ吳イト云フ請求ノ様ニ聞キマシタ、今書記官ノ手許ニ行ッテ開ケバ、書記ノ方ハ參ッテナイト云フコトデアリマスガ、私ノ考デハ唯鐵道買収法案ヲ後ニシテ吳イト云フコトデアリマス、議長ハ議案ヲ一時引イタト云フコトデ、先例モアルカラ斯クミト仰シヤリマスガ、議長ハ何時モ何ノ規則ニ貴方ハ御依リナサルカト斯様ナ御問デアリマスガ、私ハ議長ハ規則ノ何條ニ御依リニナッテサウ云フノデアリマスカ

○議長(星亨君) 宜シウゴザイマス、議院規則ノ二十六條ニ依リマス  
○清水文二郎君(四十五番) 四十五番ハ政府ノ請求シタノハ至極相當デアルト思ヒマス、ナゼ相當カト云フニ(無用ト呼ブ者アリ)無用デハナイ、默ッテ聞ケ、相當カト云フニ、公債法案ヲ議シテ鐵道ハ要ラヌト決スレバ、買収法案ハ入ラナクナルノデアアル、故ニ是ハ相當デアアル、議長ニ賛成デ(笑聲起ル)

○島田三郎君(百五十一番) 誠ニ此事ハ簡單ノコトデアルカラ、直チニ議事ノ進行ニナスデアラウト思ッテ居リマシタガ、茲ニ紛亂ヲ生ジマシタ、此事ハ後來議院ノ權利ニ關係スルコト、思ヒマス、政府カラ請求シテ之ヲ拒ムコトガ出來ヌト云フコトガ速記録ニ載リマシタハ、後來大切ナコトデ、政府ハ固ヨリ斯様ナ請求ハ爲シ得ラル、コトデアリマスカラ、ソレニハ斯様ニシタイト云フ理由アラウカラ、其理由ヲ説キ明スガ至當デアアル、議院モ公平ノ考ヲ以テ其理由ヲ正當トスレバ、其請求ヲ容レテ宜シイ、併ナガラ如何ナル理由カト云フコトモ知ラズ、唯拒ムコト能ハスト云フコトヲ例ヲ殘シテハ、向來議會ノタメニ惜ムコト、思ヒマス、如何ナル理由ヲ以テ政府ハ此請求ヲナスカ、先ツ是ハ請求ヲ容レテ宜シイカ否ヤト云フコトヲ、議會ノ權利ヲ決シテ定メルガ至當ト斯様ニ考ヘマスカラ、御同意ヲ得タイタメニ簡短ニ主意ヲ述ベテ置キマス

(贊成々々反對々々ノ聲起ル)  
(此時發言ヲ求ムル者多シ)  
○島田三郎君(百五十一番) 贊成ガアリマスカラ、決ヲ採ルコトヲ望ミマス  
○議長(星亨君) 議長ハ饒舌ル特權ヲ以テ居ルカラ、議長ガ言フニヤ諸君ハ默ッテ居ランケレバナラス  
○立川雲平君(二百六十七番) 唯今ノ事ニ就イテ議長ノ言フ事ニ就イテ申シマス

○議長(星亨君) 諸君ハ能ク譯ガ分ッテカラ議論ヲシテ貰ハナケレバナラナイ、元來今日ノ議事日程ト云フモノハ第一ニ鐵道公債法案ト、第二ニ私設鐵道買収法案ト書イテアル、之ヲ出スニハ議院法ニ於テ政府ノ法案ト云フモノハ先キニシナケレバナラヌト云フコトノ外ハ、議長ガ定ムルノ權利ヲ以テ居ル、宜シウゴザイマスガ、議長ガ定ムル權利ヲ以テ即チ鐵道公債法案私設鐵道買収法案ト定メタノデ、ソレデ政府ハ此通リシテ貰ヒタイト云フノデ、唯此通リダケレドモ、之ヲ先キニ議シテ貰フテ仕舞フタ上デ、買収法案ヲ議シテ貰ヒタイト云フノデアリマスカラ、若シ諸君ガ之ヲドウシテモ肯カヌト云フナラ、

詰ル所ハ議事日程ヲ變換スルノ動議ヲ起サナケレバナラナイ、政府ノ承諾ヲ得タ上デナケレバナラナイ、ソレガ即チ此規則デアリマスカラ、諸君ハ即チ議事日程ノ第二ヲ先キニシタイト云フナラバ、議事日程ノ變換ヲスルノ外ナイ

○立川雲平君(二百六十七番) 議長ハ議院法ノ二十六條云々ト云フコトデアリマス、併シ政府カラ請求ガアッテ政府ノ請求ヲ容ル、ヤ否ヤト云フ説ガ一場ノ議論ニナッテ以上ハ、其儘等閑ニ付スルコトハ出來マセヌ、若シモ議長ガ特權ナラザラズ、政府ガ斯ノ如キ請求ヲスルト云フハ、唯今ノ報告ニ依レバ無用ナ話デスノ如キ無用ナル請求ヲ議長ガ默ッテ議場ニ報告ナサルト云フハ、平生ノ議長ニモ似合ハナイ……

○議長(星亨君) 宜イ、斯ウ致シマス、全體議長ノ特權デアルト云フナラバ、諸君ハ喙ヲ容レルトハ出來ナイ、議長ノ特權デアルト極メタ以上ハ……  
○中野武營君(百九十一番) 政府ガ請求シタコト、議長ノ仰シヤルコトハ少シ違ッテ居ル、何故ナレバ政府ノ請求ハ鐵道公債法案ヲ議決シタル後ニト云フハ、譬ヘテ申セバ三讀會ノ濟シタ後デナケレバ、私設鐵道ノ方ヲ議シテ吳ルナト云フノデアアル、私ノ考ヘルニハ此議事日程ヲ定ムルハ勿論議長ノ權利デアリマセウガ、此鐵道公債法案ガ確定議事日程マデハ、次ノ分ハ議長ノ權利ナト云フコトハ今日マデ少シモ例ノナイコトデアアル、是マデ或ル議員ノ出シタ議案ヲ都合ニ依ッテ今日ノ議事日程カラ引イテ吳レト云フコトハアツタ、ケレドモ確定スルマデハ私ノ持出シタ議案ハ議シテ吳ルナト云フ先例ハ少シモナイ、シテ見レバ是マデノ例ニ依ッテ……

○議長(星亨君) 即チ確定議事日程ハ引イテ貰ヒタイト云フコトハ同グシテ、確定ガ濟ムト云フ條件ガ付イテ居ルニ止マルカラ、ソレデ何時デモ同グシコトニナル、一日引イテ貰フ、二日引イテ貰フ、三日引イテ貰フト云ツテモ、引イテ貰ヒ得ルト云フナラバ同グシコトデアアル、今マデ引イタト云フ例ハ幾ラモアル話ダカラ、私ハ一向構ハナイト思フ、サウスルト諸君ガドウスルカト云ヘバ、方法ガ一ツアル、一ツアルト云フノハ即チ政府ガソレヲ言フニモ拘ラズ、諸君ニ於テ議事日程ヲ變換スルト云フノナラバ、其動議ヲ御起シニナレバ宜イ

○竹内鼎三君(七十三番) 七十三番ハ議事日程ノ變更ハ要ラナイ、既ニ昨日議長カラ報道ノアツタ通り、第一ニ鐵道公債法案ノ一讀會、第二ニ矢張政府ガ後ニシテ吳レト云フ所ノ私設鐵道買収法案ヲ議スルガ宜イ  
○東尾平太郎君(百九十九番) 今議長ノ御陳告ヲ承レバ、之ヲ捌クノ途ガ一ツアル、議事日程ヲ變更スルノ外ニナイト言ハレル、百九十九番ハ第一ニ議事日程ノ變更ヲ起シテ居リマス、議長ニ此事ハ聞エマセヌカ、速記録ヲ……

○福田久松君(二百八十四番) 先刻議長ニ質問致シマシタラバ、議院法ノ二十六條ヲ見ヨト云フコトデシタガ、議院法二十六條ニハ一向關係シタコトハナイ、今政府カラ請求ニ「政府ノ提出ニ係ル鐵道買収法案ハ鐵道公債法案ノ後ニ於テ議事ニ付セラレタシ」斯ウアリマスカラ、此請求ヲ此議會ガ拒ムコトガ出來ヌト云フ理屈ハ一向ナイ、又政府ノ請求シタノハ規則ニ依ッテ斯ウシナケレバナラヌト云フコトヲ言ツタノデアリナイ、二十六條ヲ見テモ今申ス通り議長ノ特權デ之ヲ斯クミニ處斷スルト云フコトハ一向書イテゴザイマ

セヌ、ツレ故ニ私ハ議題ノ前後ヲ深ク論ズルコトハ好ミマセヌ、ケレドモ議權ニ大變關係ノアルコトデゴザイマスカラ、斯様ナコトハ此議會ガ排除スルコトモ出來ルン、之ヲ拒絕スル權利ヲ此議會デ持タナケレバナラヌト考ヘマス、ツレ故ニ今議長ノ御宣告ハ私ハ微頭寒尾服スルコトガ出來マセヌ

○尾崎行雄君(五番) 本員ガ一ツノ動議ヲ起シタイノハ、斯ウ云フコトニナルデアラウト思フ、勿論政府ノ要求ヲ拒絕スルノ權利ハ當院ニアルコトハ勿論デアアル、之ニ從ハナケレバナラナイト云フ義務ハナイ、併シ之ヲ拒絕スレバドウナルカ、拒絕シテ第一ノ議事日程ノ確定スルマデ……、恐クハ政府ハ第二ハ暫ラク待ツテ呉レ、一寸二三日待ツテ呉レト云ツテ撤回デナク、唯引クカモ知レナイ、皆テ引カレ、バ詰リ同ジコトニナル、故ニ我々ハ拒絕スルノ權利ガアルト同時ニ、武士ラシイ仕事ヲシタイ、即チ窮寇ハ追ハズト云フ仕事ヲシタイ、此鐵道買収法案ト云フモノハ解散問題ノ一ニシテ、政府ガ國家百年ノ大計上斯クナケレバナラヌト明言シタ議案デアアル、然ルニ卑怯ニモ他ノ議案ノ鼻息ヲ窺フテ負ケサウナラ引カウ、勝チサウナラ出サウト云フ、百年ノ大計トシテ一旦定メタモノヲ……、變換シタノデアアルカラ、

斯様ナ卑怯ナモノナラバ、我々ハ武士ノ道ヲ守ツテ窮寇ハ追ハナイ、サウシテ求メ通リニヤツテ第二次會ヲ開キ、第二次會ノトキニ私設鐵道處分ト云フモノヲ議シテ仕舞ヘバ、政府ハ撤回スルニ極マツテ居ル、是ハ否決セラレテ買収法案ハ撤回シ、又可決セラレデモ撤回スル、何故ナレバ是サヘ議シテ仕舞ヘバ買収法案ハ撤回シ、又可決セラレデモ撤回スル、何故ナレバ是サヘ議シテモノハコンナモノデアアル、サルガ故ニ先ヅ之ヲ議シタラドウデアアル、逃ゲタガツテ居ルモノヲ無理ニ引捕ヘテ可發サウナコトヲシナイ方ガ宜カラウト思フ、故ニ本員ハ政府ノ求メ通……

○議長(星亨君) 政府ガ同意シナカッタラドウスル

○東尾平太郎君(百九十九番) 政府ノ同意ヲ求ムルニハ及バナイ

○議長(星亨君) ツシナコトハイケナイ、同意ヲ求メナケレバナラナイ

○清水文二郎君(四十五番) 四十五番ハ此議事日程ノ昨日ノ議事日程通、即チ第一ニ鐵道公債法案ト云フコトガ昨日出テ居ル、又百九十九番ハ大變喧

イガ、少シ御忍ビニナツタラ宜カラウト思ヒマス

○議長(星亨君) 何ニシテモ諸君ニ御報道シマス、即チ議長ノ權内ニ於テ即チ本日ノ議事日程ノ通ニ議シテ行ク、ツレカラ後カラ議論ガアレバ後ニシマス(異議ナシ異議ナシト呼ブ者アリ)

第一 鐵道公債法案(政府提出)第一讀會ノ續キ(特別委員)

(佐藤里治君演壇ニ登ル)

○佐藤里治君(百四十八番) 私ハ此特別委員會ノ經過及ビ結果ヲ御報道致シマス、此特別委員會ハ五月十三日ニ此役員ヲ選舉シマシテ、ツレカラ十四日

十六日ハ質問ヲ致シマシタ、ツレカラ二十四日ニハ又此委員中ヨリ更ニ之ヲ折衷シマシタ案ヲ起草セルタメニ、五名ノ委員ヲ選舉致シマシタ、ツレカラ

二十六日二十七日ノ兩日ヲ以テ委員會ノ確定ヲ致シマシタノデゴザリマス、此特別委員會ノ決議ヲ致シマシタルコトニ就イテ先ヅ其趣旨ヲ私ハ御話

致ス積リデゴザリマスガ、御承知ノ通り公債法案買収法ニ、ツレカラ議員中ヨリ提出ニナリマシタ三箇ノ議案ヲ折衷ヲ致シマシタノデゴザリマスガ、其

第一ニ公債法案ニ就キマシテハ大體此六線路ト云フモノニ附イテハ別段異議ハアリマセヌノデゴザリマス、ケレドモ此政府案ノ六線路ノ工事ノヤリ方ニ就キマシテハ、甚ダ完全ヲ缺ク、將來如何シテ此日本ノ鐵道ヲ完成スルヤ否ヤト云フ方針モ立ツデ居ラヌ、又工事ノ著手順序ニ就キマシテモ誠ニ誤ラ

ズ、此公債法案ヲ不可ト致シマシタノデゴザリマス、ツレカラ買収法案ニ就キマシテハ勿論此政府案ノ精神ハ鐵道ハ國ノ所有トスルノ必要ヨリシテ、之ヲ買収スルコト云フ精神デゴザリマスカラシテ、委員會ハ此國有私有ト云フコトハ其實際ニ就イテ、所謂事實ノ經驗上ヨリシテ、其宜シキニ從ツテ行ク

ト云フ方針ヲ執ルノガ宜シイ、ツレデ所謂國有私有ト云フ所ハ將來此鐵道ヲ澤山持ヘテ行ク、此實際ノ經驗上カラ宜シキニ從ツテ其方針ヲ定ムルガ宜シイト云フ考ガアリマシタ爲メニ、所謂此買収法案ト云フモノ、精神ハ甚ダ委員會ノ決議ニ反對ニナツテ居リマシタカラシテ、所謂此買収法案ト云フモノハ無

論之ヲ採ラヌト云フ精神ヲ委員會ガ表シタノデゴザリマス、ツレカラ其後ハ三ツノ議員中ヨリ提出ニナリマシタ法案ガゴザリマシタ、ケレドモ是モ其一ヲ採ルト云フ完全ノモノモ見エマセヌノデゴザリマスガ、其中ニ就キマシテハ所謂一長一短故ニ其長ヲ取り粹リ集メテ、所謂短所ヲ去ツタ一ノ新規ノ案ヲ製シマシタノデゴザリマス、即チ是ガ此特別委員會ノ報告ノ鐵道敷設法案ト云フモノ、所謂此五ツノ案ヲ湊簇シタモノヲコ、ニ拵ヘ出シタモノデゴザ

リマス、ツレカラ此將來日本ニ鐵道ヲ官設スルノ目的方針ト云フコトニ附キマシテ一應説明ヲ致シマスガ、其前ニ當ツテ今日ノ日本ノ鐵道ガ如何ナル有様ヲナシテ居ルカト云フコト、是ハ諸君ノ御參考ニモナラコト、考ヘマシタ

カラ取調ベマシタ一所ヲ御報道致シマスガ、今日ノ既成鐵道ノ線路ガ千七百十七哩ト云フモノニナツテ居ル、其中、分ケマシタル官設鐵道ガ五百五十一哩、日本鐵道會社ガ水戸ト合セマシテ五百九十二哩、九州山陽外九會社ガ

五百七十四哩、是ガ合計シマスルト千七百十七哩ト云フモノニナツテ居ル、其工費ガ是ガ凡ツ七千八百六十五萬圓餘ト云フモノニナツテ居ル、此内譯

ヲシマスルト官設鐵道ガ凡ツ三千四百萬圓、日本鐵道會社ガ千八百九十萬圓、九州山陽外九會社ガ二千五百七十五萬圓、是ニハ社債ト云フモノモ加ハツテ

居リマスガ、之ヲ平均シマスルト今日マデ拵ヘマシタ鐵道ノ一哩ノ平均ガ丁度四萬五千七百三十四圓ト云フモノニ當ツテ居ル、而シテ此收益ガ如何ナル

有様ニナツテ居ルカ、ツレカラ又此會社ノ其工費ガ一會社毎ニ之ヲ細別シマスルト、一哩ノ平均ト云フモノハドノ位ニナツテ居ル、所謂私立會社ガ果シテ不經濟ノ工事ヲヤルカ、或ハ今日ノ私立會社ノ有様デハ果シテ將來或ハド

四萬五百圓、阪界が五萬五千圓、伊豫が一萬五千圓、ツレカラ官設鐵道が一哩が六萬八千八百圓ト云フコトニナツテ居ル、ツレカラツレナラバ今日マデノデス、最近ノ此鐵道經濟が如何ナルコトニナツテ居ルカ、丁度此二十五年ノ護ヲ除イテモ五分七厘三毛ト云フモノニナツテ居ル、兩毛ハ四分六厘八毛、水戸が四分七厘八毛、甲武が六厘五毛、山陽ハ一分九厘二毛、九州ハ二分九毛、關西ハ四厘九毛、大阪ハ三分二厘六毛、阪堺ハ一分三分、讃岐ハ二分七厘三毛、伊豫ガ一分二分二厘、之ヲ平均シマスルト四分一厘一毛、北海道ハ四分一厘六毛ト云フモノニナツテ居リマス、ツレカラ二十四年度ノ前半季ノ計算ニ就イテ見マス、多少之ニ増減ガゴザイマス、ケレドモ先ヅ平均ヲシマスルト二十三年度モ二十四年度モ殆ド四分七厘位ノ配當平均ニ日本ノ鐵道ガナツテ居ルノデアリマス、然ルニデス今日ノ此鐵道ノ有様ハ御承知ノ通り、小會社分裂ト云フモノハ鐵道經濟ノ要義ニ背ク、又交通ノ甚ダ完全ヲ缺クモノデアル、然ルニ今日ノ小會社分裂ノ鐵道デス、所謂之ヲ平均シマスルトデス、四分七厘以上ノ利益配當ニハナツテ居ルノデアリマス、若シ將來日本ノ鐵道ハ成ル可ク之ヲ一手ノ手ニ纏メ、成ル可ク大會社ニ合同セシメルト云フ方針ヲ執ルガ、所謂鐵道經濟ノ甚ダ其道ヲ得ルモノデアル、又交通ノ便ヲ得ルモノデアル、故ニ若シ之ヲデス、將來此小會社分裂ノモノヲ一手ノ線路ニスルト云フ方法ヲ執ツテ、成ル可ク大會社ノ組織ヲ起スコトニ方針ヲ執ツタラ、尙ホ一層社ノ營業費ヲ減シ、營業費ヲ減スルタメニ一層利益ノ配當ト云フモノヲ多クスルト云フ結果ヲ爲スモノデアル、其譯ハ若シ今日ノ小會社分裂、之ヲ大會社ニ仕組ヲ變ヘルト云フコトニナリマシタナラバ、社長以下重役等ノ手當及交際上ニ要スル經費ヲ減スルコトガ出來ル、機關車列車ノ流用ヲスルコトガ出來ル、ツレガタメニ數ヲ減スルコトガ出來ル、又各會社ニ要スル所ノ所謂此鍛冶場製鐵場ト云フ様ナモノヲ、之ヲ減スルコトガ出來ルト云フ、著シキ所謂經費ヲ節約シテ、收益ヲ増スルト云フ事實ガアルノデゴザイマス、將來此日本ノ鐵道ヲ完成スルト云フ方針ヲ講スルニ際シテハ最モ此小會社分裂ト云フ様ナ今日ノ有様ヲ矯メナケレバナラナイ、所謂斯ノ如キ鐵道經濟ノ所謂要義ヲ擴張シテ以テ所謂經濟ト交通トノ利便ヲ得ルト云フコトニ務メナケレバナラハ、一寸今モ述ベマシタ通りデアリマスガ、丁度此英吉利ヤ米國ノ有様ヲ見テ見マスルト、丁度國有ト云フコトガ頻ニ學者間ニ行ハレテ居ルサウデゴザイマス、所謂てゝる上ノ議論デハ國有ニセナケレバナラマスト云フコトガ定マツテ居ルサウデゴザイマス、ケレドモ實際ニ成リマス、矢張其營業ガ殘ラズ私立デヤツテ居ル、立派ニ私立デ計畫ガ立ツテ居ル、規模ガ立ツテ居ル有様デアルサウデゴザイマス、ツレデ丁度此日本ノ鐵道ノコトニ就キマシテハ或ハ是ガ此伊太利和蘭ノヤウニ政府ガ鐵道ヲ所有シテ以テ此營業ヲスル、ドウシテモ營業ノコトハ民間デアガ方ガ經費ヲ節約スルコトガ出來ル、又旅客ニ對シテ親切ト云フコトハ利益ガ方、故ニ此營業ノコトハ或ハ例ヘバ日本ニ譬ヘテ言ヒマスレバ、東北ト云フ様ナモノハ一ト纏ニシテ會社ヲ設ケ、或ハ關東九州中國ト、斯ノ如ク大方面ニ大會社ヲ起シテ以テ所謂營業ヲ託スルト云フ様ナコトヲシマシテ、即チ政府ハ是ニ相當ノ損料ヲ納メル様ナ所謂丁度伊太利ノ様ナ鐵道政略モ或

ハ將來ニ成リマスレバ、事實ニ於テ構ハヌト云フ様ナコトモナイト思ヒマス、斯ノ如ク今日ノ日本ハ創業國デアル、鐵道ニ對シテハ最モ幼稚ナル國デアリマス、實際ニ成リマシテ果シテ國有ガ經濟上交通上便利デアアルカ、又實際ニ附キマシテ私立會社ニ營業ヲサセル方ガ果シテ國家ノ利益デアカト云フコトハ、モウ少シ鐵道ヲ澤山拵ヘテ、モウ少シ澤山事實ノ經驗ヲ經テ、其宜シキニ際シテ始メテ其方針ヲ定メテ然ルベキコト、信ジマスルタメ、此鐵道ノ方針ハ所謂事實ノ必要ヨリシテ國家ノ力ヲ以テ日本ニ澤山鐵道ヲ拵ヘルコトヲ急務トシテ、今ノ方針ヲ立デルニハ事實ノ經驗ヲ經タデヤルノガ、最モ適當ダト云フ考ヲ持ツテ居ルノデアリマス、ツレカラ以上ハ大體ノ趣旨ヲ申上タノデゴザイマスガ、此本案ノ各條項ニ附キマシテ一應申述ベタイト存ジマスルガ、此第一條第二條第一章ノ總則ニアリマス、此豫定線路ノコトデアリマスガ、是ハ此日本ノ地勢ニ據ル、或ハ地圖ニ就キ、又ハ當局者ノ意見ヲ叩キ、又各地方ノ事實ニ精キ人ニ就キ、將來日本ニ鐵道ヲ實成スル目的ハ各要地ヲ貫通シ、府縣ヲ連通セシムルト云フ目的ヲ持チマシテ、此豫定線路ヲ定メタノデゴザイマスガ、併シ此豫定線路ハ是ハ先ヅ調査セスト云フ様ナ意味モ含シテ居リマス、豫テ政府ガ此議會ニ要求シテ居リマシタ所ノ鐵道變路調査費ヲ以テ、此豫定線路ノ調査ヲ爲サシメ、其調査ノ結果ニ依ッテ或ハ變更増減モ生ズルコトモゴザイマセウ、著々經濟ノ許ス限リ工事ノ適度ヲ計ツテ、是ハ漸次日本ノ鐵道ヲ完成セナケレバナラヌト云フ一點ヨリ、是ハ取調ベマシタモノデアリマス、故ニ或ハ此地ニモ増サナケレバナラヌト云フコトモ事實ノ必要デ起ツテ來マセウ、必ズ又此鐵道ハ一線路ヲ布設スルニ從ツテ、又意外ナ所ハ線路ヲ必要トスル事實ガ生ズルト云フコトモゴザイマス、カシテ、必ズ此豫定線路外ノ線路モゴザイマセウシ、或ハ又豫定線路中ニ之ヲ取除クト云フ様ナコトモ事實ノ調査ノ結果ニ依ツテ生ジテ來ルデアラウト云フ考デゴザイマス、ツレカラ第三章第四條第五條第六條デ、是ハ別ニ茲ニ現ハレマシタ通りノ文面ノ外意味モアリマセヌトデゴザイマス、是ハ別ニ茲ニ現ハレマシタ通りノ文面ノ外意味モアリマセヌト云フコトヲ規定シマシタノハ、是ハ第一期ノ公債ヲ指スノデハナク、總則ト云フ所ノ點ヨリ茲ニ掲載シマシタノデゴザイマス、將來此第二期以下線路ヲ布設スルニモ、此百分ノ五ヲ超過スルコトニナツタナラバ、或ハ公債募集ト云フコトヲ止メルコトモアラウト云フ考デアル、ツレデ此百分ノ五以下ト云フモノハ、今日ノ經濟社會ノ有様ニ就イテ見テ見マスレバ、或ハ一兩年位ノ間ニハ四朱位ノ公債ハ發行スルコトモ出來ルデアラウ、現ニ歐羅巴デハ四朱ノ公債ヲ二朱半位ノ公債ハ發行スルコトモ出來ルデアラウ、開イテ居リマス、ドウカ日本モ此金利ノ追々低減シテ以テ國ノ發達ヲ圖ルト云フコトヲ希望スルノデゴザイマス、尤モ此五分以下デ募集スルノ範圍ヲ五トシテ、其以下隨意ニ發行ノ度毎ニ此歩合ヲ茲ニ定メシムルト云フ見込ヲ以テ、之ヲ規定致シマシタノデゴザイマス、ツレカラ此第二章ノ第一期鐵道ニ就キマシテハ隨分是ハ茲ニ此線路ヲ拵ゲマスルニ就イテハ、隨分是ハ難問題デアリマシタノデゴザイマス、此第一期トスル其緩急ノ比較所謂達觀上カラシテ此第一期トスル最モ急デアルト云フ尺度ヲ定メルノガ、隨分至難ノ事件デゴザイマシタノデス、然ルニ第一期トスル性質ニ



於キマシテハ、先ヅ以テ理由ガナケレバナラヌト云フコトガ重モナル線路撰  
定ノ理由デゴザイマス、其理由トスル所ハ第一、國ノ全局ニ關スル利害ノ  
アル線路ヲ撰ブト云フコトガ、先ヅ第一期線路ヲ撰ブ主眼ト致シマシタノデ  
ゴザイマスルガ、全國ノ所謂大利害ト云フコトニナリマシタラバ、國ノ縱貫  
線ト云フモノヲ先キニ取ラナケレバナラヌト云フ考デゴザイマス、ソレデ  
ニ就キマシテハ、現在ノ日本鐵道會社ノ線路ガ出來上ツテゴザイマス、ケ  
レドモ昨年來數々、此軍事鐵道ト云フコトニ就キマシテ、參謀本部等デ唱ヘ出  
シマシタ線路ヲ、鐵道廳杯ヘ照會ヲシテ相談ガ極ツテアルト云フ有様ヲ聞イ  
テ見デ見マスルト、丁度此日本鐵道會社ノ東北線中ニハ青森ト野邊地ノ間ガ  
海岸ニ接近シテ居ルタメニ、危險ノ恐ガアルカラシテ、之ヲ青森ヨリ弘前ヲ  
經テ秋田縣ノ鹿角郡ヨリシテ岩手縣ニ出ヅル一ノ山間ヲ貫ク複線路ヲ陸軍ハ  
求メルノデゴザイマス、ソレカラモウ一ツハ宮城縣ノ七北田ヨリ弘前ニ通ズ  
ル間ニハ、所謂海岸ニ接シテ危險ナ箇所ガアルタメニ是モ矢張山間ニ添フテ  
複線路ヲ陸軍ハ求メルノデゴザイマス、ソレデ其結果ガ詰リ弘前ト秋田  
山形ヲ經テ福島ニ出ヅルト云フ、所謂此日本海ニ沿フテ居ル北半面ノ山間ヲ  
貫通スル所ノ線路ヲ新規ニ拵ヘタナラバ、一ハ鐵道ノ經濟ニモ適ヒ、一ハ今ノ  
陸軍ノ要求スル所ノ海岸ヲ避クル所ノ線路ヲ求メルコトガ出來ルデアルカラ  
シテ、此國ノ縱貫線トスルモノハ弘前秋田山形ヲ經ルト云フ線路ヲ以テ、之  
ヲ縱貫線ト定メタサウデゴザイマス、ソレカラハ王子カラ名古屋ニ至ル線路、  
是ハ所謂東海道ノ海岸ニ接シタ線路ヲ避クルタメニ、又中央ノ所謂經濟、又  
國ノ物產ヲ引興スト云フ點ニ就イテモ甚必要ナ線路デアラウト云フ考ヲ持チ  
マシタノデゴザイマス、即チ是ハ國ノ縱貫線ニナツテ居ルノデゴザイマス、然  
ルニ政府案ハ王子甲府ト云フ僅カノ箇所ヲ第一期工事、第一期工事ト云フ  
コトデハゴザイマセヌガ、公債法案ニ掲ゲラレタコトデゴザイマス、斯様ニ  
鐵道ノ所謂海岸ヲ避ケテ山間ヲ貫ク工事ノ必要云々ト云フ見込ヲ以テ、僅  
線路三分ノ一程ヤルト云フコトハ甚ダ姑息ノ仕方アル、甚ダ之ヲ必要ト認  
メタ目的ヲ遂ケルコトハ出來ナイ線路デアアルカラシテ、之ヲヤルトスルナラ  
バ、其目的ヲ貫通スル所ノ名古屋マデ達スルト云フコトニシナケレバナラヌ  
ト云フコトデ、是ハ名古屋ニ達スルマデ達スルト云フコトヲ加ヘマシタノデゴザイマス  
ソレカラ山陽ノ先キ三原馬關間、九州會社ノ先キ所謂長崎ニ達スル間、是ハ  
縱貫線トシテハ鹿兒島マデ達スルト云フコトヲヤリマスガ相當デアリマス、  
ル、ケレトモ之ヲヤルニ就イテハ最モ財政ト云フコトヲ先キニ考ヘナケレバ  
ナラヌノデゴザイマスカラシテ、今財政ノ點ヨリ又工事ノ適度ト云フ點ヨリ  
先ヅ以テ第一期ハ長崎ニ止メテ、或ハ第二期ニナリマシタナラバ鹿兒島マデ  
延ベルト云フ計畫スル方ガ宜イデアアル、ソレハ何ントナラバデス、先ヅ今日  
ノ所デハ鹿兒島マデ假令ハ縱貫線ニナツテ居ルニモセヨ、日本ノ西ノ端デ  
外國ト交通スル要港ハ長崎ヲ以テ今日ノ必要ノ港ト認メテ居ルノデゴザイマ  
スカラシテ、先ヅ長崎ノ港ヨリ青森ノ港マデヲ以テ第一期ニ縱貫線ヲ貫ク様  
ナコトニシテ居タナラバ、此經濟ノ點ト云フ、旁々相當デアラウト云フ考  
ヲ持チマシタメニ、是ハ長崎ヲ以テ第一ノ縱貫線ノ極端ト定メマシタノ  
デゴザイマス、ソレニ續キマスルニ佐世保吳ノ軍港デ、是ハ已ニ餘程運ビガ  
付イテ居ツテ、吳ノ軍港杯ハ所謂此造船所ノ組織等杯ハ最早半以上出來致シ

テ居リマシテ、却テ續續賀ヨリモ一層盛大ナル造船所ガ、出來ルダラウト  
云フ位ナモノ、アル處デゴザイマスカラシテ、ソレデ是ハ第一期ニヤラナケ  
レバナラヌ、所謂佐世保ト云フ軍港モ第一期ニヤラナケレバナラヌト云フ  
ハ、ソレカラ生ジタノデゴザイマス、ソレカラ三角——熊本ノ三角ハ理由書  
ニ軍港ト書イテゴザイマスルガ、誤リデゴザイマス、最モ石炭ノ關係、所謂  
軍事ニ關係ガアル……間接ニ軍事ニ關係ガアルト言ハナケレバナリマセヌ、  
ソレカラアノ餘ノ要港ト云フ點ニ就キマシテ、距離モ僅デゴザイマスルガ、之  
ヲ加ヘマシタノデ、ソレカラ北陸道所謂富山、石川、福井ノ三縣ヲ貫イタ官  
設鐵道ノ敦賀線ニ聯絡スルノデゴザイマス、ソレカラモウ一ツハ直江津線、或  
ハ比較線路モゴザイマスカラシテ、何レノ線路ニナルカ知リマセヌガ、新瀉  
ニ達スルカ、新發田ノ分營ニ達スルカト云フ線路ハ、第一期ニヤラナケレバ  
ナリマセヌ、北陸道ノコトハ三線聯絡シテ敦賀線ニ連通スルモノモ、所謂此  
ノ西比利亞云々ト云フ軍事ニ關係モゴザイマセウシ、又最モ此經濟交通ト云  
フ點ニ就キマシテハ、所謂第一期工事ノ線路ヲ以上ノ理由ヲ以チマシテ、之ヲ定メマシ  
タノデゴザイマス、併シナガラデス、尙ホ此末項ニ以上線路ノ外ニ尙ホ數  
設ノ急ヲ要スベシト認メタルモノハ云々、第一期工事トシテ公債ヲ募集スル  
ヲ得ルト云フ活動ノ途ヲ茲ニ與ヘテ置キマシタノデゴザイマス、ソレニデス、  
此今日ノ第一期線路ヲ定メマシタノハ、經濟ノ度合ト云フモノヲ多ク睨ミマ  
ス、ケレドモ或ハ是カラ十箇年ノ長足ノ進歩ヲスル時機ニ際シマシテ、日  
本ハ非常ナ變動ノアルベキコトモ生ジテ來ルダラウ、又經濟ニ大變滑ラカニ  
ナツテ來テ、商業ノ進歩モ著キ度ニ達シマシタ、或ハ又軍事上ノ關係——  
朝外國ト戰端ヲ開タト云フ様ナ、若シ兆シガアリマシタ折ニハ、所謂此緩急  
順序秩序の進歩ト云フコトバカリ考ヘテ居ラレズ、其第一期線路此ニ定メテ置イタノニモ拘  
ラズ、尙ホ一期ノ年限中ニ斯ノ如ク必要ナル事實ノ現ハレタモノハ、ドシ  
ノヤリタイト云フ茲ニ取除法ヲ掲載シテ置イタノデゴザイマス、ソレカラ  
其次ニ項目ニ比較線路ハ政府ニ於テ更ニ調査ヲ遂ゲ、帝國議會ノ協賛ヲ經テ  
之ヲ決定スルカ、或ハ又前橋ヨリ清水越ヲ經テ新潟ニ達スルカ、或ハ又豐野  
新瀉ニ達スルカ、或ハ又前橋ヨリ清水越ヲ經テ新潟ニ達スルカ、或ハ又豐野  
云フ箇所ヨリシテ新潟ニ達スルカト云フコトハ、アノ地方ノ講究問題ニナツ  
テ居ルノデゴザイマス、又此事ニ就キマシテハソレノ取調ベタ上ニ、此得  
失ヲ戰ツテ居ルト云フ今日ノ狀況ガゴザイマスカラシテ、斯ノ如キモノハ尙  
ホ鄭重ヲ要スルタメニ將來ノ大計ヲ誤ラザルタメニ、此三線路ノ調査ヲ遂  
メテ、其材料ヲ以テモウ一應議會ノ判斷ヲ受ケテ、始メテ著手ノ決定線ヲ定  
メルト云フ手續ニ掲載シテ置イタノデゴザイマス、所謂中央線ノ如キモ伊奈地  
方ヲ行クカ、木曾ヲ行クカト云フ一ノ講究問題ガゴザイマス、斯ノ如キモノ  
ハ其ノ宜シク調査ノ上材料ヲ集メ、然ル後モウ一應議會ノ判斷ヲ受ケテ、其  
宜シク定メルト云フ手續ヲ規定致シタノデゴザイマス、ソレカラ第八條第九  
條、是ハ第八條ハ唯工事年限ヲ定メタ計リデゴザイマスルカ、意味ハアリ  
マスルコト云フコトヲ規定シマシタコトニ就キマシテハ、是ハ我々ノ取調ベタコ  
トモゴザイマスカラシテ、諸君ノ御參考ニ私ハ述ベテ置キタイ考デゴザイマ

スガ、(簡單々々と呼ぶ者アリ)鐵道ヲ格ラウコトハ異存ハナイガ、此原資ヲ何レヨリ引出スカ、所謂金ノ用途ニ依ツテハ或ハ鈎合ヲ見ナケレバナラヌ、又財政ヲ亂シ、經濟社會ニ影響ヲ及ボスト云フコトガアリマシタナラバ、如何ナル善イ事業デモデス、其鈎合ヲ見テヤラナケレバナラヌト云フコトハ、是ハ必要ナル問題デゴザリマスカラシテ、我々ハ鐵道擴張ヲ必要トスルト共ニ、此經濟ノ調査ノ一、金ヲ引出スコトガドウ云フモノデアアルカト云フコトヲ、腦裡ニ揆ンデ以テ一昨年來取調ベタモノガゴザリマス、併ナガラ餘リ細ナコトハ諸君モ御聞飽ニナリマセウカラシテ、其大體ニ就イテデス、御參考ニ供ヘテ置キタイト云フ廉ニ、茲デ申上ゲタイ考デゴザリマスルガ、政府ガ明治十九年ニ勅令第六十六號ヲ以テ整理公債條例ト云フモノヲ發布致シマシテ、六朱以上ノ高利公債ヲ漸次償還スルト云フコトヲ行ハレマシタノデゴザリマス、其結果ガ丁度此明治十九年カラ明治二十四年度マデ五箇年間整理公債ヲ發行シタ、其結果ガドウナツテ居リマスルカト云フコトヲ調ベタ所ガ、此五箇年間ニ此高利利息ノ公債ヲ、安イ五朱ノ公債ニ引替ヘマシタ、五箇年間ノ總額ハ一億八千九百九十九萬五千圓之ヲ一箇年平均ニシマシテ見マスルト二千六百六十七萬八千六百九十圓六十錢ト云フコトニナリマス、之ガタメニデス、所謂七朱ノ公債ヲ五朱ノ公債ニ引替ヘタタメニ、五箇年間ニ引替ヘタタメニ、其利益ガ——其儲ガ幾ラアリマシタカト云ヒマスルト、丁度其額ガ一箇年平均ニシマスルト百四十九萬九千八百一十一圓二十六錢ト云フモノガ一箇年ノ儲ケ額ニナツテ來タノデゴザリマス、之ガ五箇年平均ヲシマスルト六百五十萬圓程ニナリマスルガ、此金ト云フモノハ唯七朱ノ公債ヲ五朱ニシマシテ、五箇年間償還シタタメニ、斯ノ如キ餘裕ガ出來マシタ、公債償還ノ方ニ六百萬圓云フモノヲ儲ケタノデアアリマス、然レモ此割合ニ最初政府ガ公債ヲ發行スル折ニ、此公債ハ發行ノ年ヨリ何箇年據置イテ向ウ三十箇年ト云フ期限ヲ以テ發行致シマスルガ、其返済期限マデヲ積算シテ行キマスルト、丁度明治十一年ニ此公債償還元資金ト云フモノヲ二千萬圓宛トシテ豫定シテ居マシタ、今日迄ノ公債總額ヲ向ウ何十年間ニシテ償還スルト所謂政府ハ豫算ヲ設ケテ償還シテ居マシタガ、此割合ヲ行キマスルト、殆ド此公債ノ償還シキル期限中ヲ積算シテ見マスルト、三千有餘萬圓ト云フモノガ儲ケルノデゴザリマス、之ヲ譬ヘバ期限ヲ縮メテ返済シヤウト云フコトニシマスト、五十箇年デ返済ガ出來マスルモノガ、四十箇年デ返済スルコトガ出來ル様ニ、誠ニ餘裕ガアリ誠ニ勤キノアル仕事ガ出テ居タノデゴザリマス、宛モ是ハ事業ヲ起スモ所謂資本ヲ求メルノ好イ賜モノデアアルト信ジマス、ソレノミナラズデス、此年々政府ガ公債ヲ償還スル額ハ、此二千萬圓ヅ、ノ内手數料、利子、其他ノモノヲ除キマシテモ、殆ド五百二十萬五千五百圓ト云フモノハ元資金ニナリ、無利子ノ年賦金ガ二十幾萬圓ト云フ額ニナツテ居ル、ハレデ元金デ今日デスラ殆ド五百五十六萬圓ノ公債ハ年々償還ニナリ、是ハ年々追ツテ利子ハ減シテ參リ、公債償還額ハ多クナツテ參リマスカラ、或ハ明年或ハ明後年ニハ六百萬圓七百萬圓今日マデ借金ヲシタ公債ヲ年々仕拂フト云フコトニナルノデゴザリマスカラ、好シ其金ヲ以テ今度ノ鐵道工事ニ年々五百萬圓ヅツ募集スルモ、今日ノ經濟社會ニ影響ヲナサヌコトガ分リマス、又モウ一ツ例ヲ引キマスルト、近來事業ノ失敗會社ノ不信用ト申シマスガ、之ガタメニデス、不景氣ヲ爲シ所謂此金融ノ止マツタト云フモノハ、

此貸借上ノ不信用斯ノ如キ結果ヨリシテ、澤山流通貨幣ノアルニモ拘ラス、今日金融ノ壅塞ヲ唱ヘ一般ノ不景氣事業ノ衰頹ト云フコトヲ今日來タシテ居ル、ソレデアアルカラシテ其證據ハ此項日本銀行總裁ノ言フ所ニ依レバ、丁度斯ノ如ク銀行者ヨリシテ今日ノ資本運轉ガ塞タタメニ、銀行者ヨリ日本銀行ヘ預ケ金ヲ爲シテ置クモノ、——日本銀行デハ働キヲナサヌ金ヲ預ツテ置ク金ガ日本銀行ノ金庫中ニ唯寐テ居マスル金ガ千三百幾萬圓ト云フ額ニ達シテ居マス、之ヲ以テモ今日ノ資本運轉ノ道塞ツテ居リ、世ノ中ノ事業ノ衰頹ヲ爲シテ居ルコトヲ證スルコトガ出來ル、否今日ノ經濟社會ハ斯ノ如ク流通貨幣ノ餘リノアルモノガ働キヲナサナイデ、唯寐テ居ルト云フ例ヲ舉グルニ足ルノデゴザリマス、ソレカラモウ一ツハ日本ノ此流通貨幣ハデス、一番多カッタノハ明治十四五年ノ頃デゴザリマセウ、其折ニ流通貨幣ト云フモノハ一億五千萬圓以上ニ登ツタコトガゴザリマス、然レニ其金ハデス、丁度我日本ノ生活ノ度ニ照シテ多カッタト云フ證據デ、ソレニ依ツテ物價ガ騰貴シタト云フ有様、ソレカラ近來ニナリマシタ、此平均ヲ見マスルト、大抵此一億二千萬圓臺ノ此現在流通貨幣ノ運轉ヲ爲シテ居ルノガ、昨年當リノ調デ見マス、ソレガ又一億三千五百萬圓ノ額ニ登ツテ來タ、斯ノ如ク流通貨幣ガ現在多イト云フコトノ事實ノアルニモ拘ラズ、今日ノ衰頹ヲ爲シテ居ルノハ何ガタメデアアルカト云フト、所謂此金錢貸借流通ノ信用ノ途ガ塞タタメニ、事業ノ起ラヌタメニ、會社ノ失敗スルタメニ、此道ガ塞ツテツレガタメニ金ガ今日働キヲ爲ス者ガ寢テ居ルト云フ今日ノ結果ヲ爲シテ居ルノデゴザリマス、以上ノ理由カラ言ヒマシタモノ年々此五百萬圓ノ金ヲ、——公債ヲ起シテ而シテ此鐵道事業ニ費ヤスト云フコトハ、經濟社會ニ寸毫ノ害モナクシテ、否此寸毫ノ害ノナイノミナラズ、之ガ爲メニ以上述ヘマシタ、寐テ居ル金ノ働キヲ以テ世ノ中ノ不景氣ヲ挽回シ、所謂事業ノ發達細民救助ト云フ様ナ、之ガ要素ニ大變社會ノ福利ヲ與ヘ、社會ヲ活潑ニシ、所謂國ノ富ヲ造ルト云フ、是ガ要素ニナラウト、私ハ深く信スルノデゴザリマス

エーソレカラ第十條、是ハ政府ガ此線路ヲ決定シマスルト、之ニ附イテ此線路ノ實測ヲ爲シテ、其工費豫算ト云フモノヲ以テ、モウ一應此議會ノ協賛ヲ經ル、此議會ノ協賛ヲ經タモノヲシテ、所謂之ヲ繼續事業ニシテ遣ルト云フ手續ヲ示シタノデ、是ハ尤モ議會ノ權利、所謂行政官ノ專横ガアルト云フ點ニ對シテ、之ヲ矯メルコトヲ得ルト云フ規定ヲ設ケタノデアアリマス

ソレカラ第三章ノ第十一條第十二條デゴザリマス、ソレデ此事ニ就キマシテハ最初此議事日程ノ御議論モアリマス様デゴザリマスルガ、私ノ考デハ之ガ成立チマスル程ノ買収法案ト云フ者ハ無論消滅シテ仕舞フ、ソレデ政府ノ買収法案ハ所謂鐵道國ノ所有トシナケレバナラヌト云フ鐵道戰略カラシテ、アノ買収法案ガ出タ様ニ見エマス、私共甚ソレニ對シテハ異議ヲ有ツテ居ル、反對ノ考ヲ有ツテ居ル、其理由ハ先刻述ベマシタ様デゴザリマスガ、此第十一條第十二條ニ依リマス、其理由ハ政府案ノ精神ト云フ者ハ一向ゴザリマセヌ、政府案ノ精神トハ反對シテ居ル(加藤政之助君ソレハ此場合デ言フベキコトデナイ)最ウ少シ申上ゲテ、是ハ擴張ノ一部擴張ニ付隨シタ者デアアル……(加藤政之助君ソレハ買収案ノ方ニ關係シマスカラ謂フベキコトデナイ)

(無用々々と呼ぶ者アリ)

○議長(星亨君) 宜シイ、九デ此委員會ノ經過ヲ報告スルコトハ一向構ハナ

○佐藤里治君(百四十八番) ……所謂擴張ノ一部デアル、擴張ニ付隨シタ者  
デアル、所謂擴張ノ一部デアルト云フ考ヲ以テ、是ハ編制シタノデゴザイマス、  
所謂是ハ擴張中ニ包含シタモノ、擴張ノ一部デアルト云フ精神デ、擴張ニ際  
シテ必要ト認メルトキハ云々ト規定シマシタノデ、所謂其必要ト云フ點ハモ  
ウ一應議會ノ協賛ヲ經ナケレバ、果シテ必要ノ線路デアルカ、不必要ノ線路  
デアルカト云フコトモ分ラヌノデアリマスカラ、買収熱心ノ御方カラ考ヘレ  
バ、誠ニ薄弱ノ買収ト言ハナケレバナラヌト云フモノハ、畢竟買収ハ付隨シ  
タモノデ、擴張ノ一部ト見テ茲ニ掲載シタノデゴザイマス  
○レカラ十二條、是ハ別ニ意味ハアリマセヌ、買収ハシタ折ハ公債ヲ發行ス  
ルト云フコトヲ示シタノデゴザイマス  
○レカラ十三條、是ハ所謂此第二條ニ掲ゲテ置キマシタ所ノ豫定線路ガ若シ  
私立會社ヨリ布設ノコトヲ請願シマシタ、……イヤ、是ハ十四條ノ講釋デゴ  
ザイマス、……十三條ノ豫定線路ノ第一期ニ依ルト云フ中ニモ加ッテ居リマ  
スカ、山陽會社ノ三原馬關ノ線路、或ハ九州會社ノ線路即チ許可ヲ與ヘテア  
ルハノ權利デアル、線路ヲ茲ニ掲ゲタルデアリマスカラ、斯ノ如キ人ニ權利  
ヲ移シテ居ル線路ハ、法律上デアルト云フコトハ決シテ出來ナイノデアリ  
マスカラ、サウ云フモノハ其會社ノ線路ヲ買フト云フ約束ヲスル、若クハ其  
會社カラ先ヅ其會社ニ對シテハ此線路ハ早クヤラナケレバナラヌト云フ督促  
ヲ加ヘル、ケレドモ若シ此會社ガヤリ兼ネルト云フ事情ガアルタメニ、ドウ  
カ其先キハ宜シク國庫ノ力デヤリ貫ヒタレト云フ請求ガアリマシタ折ニ  
ハ、或ハ其會社ニ對シテ是ハ政府ガヤルトスレバ、利益ノ均分ヲ計ルトカ、  
或ハ又相當ノ保護金ヲヤッテヤラセルトカ、相當ノ處分ト云フコトキハ利益  
ノ平分ト云フヤウナ特約ヲ結ブコト、或ハ相當ノ方法ガアリマシタナレバ、  
保護ヲヤルコトニナリマス、先ヅ買収ヲスルト云フコトガ、其邊ノ處分ヲスル  
ト云フコトガ、其手續ガ濟マナケレバ人ニ權利ヲ與ヘテアル、線路ノ法律デ  
處分スルト云フコトハ、決シテ出來マセヌカラ其コトヲ說キ明カシタノデア  
リマス  
○レカラ第十四條、是ハ豫定線路ニ掲ゲテアリマシタモノ、中、他日私立會  
社ノ復タ勃興スルト云フ様ナ形勢ニ立至リマシタナラバ、其折私立會社ノ許  
可ヲ願出テ、果シテコレガ相當デアル、之ヲ許可シテヤリタイト云フコトヲ  
政府ガ認メタトキハ、此議會ノ協賛ヲ經テ、之ヲ許スト云フ特例ヲ設ケタノ  
デアリマス  
○レカラ第四章ノ鐵道會議、此事ハ茲ニ唯鐵道會議ト云フモノヲ大袈裟ニ掲  
ゲテ居ルタニモ拘ラズ、此鐵道會議ニハ何ヲヤラセルト云フコト、僅二項目  
ノ權限ホカ掲ゲナイ、妙ナモノダト云フ御疑モ起リマセウガ、此鐵道會議ニ  
此二項目ヲ指示シテ委任シタト云フモノハ、所謂鐵道工事ノ著手ノ順序ト云  
フヤウナモノハ、是ハ議會デ議スベキモノデアルカ、或ハ政府ノ行政處分ノ  
モノデアルカト云フコトモ、隨分疑ヲ起ス問題デアルト考ヘマス、ト云フモ  
ノハ所謂豫算ト云フモノヲ以テ議會ノ年々協賛ヲ經ルノデアリマスカラ、其  
豫算ノ出タ折ニハ此線路ハイケナイ、此線路ハ後ト週シニシテ他ノ線路ヲ以  
テ來テ、此豫算デアルト云フコトヲ議會ガ議決スルコトガ出來マセウカ、若  
シサウ云フコトガ出來レバ、六線路ノ中ノ先キニシナケレバナラヌ、是ハ

後トニシナケレバナラヌト云フ議論ガ起ツタトキハ始末ニ困ル、厄介ナコトダ  
ラウト思ヒマス、又工事ヲ興ス著手ノ順序ガアル、準備ガアル、前々年ヨリ  
手續ヲシテナケレバナラヌ、或ハ外國ニ注文シナケレバナラヌモノガアル、  
其邊ノ行政所謂工事ノ執行上ニ就イテ、議會ガ啖ヲ容レルコトニナレバ、事  
業上ニ不利益ノ結果ヲ爲シテ來ル、宜シク其邊ハ議會デ啖ヲ容レナイコトニ  
シテ、鐵道會議ニ委任シテ仕舞フト云フコトヲ茲ニ出シタデアリマス、ワ  
レカラ第十條ノ鐵道ノ都合ニ依リ云々、是モ所謂公債ヲ募集スルニハ詰リ一  
箇年五百萬圓ヲ募ラウト思フ、處ガ經濟社會ノ時ニシテ機ニ應ジマシテ、或  
ハ百萬圓募ルカ、或ハ二百萬圓募ルトカ云フコトハ、機敏ニシナケレバナラ  
ヌカラ、其邊ノコトハ宜シク議會デ啖ヲ容レヌ方ガ得策デアル、ソレガタ  
メニ宜シク是等ハ鐵道會議ニ委任シテ仕舞フ方ガ宜シ、鐵道會議ハソレナ  
ラバ此二項ニ示シタ權限ヲ付託スベキタメニ、鐵道會議ガ必要デアルカト云  
フニ、サウデナイ、鐵道會議ニ鐵道行政ト云フコトニ就イテ、設計ノ事業  
ノ事監督ノ事ニ就イテ所謂多數ノ意見、虛心平氣ナ所謂弊害ノ起ラナイヤウ  
ナ公平ノ仕事ヲ定メルタメニ、所謂監督ノタメニ、鐵道會議ガ必要デアル、  
其邊ハ宜シク事務章程ノ如キハ勅令ヲ以テ定ムベキモノデアル、其鐵道會議  
ト云フモノハ所謂議會デ議スカ、或ハ行政者ニサセベキモノカト云フ疑ノ  
事件、所謂著手ノ順序、公債募集ノ金額、是等ハ議會デアルノ却テ事業ノ  
タメニ害ガアルカラ、今ノ鐵道會議ニ委任シヤウト思ヒマス、其必要ガアル  
タメニ鐵道會議ヲ掲載シタ理由デゴザイマス、ソレデ此案ヲ作リマシタコト  
ハ、矢張是ハ各案ヲ所謂其粹ヲ拔キ短ヲ去ツタト云フ次第デゴザイマスカラ、  
色々ノ意味ガ含マッテ居ルノデアリマス  
以上ハ委員會ノ經過、—結果トシテ報告致シマス次第デゴザイマス  
○折田兼至君(百五十八番) 議長  
○議長(星亨君) 質問デスカ  
○折田兼至君(百五十八番) 質問デス、此擴張案ト云フモノハ政府カラ提出  
シテアル所ノ鐵道公債法案、竝ニ夫ノ私設鐵道買収法案ヲ合シテ拵ヘタモノ  
デアリマス、否ヤト云フコトヲ先ヅ一應承リタイ  
○佐藤里治君(百四十八番) ソレハ豫テ述ベマシタ通、鐵道公債法案同ジク  
買収法案、ソレカラ今ノ植木君外諸君ノ提出ニナリマシタ布設法案河島君其  
他ノ御提出ニナリマシタ矢張擴張法案、ソレカラ僕ノ出シマシタ法案、此中  
之ヲ皆折衷シマシタモノト御承知ニナッテ宜シウゴザイマスガ、是ガ成立チ  
マスルト彼ノ案ハ總テ消滅ト云フ考ヲ以テ居ルノデゴザイマス  
○折田兼至君(百五十八番) 重ネテ質問致シマスガ、凡ソ議案ヲ委員會ニ付託  
シマスル時ニハソレノ委員會ニ於テノ權限ト云フモノガアル、付託外ノコ  
トハ委員會デハ爲スコトハナラナイト云フコトハ、議院規則ニチヤント書イ  
テアリマス、此鐵道法案ト鐵道公債法案トハ各別ノモノデアルデ、一議會ノ  
際ハ別々ニ議シタモノデ、委員會ヲ選舉スル際ニモ別々ニ選舉スル積リデア  
タノデアアル、唯便宜上一方ノ委員會ニ併セテ付託スルト云フコトニナツタノ  
デ、之ヲ分合スル迄ノ權限ヲ與ヘタモノトハ本員ハ考ヘナイノデアアル、併シ其  
權利マデモ許シテアツタト云フ委員會ノ考デアラウカ、本員ハソレナラバ速  
記録ヲ調べテ見テ、事實如何カラ確メタイと思フ、ソレカラモウ一ツ大體ニ  
就イテ質問致シマスガ、鐵道公債法案トカ、或ハ鐵道買収法案トカ云フモノ



ハ、固ヨリ法律ノ精神ヲ帶ビテ居ルガ、鐵道擴張ト云フモノハ法律ナルヤ否  
ヤト云フコトハ、一ノ確ムベキコトデアルト思フ、委員會デハ鐵道擴張ト云  
フコトハ法律案デアルト御認メニナツテ……、鐵道布設法デス、鐵道布設法  
ト云フノガ、是ガ法律トナルベキモノデアルト認メテ御調ニナツタデアリ  
マス、其他質問スルコトハアリマス、ケレドモ後ノ所ハ次ニ譲リマシテ、  
先ヅソレヲ承リタイ

○佐藤里治君(百四十八番) 委員會デハ是ハ鐵道公債法案ト所謂鐵道買収法  
案ニ對スルモノトシテ……、此出シマシタノハ鐵道公債法案ニ對シテ出シマ  
シタノデ、他ノ權限ニ涉ルト云フコトデハナク、委員會ガ同一事件トシテ  
審査ヲ受ケタモノデスカラ、是ハ腹ノ中デ參酌ヲシタト云フニ過ギマセ  
ヌ、ソレカラ……

○折田兼至君(百五十八番) 腹ノ中ノ參酌ト云フコトハ出來ナイ、委員會デ  
議論ガ起テド、チカ定メナケレバナラナイ、腹ノ中ノ考ハ銘々ノ考ダカラ、  
サウ云フ腹ノ中ノコトハ聽クノデハナイ、委員會ニ於ケル現ハレタ所ノ事實  
ヲ質問スルノデアリマス

○佐藤里治君(百四十八番) 矢張公債法案ニ對シテ一ノ修正デス、是ガ成  
立テバ後ノモノハ自然消滅スル積リデアリマス、ソレカラ第二ノ御問デゴ  
ザイマスガ、法律案トナルヤ否ヤト云フコトハ無論法律案トシテ差支ナイモ  
ノト思フ、矢張公債募集ト云フコトガ、第一期ニ六萬圓ヲ募ルト云フコトハ、  
國民ニ義務ヲ負ハセル法律デ、鐵道ヲ布設スルト云フ以上ハ鐵道買収ト云フ  
コトニモカ、斯ウ云フ例ハ隨分アル市區改正條例ト云フ様ナ幾ラモアル、  
布設法案ニ類シタコトガ幾ラモアリマスカラ、是ハ無論法律案トシテ差支ナ  
イト思ヒマシタ

○議長(星亨君) 百六十六番

○折田兼至君(百五十八番) 尙ホ質問致シマスガ、法律案トシテ……

○議長(星亨君) 百六十六番ニ發言ヲ許シマシタ

○工藤行幹君(百六十六番) 一寸御尋シマスガ、此豫定線路ト云フモノハ總  
里數ハ幾ラデ、ソレカラ其工事費ハ幾ラデ、一哩ニ就イテノ工事ノ費用ハ幾  
ラニナリマスガ、其御見積リヲ承リタイ

○佐藤里治君(百四十八番) 是ハ大凡ソデゴザイマスガ、大凡ノ豫定線路ハ  
三千哩ト少ニナツテ居ラウト思ヒマス、工費豫算ハ是迄ハ既設鐵道ノ平均  
デ見マスルト、四萬五千圓程デゴザイマスガ、是カラハ困難ノ線路ニカ、ル  
デスカラ、モウ少シ餘計ニカ、ルニハ違ヒナイ、併シ又是マデヤツタモノヨ  
リハ經驗ヲ經テ居リマスカラ、一方ニハ安ク出來ル積リデ、大凡五萬圓位アツ  
タラバ出來様ト云フ考デゴザイマス

○折田兼至君(百五十八番) 就イテハ外ノ案ノ様デ、アレガ爰ニ一ツニ纏メ  
テアルカラ、質問スルニ差支ヘナイト思ヒマスガ、鐵道買収法案ハ委員會デ  
ハ否決シタノデアリマスガ

○佐藤里治君(百四十八番) 詰リ改テ委員會デハ何ハ致シマセヌガ、是ガ成  
立テバ自然否決ニナルコト、考ヘマス

○折田兼至君(百五十八番) 自然ニ否決デハ分ヲナイ、否決ナラバ否決、可決  
ニナツタナラバ可決ト云フコトデナケレバナラヌ、私ノ問フノハ別々ニ付託  
シタモノデアツテ、同一ノ性質ノ法案デアルカラ、同シ委員ニ付託シタモノト

思フ、私ノ言フ所ガ違ッテ居ルナラバ速記録ヲ見レバ分カル、別々ノ法案トシ  
テ付託シタノデアルカラ、二ツノ法案ヲ合シテ委員會ガ考案ヲ作ルト云フノ  
ハ、抑モ間違ッテ居ル話デアル、若シソレガ出來タ所ガ、私設鐵道買収法案ト云  
フモノハ生キテ居ルカ、死ンデ居ルカ、何レニカ委員會デ決シナケレバナラ  
ヌ、之ヲ質問スルノハ第三條ニ關係スルカラ、生キテ居ルカ死ンデ居ルカト  
云フコトヲ質問致シマス

○佐藤里治君(百四十八番) 代ッテ御答致シマス

○伊藤大八君(九十七番) 唯今ノ折田君ノ御問ニ、一寸私ハ注意ヲ致シタイ  
○議長(星亨君) 注意モ何モ要ラナイ、答ヘルナラ答ヘルガ、代ッテヤルガ  
宜シイ

○伊藤大八君(九十七番) ソレデハ差代リマセウ  
○佐藤里治君演壇ヲ降り伊藤大八君演壇ニ登ル

○伊藤大八君(九十七番) 唯今厄介ナ問題ヲ私ガ引受ケテ之ヲ御答辯ヲ致シ  
マスノデ、折田君ハ此鐵道法案審查特別委員ノ報告布設法案理由書ト云フモ  
ノヲ御一讀ニナツタコト、考ヘル、然ラバ此私設鐵道買収法案ノコトハ、スッ  
カリソレニ書イテアルノデアル之ヲ唯ズツ讀ンダバカリデ意味ヲ分ケネバ、  
或ハ質問ガ出ルカモ知レヌガ、能ク此意味ヲ解シサヘスレバ、鐵道買収法案  
委員會ニ於テ否決シタト云フコトハ明カニ分ツテ居ルノデゴザイマス、左様  
御承知ヲ願ヒマス

○河島醇君(百六十八番) サウ易イコトナラ、ナゼ委員長ガ答ヘナイ  
○伊藤大八君(九十七番) 答ヘル積リデアツタノデアルケレドモ……、委員  
長カ又竊ニサウ云フ風ニ辯明ガ出來ナカッタカモ知レヌ、委員會ノ決心ハサ  
ウ云フ譯ナノデアリマスカラ、此段御承知ヲ……

○河島醇君(百六十八番) 質問ヲ致シタイガ、ソレニ今演壇ニ居ラレル人ハ  
百五十八番ノ質問ニ對スル答ヨリ出來マセヌカ、大體ニ就イテ出來マスガ  
○議長(星亨君) ソレハ今委員會ノコトヲ代ッテ、委員長ニ代ッテ、述ベテ  
居ルノダカラ、出來ルナラ答ヘルデセウ

○伊藤大八君(九十七番) 宜シウゴザイマス  
○川原茂輔君(百八十番) 比較線路ノコトニ就イテ、工費豫算ヲ定メテ帝國  
議會ノ協賛ヲ經テ、之ヲ爲スト云フコトデゴザイマスガ、最前委員長ノ說明  
中ニハ此比較線路ト云フ四字ニ就イテハ、豫メ此線路、々々ハドチラガ宜シ  
イカ惡イカト云フ利害得失ハ、帝國議會ノ協賛ヲ經テ云々ト斯ウ云フ様ナ  
コトニ私ハ聞キマシタガ、若シ果シテサウナラバ此一例ヲ舉ゲレバ、神奈川縣  
下八王子若クハ靜岡縣下御殿場ヨリ云々ト此地名ヲ茲デ顯ハシテアル中ニ、  
其地名ヨリ地名迄ノ間ノ南一方ガ既ニ測量シタ様デス、然ルニ其外ニ北ニ向ッ  
テスルカモ知レヌ、サウ云フ場合モ比較線路ニ含ンデ居リマスガ、或ハ委員  
會ニ於テ比較線路ハ略々何處ニハニト云フ……

○伊藤大八君(九十七番) 左様デゴザイマス、茲ニ書イテアル外、委員會ノ眼  
中ニハアリマセヌ、書イテアル丈比較線路ニナル、八王子カラ行クトシテ御  
殿場カラ甲府其線ノ外ナイ、或ハ岩淵カラ行キマセウ、或ハ大體ニ就イテハ  
信州ノ篠ノ井カラ行クト世間デハ申シテ居ルカ知レマセヌガ、併ナガラ委員  
會ノ比較線路ハ八王子ト御殿場ヨリソレヨリ外ナイ

○川原茂輔君(百八十番) サウデナ、私ノ尋ネタノハ斯ウデゴザイマス、第七條ニ列舉シテアル中ノ例ヘバ何處ミ、若クハ何處ミト云フ比較線路ト云フデハナ、一番末項ニアル九州豫定線デゴザイマス、一佐賀縣下佐賀ヨリ長崎縣下長崎及佐世保ニ至ル鐵道」斯ウ云フコトデアリマスガ、其佐賀ヨリ長崎ノ方ヘズト通テ居リマスガ、其外ニモ豫定線路ヲ此比較線路ニ含マセルカ否ヤ

○伊藤大八君(九十七番) ツレハ這入ラナイ

○藤田孫平君(百五十五番) 私モ一ツ質問致シタイ、是ハ委員ノ法案ヲ見マスルト、是デ南北ズト裏ト言ッテ宜イカ表ト言ッテ宜イカ、一貫シテ居リマスガ、其一貫スルニ當ッテ政府カラ來タ圖面ニ依ッテ見レバ、殆ド一貫ニナッテ居ル、併ナガラ委員ノ報告書ニ依ッテ考ヘテ見レバ、敦賀舞鶴ト僅ニ平坦ノ殘デ居ルノガ連絡セヌ、ツレヲセヌト或ハ百四五十哩廻ラナケレバナラヌガ、是ハ抜ケタノデアリマスガ、何カ都合ガアッダノデスカ、或ハ一寸誤ッテ落チタノデアリマスガ、一寸……

○伊藤大八君(九十七番) 落チタノデアリマセヌ、ツレハ京都カラ舞鶴ニ行ク線路ヲ布クハ、敦賀カラ舞鶴ニ至ルノハ必要ダラウト委員會ニ於テ決シタノデアリマス

○東尾平太郎君(百九十九番) 今委員ノ代理者ハ百五十八番ノ買収法案ハ如何シタカト云フ尋ネニ附イテ、理由書ヲ見レバ分ルト云フガ、サウシテ見ルト「此鐵道買収法案ハ其結果タルヤ徒ラニ種ノ腐敗ヲ醸シ、纔ニ除カントセル情實ノ弊害ヲ助長スルニ過ギサルヲヤ」トアル、依ッテ之ヲ廢スト書イテアル、サウシテ見レバ、買収法案ハ委員會デハ全廢シタト見テ宜シウゴザイマスガ

○伊藤大八君(九十七番) 宜シイノデス

○東尾平太郎君(百九十九番) 次ニ公債法案デアリマスガ「調査未タ精確ナルモノニ非ス未タ充分満足ナル材料ヲ得サルモノナリ故ニ今直ニ本案ニ同意スルコト能ハス」トアリマスガ、是モ否決シタト見テ宜ウゴザイマスガ

○伊藤大八君(九十七番) 是ハ買収法案ト云フモノハ否決シテ居リマスガ、鐵道公債法案ハ所謂鐵道ヲ擴張スル精神ガ籠ッテ居ル、之ヲ否決スルトシマスト何ニモ爲ス事ガ出來ヌ、鐵道ト云フモノハ國家ニ必要デアル、今日布設スルノガ急務ト認メテ居ルガ、政府ガ出シタ公債法案ハ不十分ダケレドモ、併シ之ヲ此儘打捨テ、根ヲ絶ッテ仕舞フト云フト、甚タ後ノ鐵道布設法案トカ、或ハ擴張法案ト云フモノニ對シテ不都合デアルカラ、更ニ委員會デ協議ヲ盡シマシテ、一ツノ案ヲ拵ヘタ所以デアリマス

○東尾平太郎君(百九十九番) 先キニ委員長ノ報告ヲ承リマス、鐵道買収法案ナリ公債法案ナリ其他議員ノ提出シタ五ツノモノヲ混シテ造クツタモノデアリマス、然ルニ委員代理先生ハ百五十八番ノ問ニ對シテ、理由書ノ第一ノ買収法案ハ否決シタモノデアアル、シテ見レバ第二ノ理由ノ書イテアル所デハ、調査未タ精確ナラズ不十分ナルヲ以テ否決ストアル、(伊藤大八君否決トハアリマセヌ)然ルニ第一ハ否決ト云ッテ、第二ハ如何ニシテ置キマスガ

○伊藤大八君(九十七番) 御注意申シマスガ、否決ト云フコトハ書イテナイ(東尾平太郎君同意スルコト能ハズト書イテアル)即チ公債法案ハ同意ガ出來ヌト云フノデアアル、議論ナラナサイ

○議長(星亨君) 議論ハ其時デナケレバ……

○東尾平太郎君(百九十九番) 議論デナク、同意スル能ハズト……

○伊藤大八君(九十七番) 委員會ノ意見ノアル所ヲ説明シタノデ、否決スルト云フ心持ヲ以テ、書イタト云フノデアリマス

○東尾平太郎君(百九十九番) 答辯ガ出來ナケレバ、議論ノ時申シマス

○議長(星亨君) 宜シイ、議論ハ議論ニシテ……

○小西甚之助君(二百八十八番) 第九條ニ第一期鐵道公債募集ハ五千万圓ヲ募ルト云フコトニ規定シテアリマス、而シテ其公債ノ利子ノ割合ヲ規定シテナイノデアリマスガ、總則第五條ニ依リマス鐵道公債利子ハ一箇年百分五以下トストシテ定メタル、是ハ總則デゴザイマスガ、斯様ニシテ宜シイ、金額ニ對シテ其範圍内ニ於テ利子ノ割合ヲ規定シナケレバナラナイト云フノデアリマス、此第九條ニ第一期ニ五千万圓ト云フ金額ヲ極メタルナラ、同時ニ利子ノ割合ヲ定メナケレバナラナイノニ、定メテナイト云フノハドウ云フ譯合デアリマスガ、伺ヒタイ

○伊藤大八君(九十七番) ツレハ付ケルコトハ出來ヌノデアリマス、ト云フモノハ、第一期ノ間ニ布設スベキモノハ六線路トナッテ居リマスガ、果シテ何レヲ先キニスルカト云フコトガ定メテ居ラヌ、ツレデ尙ホ十分ナル調査ヲ遂ケテ政府ヨリ豫算ヲ組立ッテ、何万圓ノ公債ヲ募集ルト云フコトデ、協賛ヲ求メテ參リマス、時分ニ、其公債ノ利子ハ五分以下ヲ以テト云フコトヲ總則ニ於キマシテ制限ヲ立テ置キマスガ、其制限以内デ求メテ來ルダラウト思ヒマスガ、其折ニ協賛ヲシテヤレバ宜シイ

○小西甚之助君(二百八十八番) 此第九條ニ依ルト公債ヲ募ル額ト云フモノハ五千万圓ト云フコトデ、既ニ規定シテ居リマスガ、其都度幾ラ募ルト云フコトハ更ニ議會ニ掛ケルコトニナッテ居ラヌ様デアリマスガ、併シ委員會ノ御考ハ矢張其都度總額ト云フモノヲ議會ニ……、併シテ其利子ヲバ協賛ヲ求メルト云フ譯デアリマスガ

○伊藤大八君(九十七番) サウ云フ譯デアリマス

○石田貫之助君(百七十八番) 一寸御尋致シマスガ、唯今百九十九番ノ尋ネマシタ政府ノ法案ハ廢案シタノデアリト云フノデアアルガ、サウスルト政府ノ此鐵道公債法案ト云フモノヲ修正シタ、斯ウ云フコトニナルノデスカ

○伊藤大八君(九十七番) サウデス、委員會ノ案ガ成立チマスレバ、其案ガ修正案ニナッテ成立チマス、又委員會ノ案ガ潰レ、バ政府ノ案ガ成立ッテ居ルカドウカ、政府案ニ就イテ決ヲ採ラナケレバナラナイ、政府ノ出シタ公債法案ガ原案ニナッテ居ルノデス

○石田貫之助君(百七十八番) ツレガ判然セヌノデス、ツレデ私ハモウ一度再問スル、大體文章ト腹トガ違ッテ居ルカラ、此議論ガ起ル、抑、茲ニ買収案モ公債法案モアッテ、ツレニ同意セヌト云ツタナラバ、不可不クト云フコトハ否決ト云フコトデアアル、然ル處デ同意スルコト能ハズ、此案ニ同意セヌト云フコトヲ明記シテアル、サウスルト云フト、政府ノ案ハ廢案シテ委員會ガ案ヲ拵ヘタノカ、或ハ政府ノ案ハ全ク同意シナイ、ケレドモ此案ヲ本トシテ修正シタノカ、ツレヲ……

○伊藤大八君(九十七番) サウ云フ譯ニナリマス、サウセヌト鐵道問題ハ議スルコトガ出來ナイ、政府ノ案ヲ否決シマスレバ、一度否決シタモノハ其會

期中二再出スコトガ出来ナイカラ、不完全ナガラモ已ムヲ得ズ之ニ修正ヲ加ヘルト云フ譯デアアル、修正ハ政府案ノ通出テ居ルカト云フト、サウデハナイ、唯鐵道ヲ布クト云フ問題ニ就イテ……

○石田貫之助君(百七十六番) サウスルト斯ウ云フ譯ニナリマセウ、政府案ニハ全ク同意ハセヌデアアル、然レドモ之ヲ本トシテ之ニ修正ヲ加ヘタト云フコトニナリマスガ

○議長(星亨君) 注意シマスガ、「直ニ」ト云フ字ガアリマス

○石田貫之助君(百七十六番) 直ニデモ後ニデモ同意セヌト云フコトガアル、不足デハアルケレドモ兎ニ角之ヲ修正シタト見テ宜イノデスカ

○議長(星亨君) 百五十八番ハ……

○折田兼至君(百五十八番) 本員ハ勿論通告ヲシテ居リマスガ、質問ヲシナケレバ議論ガ出来ナイ

○議長(星亨君) マダ質問ガアリマスガ

○折田兼至君(百五十八番) アルドコロデハナイ、澤山アル、重ネテ質問致シマスガ、今委員ノ一人ナル伊藤君ハ理由書ヲ見ナイデアアラウト言ハレルガ、之ヲ見ルト益々疑ハシクナリテ来ルノデアアル、如何トナレバト一切ノ鐵道ヲ舉ゲテ國有トナスタメニ、之ヲ買収スルノ必要ヲ認メ、其幾部分ハ如何シタト云フコトハ分ラナイ、本員ガ初メ委員長ニ質問シタ際ニ、雙方ノ議案ヲ一緒ニ合セテ議セラレタヤ否ヤト云フコトヲ質問シタラ、其通デアルト云フ答デアアル、サウスルト二ツノ議案、即チ性質ノ違ハ政府ノ議案ヲ一緒ニ合セテ議スルト云フコトハ委託外デアアルト云フコトヲ本員ガ質問シタノデアアル、ツレデ此鐵道法案ノ可決シタ結果トシテ、一方ノ鐵道公債法案ガ否決サレタト云フコトデアレバ、——是ハ買収法案デシタ、買収法案ヲ否決シタト云フコトデアレバ分ル、ケレドモ伊藤君ノ説明ト委員長ナル佐藤君ノ説明トハ大變説明ガ違フテ居ル、ツレハ甚ダ解セナイ、理由書ヲ見テモ分ラナイデアアル、前ニ委員長ノ答ニハ買収案ハ否決シタカト云ヘバ、否決シタト云フ確然タル答ガナイ、生キテ居ルカト云ヘバ生キテ居ルト云フコトノ確然タル答モナイ、然ラバ雙方合セテ折衷シタカト云ヘバ、稍ツレニ近イト云フ、ツレナラバ付託外デアアルト云フコトヲ質問シタ時ニ、今ノ伊藤君ガ登壇サレタノデアアル、ツレヲ明瞭ニ答ヘラレタイ、ツレデ議長ハ頻ニ質問ヲ拒マレルヤウデアアルカラ……

○議長(星亨君) 質問ハ拒ミマセヌ、議論丈拒ミマス

○伊藤大八君(九十七番) 唯今ノニ御答致シマス、決シテ委員長ト理事ノ間ニ見解ノ異ニシテ居ナイ、委員長モ蓋シ私ガ申上グマシタ如クナル意デアラウト云フ私ハ推測ヲ致シマス、又サウナクテハナラナイデアアル、此鐵道買収法案ト云フモノハ即チ鐵道ヲ擴張シテ行クニ於テ、其様ナモノヲ採用セヌデモ行ケルト云フ精神カラ、是ハ否決スルガ宜イト云フコトデアラウ、ツレカラ此委員會ニ出シマシタ所ノ案ニ私設鐵道會社ノ處分ト云フコトガアル、アレハ即チアノ條ニ至ッテ更ニ其處分ヲ附ケナクテハナラナイカラ、處分法ト云フモノヲ書イタ、強ク此買収法案ヲ持ッテ来テ拵ヘタト云フ譯デアハナイ、ツレダカラ鐵道ヲ擴張スルノ道ニ於テ妨ノアル部分ハ、ツレ式ノ處分ヲシテ行カナケレバナラナイト云フ譯デアリマス、其儘ニ御了解下サレバツレデ足リルト思フ

○折田兼至君(百五十八番) 本員ノ考デハ違フテ居ル、ケレドモツレハ敢テ問ヒマセヌ、幾ラ問フタ所ガ際限ノナイコトデアアル、此各線ノコトニ就イテ質問シマスガ、第一期ノ外ノ線路ト云フノハ、凡ソ何年頃カラ著手シテ何年掛ルカ……

○議長(星亨君) ツレハ二議會ノ時ニシタラ宜カラウ

○折田兼至君(百五十八番) 總體ノ意見ヲ述ベルニ必要デアリマス

○議長(星亨君) 各線路デスカ

○折田兼至君(百五十八番) サウデス、各線路ノ大體ヲ問フノデアアル、ツレニ對スル費額ハ凡ソドノ位ノ見込デアアルカ、ツレカラ又既定線或ハ豫定線ヲ問ハズ、——既定線ト私ノ言フノハ第一期ノ線、或ハ第二期ノ線ニ拘ラズ、若シ後日議會ニ此布設ヲ求メタ時ニ議會ガ不必要ト認メタトキハ廢メラ積デアアルカ、一旦線ヲ決定シタ以上ハ線ノ變更ト云フコトハ差支ナイ、ケレドモ線ノ全部ヲ廢メルコトハ決シテ出来ナイト云フ意見デアアルカ、ツレカラ第一期ノ關スル鐵道ヲ布設スルニ關シ、外國ヨリ買入ルベキ鐵道ニ關シタ總テノ材料ハドノ位ニ積ツタモノデアアルカト云フコトヲ質問スル

○伊藤大八君(九十七番) 第一問ニ就キマシテハ、第一期間ニ於テ布設スベキ鐵道線路以外ニナリテ居リマスノハ、委員會ニ於テ何時第二期ト云フ工事ニ著手シテ宜イカト云フコトハ、未ダ定メハ致シマセヌ、ツレガ分リマスルコトデゴザリマスレバ、第一期第二期第三期ト附ケテ置クノデアアル、ケレドモ第一期ニヤツタ線路、即チ鐵道ガ發達致シマスルト云フト、又世ノ中ノ變動ト云フモノガ起ツテ来、或ハ其土地ノ繁華衰頹斯ウ云フトコトガ起ツテ来ヤウト思フノデアアル、從ッテ十年後ノコトニナリマスレト云フト、多少此一期二期トシタ所ノモノデモ變更ガ免レヌト云フコトヲ恐レテ、委員會ニ於テハサウ先キミミノコトマデモ極メテ附ケテ置カナカタクデアリマス、——ツレカラ此豫定線路ト云フモノヲ斯ノ如クニ記載シテ置ク、——書イテ置ク、即チ法律ニ定メテ置ケバ必ズ此約束ヲ履ンデ、一部ノ變更ハアツテモ全部ノ變更ト云フモノハ出来ナイカトノ御問デゴザリマスガ、是ハ實ニ折田君ニハ似合ハナイ御質問ダト考ヘル、我々ハ法律ヲ拵ヘル權利ヲ持ッテ居ル、又廢スルト云フコトモ我々ノ權利デアアル、即チ此民法商法施行延期ト云フ様ナモノモ出テ来ルデアアリマセヌカ、矢張此豫定線路ト云フモノヲ置イタ所ガ、之ヲ惡イトスルナラバ廢スルハ當リ前ノ事デアリマスカラ、是等ノ御質問ニ就イテハ長ミト辯明ハ致シマセヌ、ツレカラ其次ノ事杯ハ政府委員モ来テ居ル様デゴザリマスガ、外國カラ物ヲ買入レル様ナ委員コトハ私ハヨウ答辯ガ出来マセヌノデゴザリマスカラ、是等ノ事ニ就イテ御質問ガゴザリマスレバ、委

員ガ迷ッテ居ル、我々モ迷フ、茲ニ一ツノ報告書ニ就イテ見レバ、鐵道法案審査特別委員並ニ鐵道買収法案、審査特別委員ト云フコトガアル、我々ハ鐵道法案審査特別委員ト云フモノヲ選舉シタコトハナイ、然ルニ斯ウ云フコトガアルハ、是ハ委員會カラ御出シニナリタノカ、何處カラ出タノカ、之ヲ承認シタイ、僅ナ名義ダカ鐵道法案審査特別委員ト云フモノハ、我々選舉シタコト

○福田久松君(二百八十四番) 前ニハ議決シタト云フコトハ、報告書ノ中ヲ御覽ニナレバ分ルト云フ、後ニハ決議ガ出来ナイカラ修正案ガ……、實ニ委員ガ迷ッテ居ル、我々モ迷フ、茲ニ一ツノ報告書ニ就イテ見レバ、鐵道法案

ハナイ、鐵道買収法案ノ委員ナルモノハ我々選舉シタ、若シ委員カラ斯ウ云フモノヲ出シタト云フナラバ、此名義ヲ取消スナリ、何ナリスルコトニ願ヒマス  
○議長(星亨君) 百五十八番何カ總體ニ附イテ議論ガアルデスカ  
(折田兼至君演壇ニ登ル)

○折田兼至君(百五十八番) 諸君、私ハ此政府ノ提出サレマシタ所ノ鐵道公債法案ニ全ク反對スル所ノモノデゴザリマス、勿論此政府ノ提出案ニ反對スレバ、自ラ他ノ修正案ニモ反對スルト云フコトハ、別段申サナクモ明カナルコトデアリマスカラ、別ニ分ケテ申ス程ノ事モアリマセウガ、元來此凡ソ事業ヲ起シマスルニ就キマシテハ、始メテ慎重マナケレバナラヌト云フコトハ、今更ラ私ガ中シマセウデモ彼ノ製鋼所設立費ノ時ノ議論ニ於テ、諸君ハ既ニ御承知ニナツタコト、考ヘマス、實ニ私モ諸君ト共ニ感同ジウスルモノデアアル、凡ソ事業ヲ起スト云フコトハ、言ヒ易イケレドモ實際甚ダ困難ナルモデアアル、或ハ一寸考ヘマシテハ輕易ニ出來ベクアツテ、實際ニ當ツテ容易ニ出來難イコトノ多イモノデアアル、ト云フコトハ實地ニ明カルイ諸君ハ御經驗ノアルコトデアラウト考ヘマス、私モ亦諸君ト感同ジウスルモノデアリマシテ、ナカノ唯席上デ議論スルコト、實際ニ當ツテ仕事ヲスル上ニ就イテハ、其難易決シテ同日ニ論ス可カラサルモノデアアルト云フコトハ、深ク信ジテ居ル所ノモノデアリマス、故ニ凡ソ事業ヲ起スニ就イテハ先ヅ其始メニ於テ十分慎重シマナケレバナラヌ、決シテ輕キ事ヲ舉グベキモノデアナイト云フコトハ論ヲ俟タナイコトデアリマス、況ヤ此會社ノ事業トカ、或ハ一國ノ經濟ヲ以テ爲スガ如キ事業ニ於テハ、其興廢ニ於テ利害ノ關スル所決シテ少ナカラヌコトデアアル、誠ニ其利害ノ關スル所ノ廣イモノデアリマスカラ、尙ホ更會社ノ事業ノ如キ、或ハ一國ノ事業ノ如キハ一層ノ注意ヲ要サナケレバナラヌト考ヘル、然ルニ此鐵道公債法案ヲ見ルニ、吾人ハ之ニ向ツテ十分ノ信用ヲ措クニ足ル所ノ法案デアアルヤ否ヤト云フコトヲ考ヘルニ、決シテ我々ハ信用ヲ未ダ措クコトガ出來ン、ナゼトナレバ此中ノ三線路ハ既ニ測量ノ終ヘタモノデアアルト云フコトデアアル、併ナガラ其他ノ線路ニ至ツテハ未ダ決シテ測量ヲ爲シタモノデアナイデアアル、凡ソ此邊ニ鐵道ヲ布設シタラ出來ルデアラウト云フ席上ノ考デ以テ定メタ所ノ法案デアアル、果シテサウデアルト致シマスレバ、若シ今日デハ此處ニモ鐵道ヲ造レバ出來ルデアラウ、アノ處ニ鐵道ヲ設ケタナラバ、十分ニ相當ノ勾配ガ付クデアラウト考フ所モ、實際ニ當ツテハ大ニ相違スル所ガアルト違ヒナイ、今日ノ考ヘトハ大ニ相違シテ實際ニ於テハ鐵道ヲ布設スルコトガ出來ナイ、トコロガ此中ニ幾多アルモノト考ヘナケレバナラヌ、諸君左様ニ未ダ十分ノ信用ヲ置クニ至ラナイ所ノ鐵道ヲ豫メ我議會ガ輕キニ議決スルニ於テ決シテ差支ナイカ否ヤ、斯ノ如ク無責任ノ決定此鐵道ヲ布設スル上ニ就イテ考ヘテ見ルニ、別ニ制裁ハナイト雖モ、自カラ此鐵道ヲ有無ニ就イテ考ヘナケレバナラヌ所ノモノデアアル、後日縱令ドウナツテモ宜シイ、今日ハ今日デ議決シテ置ケバ事足レリト云フ様ナモノデアナイ、凡ソ議員ガ議場ニ立ツテ議論スル以上ハ、是非得失ヲ考ヘテ篤ト其上デ判斷ヲ下シ決定ヲシナケレバナラヌ、未ダ十分ノ信用ヲ措クコトノ出來ナイモノニ向ツテ、輕キ議決ヲ爲スガ如キ無責任ノ決議ヲスルコトハ、決シテ本院ノ爲シ能ハヌ所ト、私ハ斷定シテモ差支ナイト考ヘル、況ヤ此工費ノ如

キニ於テモ凡ソ五千萬圓ノ豫定ハシテアルモノ、前申ス如ク各線路ニ向ツテ決シテ調査ヲ經タモノデアナイ、本當ノ測量ヲ終ヘタモノデアナカラ、五千萬圓ノモノガ一億萬圓ニ登ルカモ知ラヌ、幸ニシテ安ク出來レバ兎ニ角デアアル、ケレドモ先ヅ凡ソ唯想像ニ成立ツタ所ノ法案デアアル、又此豫算ノ算出法タルヤ既設ノ鐵道ヲ參照シテ以テ此金額ヲ算出シタモノデアルト考ヘレバ、決シテ私ハ此金額ヨリ少イト云フ方ニナルヨリカ、寧ロ多イ方ニナルモノト考ヘルモ不當ノ推測デハナカラウト思フデ、工費ノ上ニ附イテモ今申ス如ク豫メ五千萬圓ト定メルトシテモ、其實際ニ於テハ果シテ若干ニナルヤ否ヤ分ラヌ所ノモノデアリマスカラ、今日ニ於テ五千萬圓ト云フモノヲ決定シテ置クナラバ、我議會ハ責任ノナイ所ノ議決ヲ爲シタモノト斷定シナケレバナラヌ、左様ナコトハ決シテ議會ノ輕キニ爲スベキ事柄デアナイ、十分見込ノ立タナイモノデアレバ、先ヅ十分ノ調査ヲ遂ゲタ上ニ、當院ノ意向ヲ定メルト云フコトコソ相當デアルト考ヘル、其例ヲ引イテ申シマスレバ、彼ノ製鋼所ノコトデゴザリマス、滿場ノ諸君、此日本ニ於テ製鋼所ガ必要デアアル、絕對的ニ置カヌト云フ人ハ一人モ無イト考ヘル、然レドモ彼ノ案ヲ否決シマシタノハ、何ノ所以デアアル、果シテ日本ニ於テ製鋼所ヲ設ケルカ原料ガアルカ、又好シ聊カノ原料ガアルカトシテモ、此事業ガ果シテ成立スルヤ否ヤト云フコトニ附イテ疑ガ有ツタガタメニ、遂ニ否決シタノデハ無イカ、彼ニ向ツテハ未ダ此法案ハ信用ヲ置ケナイ、十分ノ調査ヲ遂ゲタモノデアルト云フデ、否決シテ置キナガラ、此鐵道法案ハ未ダ測量ヲ經ザル此費額モ確定セザル所ノモノニ向ツテ、今日ニ於テ可決シテ差支ナイト云フニ至ツテハ、實ニ自家衝突ト言ハナケレバナラナイ、左様ナ矛盾シタ議決ハ本員ノ爲スコトヲ好マザル所ノモノデアアル、抑ヤ此鐵道法案ノ始メテ出マスル時ハ、政府ノ提出スル所ハ軍事上ノ必要ト經濟上ノ必要ト二點ニ出タモノト考ヘル、然ルニ今度議定シタ所ノ線路ノ中、果シテ悉ク軍用上ノ必要デアアルカ否ヤト云フコトニ附イテ、私ハ未ダ信ヲ措クコトガ出來ナイ、然レドモ假ニ一步ヲ讓ツテ軍用上ノ要ノ路線デアアルトシマシテモ、此今日日本ノ鐵道タルヤ、皆狹軌鐵道デアツテ十分ニ經濟上收支償ハナイタメニ、悉ク單線鐵道ニナツテ居ル、之ガタメニ今實際此軍用上、鐵道ヲ使用シテ幾何ノ利益ガ有ルヤ否ヤニ附イテ、段々其筋ナドニ於テモ調ベラレル所ヲ承ルニ、私ハ實際日本今日ノ鐵道ヲ軍用上應用スルニ於テハ餘程困難デアルト云フコトヲ聞イテ居ル、一寸此前唯一己人ノ資格デ或人ヨリ聞キマシタコトデスカラ、之ヲ以テ必ズ確實ノモノト申スコトハ出來マセウケレドモ、日外東京ト宮城鎮臺トノ間ヲ兵隊ヲ送ルニ鐵道ノ效用ニ附イテ算出致シタ所ノ結果ニ依レバ、複線ニシテ狹軌鐵道ナルガ故ニ、仙臺ヨリ東京ニ兵隊ヲ送ルニ陸行サセバ、複線ニシテ狹軌鐵道ナルノ時日ヲ要スルコト云フコトデアアル、果シテ之ガ事實デアラレナイ、此ノ如キモノレバ軍用上今日鐵道ノ必要ダト云フ議論ハ、或ハ其實際ヲ知ラナイモノデアラウト考ヘル、併ナガラ私トモ全ク鐵道ガ無イヨリ、有ル方ガ軍用上ニモ幾ラカ便利デアルト云フコトハ信ズルモノデアリマス、ケレドモ今申スガ如ク軍用上ノ必要デアルト云フ議論ニ向ツテハ、一撃ヲセザルヲ得マセウ次第デゴザリマス、又經濟上ヨリ論ジテ果シテ如何カト申シマスルニ、曩ニ委員長ナル百四十八番ガ今日ノ多數ノ收益ノ上カラ算出シテ見ルニ、大凡此

四歩八厘位ノ利益ダカラ、經濟上カラ申シテモ決シテ差支ナイト云フコトヲ申サレマシタガ、果シテ是ハ彼ノ利子補充ナルモノヲ差引カレタ後ノ計算アルカ否ヤ、私ハ決シテ左様ニ考ヘナイ、政府ノ保護ガアツテ始メテ此ノ如キ算出ガ出來ルト思フ、其他是カラ布設シヤウト思フ所ハ、多クノ利益アル場所ニハ既ニ鐵道ガ起ツテ居ル、利益ノ無イ、私設鐵道ヲ設立シテハ利益ノ目的ガ立タヌト云フ所ガ多イノデアリマス、ツレニ向テ鐵道ヲ布クノデアリマスカラ、既設ノ鐵道ノ利益ヲ以テ未設ノ鐵道ガ必ズ是ノ利益アリト云フコトヲ算出スルノハ、算出ノ法ヲ知ラヌモノト云フテモ、私ハ經濟ニ非ズト斷言シマス、果シテ然ラバ此經濟上カラ申シテモ、今日ニ於テ此數千哩ニ亘ル布設ハ日本ニ於テ、收支償イ難キモノデアアル、必ズ維持スルニ經濟ガ、是ヲ維持スルコト云フコトハ確信スルコトガ出來ナイモノト私ハ茲ニ斷言スルコトヲ憚ラヌ所ノモノデアアル、然ラハ經濟上カラ鐵道ヲ布設スルコトモ、今日ニ於テ或ハ其目的ヲ達スルコトガ出來ナイト信ジマスルガ故ニ、私ハ經濟上鐵道ヲ布設スルコト云フ案ニ對シテ、反對スルモノデアアル、併シ斯ク論ジ來タラバ、必シモ鐵道ハ是カラ布設シナイト云フ考デアアルヤ否ヤト云フ御疑アルカモ知レマセヌガ、決シテ私トモ是ヨリ鐵道ヲ一步モ進メナイ、一步モ進メデ布カナイト云フ論者デナイ、相當ノ測量ヲ爲シテ十分ナル見込ガ立チ、必ズ經濟ノ維持スル目的ガ立ツカ、或ハ軍事上必シモ置カナケレバナラヌ線路ニ向テハ、悅ンデ同意ヲ表スルモノデアリマス、ケレドモ今日政府ノ提出シタ案、或ハ其他各員ノ提出サレタ案ニ就イテハ、前ニモ申スガ如ク其調査ノ不完全ナル必シモ工費ノ如何ヲ知ル能ハズ、又利益ノ得失ヲ察スルコトガ出來ナイ、故ニ今日ニ於テ私ハ此法案ニ對シテ反對スル意見ヲ表スル所以デアアル、尙ホ一步進メデ委員長ナル佐藤君ノ御説ニ此鐵道ヲ布設スルガタメニ、日本ノ經濟社會ニ決シテ格別ノ困難ヲ見ルコトガナカラハ、貨幣ノ金額ノ如キモ大凡今日ノ調ベニ依レバ、一億五千萬圓内外アル言ハレマシタガ、百四十八番ハ果シテ何ニ依レバ、今日日本ニ斯ノ如キ流通貨幣ガアルヤ否ヤヲ知ラレタカハ知リマセヌケレドモ、私カ大藏省ニ就イテ調ベタ所ニ依レバ、明治二十三年十二月ノ調ベニハ七千六百六十九萬四千九百圓餘、是ヲシカ流通貨幣ガナイノ點、又現今ノ調ベニ由ルト、一寸今席ニ取落シマシタガ、目今ノ調ハ即チ先月、調ベバ大藏省カラ得マシタモノニ依レバ、殆ド七千萬圓ト云フコトデアアル、少シハ差ガアルガ、決シテ一億萬圓ト云フ貨幣ガ日本ニナイト云フコトデアアル、尙ホ此コトヲ確メタルメニ申シマスルガ、是迄少シク此計算上カラ相違シマスケレトモ、最近ノ統計年鑑ニ依テ調ベルト日本ニ於テ鑄造シタ所ノ貨幣ノ總額ハ一億六千八百六十六萬七千七百餘圓デアアル、ケレドモ此中既ニ外國ニ輸出シタ所ノモノガ幾分カラリマスルカラ、此一億六千八百六十六萬何千圓ト云フノハ、現ニ今日アル所ノ金高デナイ、此既往我日本ヨリ外國ニ輸入シタ金額ヲ見マスルノ外國ヨリ輸入デハナイ、輸出シタ所ノ金額ヲ見マスルニ、彼ヨリ輸入シタ所ノ金額ヲ合セテ、其總額ノ中ヨリ一億八百二十六萬七千三百二十九圓餘ト云フモノハ、既ニ前年度ノ十二月ノ調ベニ依テ見マスルト支出シテ居ル、之ヲ差引シテ見マスルト、前ニ本員ガ申シタ通、日本ニ唯今アル所ノ貨幣ノ總額ナルモノハ、僅ニ七千何萬圓シカナイコトニナツテ居ル、然ルニ此五千萬圓ノ中ノ五千萬圓ニ對スル鐵道ヲ起スニ就イテハ、此中何程ガ外國ニ支出スベキ金デアアルカ

ト云フコトヲ、私モ細ニ調ベテ居リマセヌカラ、茲ニ喋々致シマセヌガ、既ニ是マデ布設シタ鐵道ニ就イテ、諸君ガ御調ニナリマシタナラバ、此鐵道布設ノタメニ日本内ニ殘ル所ノ金額ハ大凡何程アツテ、外國ニ支出スル金ガ大凡何程アルト云フコトハ明ニ御分リノコトデアラウト思フ、此五千萬圓ノ外國ニ輸出スル所ノ貨幣ノ高ヲ考ヘテ見マスルト、決シテ少ナラヌコトデアアル、多額ノ金貨ヲ外國ニ輸出シ、日本ニ於テ貨幣ガ減少スルニ從テハ、或ハ經濟社會ニ、又銀紙不平均ノ變動ヲ來スコトガナイトモ云ヘナイカラ、好シヤ其コトハ無イトシタ所デ、一時ニ多額ノ貨幣ヲ外國ニ輸出スルト云フコトハ、實ニ國ノ經濟ノ上カラ言フテモ、餘程慎マナケレバナラヌコト、考ヘル、況ヤ此擴張案タルヤ政府ノ案ヲ見ルニ、大凡三千六百哩ヲ擴張シナケレバ、日本ニ於テ先ヅ一ト通鐵道ヲ布設シ得ヌト云フコトハ出來ナイト云フコトデアアル、其費額ヲ察スルニ何程デアアルカト云ヘバ、一億千六百萬圓ト云フ多額ノ金ヲ要スルコト云フコトデアアル、然ルニ我日本ノ貨幣紙幣ノ總額ヲ幾ラカト見マスルト、雙方合セテモ此金額ニ充タナイ位ノモノデアアル、成程公債ヲ募ルカラ差支ナイト云フ御考モアルカモ知レナイケレドモ、抑、公債ヲ產ミ出ス所ノ原ハ何デアアルカト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌ、僅ニ日本ニ於テ三億萬ニ足ラナイ所ノ紙幣貨幣ヲ有シテ居ル今日ニ當ツテ、二億萬圓以上ノ工事ノ目論見ヲ今日ニ於テ起スコトハ實ニ大早計ト言ハナケレバナラナイ、又此鐵道ヲ布設スルニ就イテ未ダ測量シナイ所ノ線路マデモ、今日ニ於テ豫メ定メテ置カナケレバナラヌト云フコトハ、果シテ何レニ必要ガアルデゴザイマセウ、鐵道ハ大凡必要ナル線ヲ漸次擴張シテ全國ニ及ボスト云フコトデアアレバ兎モ角、未ダ測量ヲ經ナイ果シテ鐵道ガ布設ガ出來ルヤ否ヤト云フコトモ分ラナイ所ニ向ツテ、漠然ト此三千六百哩ノ鐵道ヲ日本ニ布カウト云フ計畫ヲ今日ニ於テ爲スガ如キハ、實ニ私ハ其大早計ナルニ驚カザルヲ得マセヌ、尙ホ進メデ申シマスレバ鐵道ノ必要ハ敢テ私ガ喋々スルニ及バナナイ、決シテ私モ此法案ニ賛成スル所ハ一步モ讓ラヌ考デアアル、ケレドモ今申ス如ク日本ノ今日ノ實際ノ有様カラ見ルト、決シテ此工事ヲ起スコトハ輕ニ難中ナル難デアアル、又日本ノ地形カラ考ヘマシテモ、此鐵道工事ノ如キハ實ニ難中ナル難デアアルト云フコトヲ察セナケレバナラナイ、左様ナモノヲ御互ニ此議院ノ議權ノ上カラ考ヘテ見テモ、漠然決スルガ如キハ實ニ諸君ノタメニ私ガ取ラザル所、故ニ私ハ贊成セザル所、又日本一般人民ノ經濟社會ノ有様ヲ考ヘテ見マスル、成程鐵道ヲ布設スルガタメニ其布設ヲ受ケタ所ノ一般ノ人民ハ幾ラカ利益ヲ得ルコトガアルカモ知レナイ、ケレドモ日本全國ノ人民ハ之ガタメニ又幾多ノ困難ヲ來スコトガナイトモ決シテ言ハレヌコトデアアル、況ヤ私ノ想像スル所ニ依ツテ見マスレバ、五千萬圓ノ鐵道公債ニ對シテ好シヤ鐵道カラ上ル所ノ利益ヲ以テ、其利子ノ幾分ヲ補フコトカ出來ルトシテモ、日本ノ國庫經濟ニ於テ必ズシモ百五十萬圓以上ノ負擔ヲ年々爲サナケレバナラナイ、是ハ決シテ免カルベカラザル所ノコトデアアラウト考ヘマス、果シテ百五十萬圓以上ノ負擔ト、鐵道ヲ布イタ所ノ便利ト、或ハ是カラ上ル所ノ利益トデ相償フコトガ出來ルヤ否ヤト云フニ至ツテハ、私ハ今日ニ於テ決シテ此間ニ於テ何等ノ言ヲ以テスルモ、得失相償フコトヲ得ルト云フコトハ斷言スルコトノ出來ナイ所ノモノデアアル、故ニ私ハ此政府ノ法案ニ反對シ、反對スルニ至ツテハ前ニ申シタ如ク絕對的ニ反對スルノデアナイ、將



來適當ノ測量ヲ爲シ、我々ヲシテ十分信用セシムル程ノ法案ヲ出シ、今日ノ鐵道法案ノ如ク漠然タルモノニアラズシテ、必要ナル一部分ヲ要求スルニ於テハ、欣ンデ賛成ヲ表スル所ノ者デアル、ケレドモ本會へ提出セラレタ所ノ法案ノ如キ、漫然タルモノニシテ吾人ヲシテ十分信用ヲ措ク能ハザル所ノモノヲ、若シ可決シタナラバ、是ヨリ生ズル所ノ利害モ未ダ知ルベカラザル所ノ法案ニ對シテハ、徹頭徹尾反對ヲ表セザルヲ得ザル所デゴザイマス、故ニ殆ド議場ノ大勢ハ既ニ一定シタルガ如キ有様ナルニモ拘ラズ、此案ニ對スル意見ノ在ル所ヲ一言シテ反對ノ意ヲ表シマス

(贊成々々ト呼ブ者アリ)

○議長(星亨君) モウ大抵議論ハ盡キマシタデ決ヲ採リマス、二讀會ヲ開クヤ否ヤノ決ヲ採リマス、一讀會ヲ開クト云フ說ニ贊成ノ諸君ハ起立ナスツテ下サイ

起立者 多數

○議長(星亨君) 多數ト認メマス、依ッテ二讀會ヲ開クト云フコトハ可決致シマス

○佐藤里治君(百四十八番) ドウカ二讀會ハ直ニ……

(此時反對ノ意ヲ表スル者多シ)

○議長(星亨君) 人ノ言フテ居ル中ハツレガ終ラヌ中ニ立ッテハイキマセヌ、五十六番

○山口千代作君(五十六番) 唯今何番カハ直チニ二讀會ヲ開クト云フ動議ガゴザイマシタガ、鐵道ノ事ハ餘程重大ナコトデゴザイマスデ、兩三日ハ時日ヲ擱カネバナラヌ、又我々モ熟考ニ熟考ヲ加ヘナケレバナライ、然ルニ此問題ニ限ッテ直ニ開クト云フコトハ實ニ阿房氣ヲ動議ト思ヒマス(笑聲起ル)ドウカ満場ニ容レナイ様ニ致シタイ

○佐々田懋君(百七十二番) 本員ハ山口ケン(笑聲起ル)ノ二讀會ヲ直ニ開カナイト云フニ贊成ヲスルモノデアル、是ハ是非兩三日即チ一兩日ノ期間ト云フモノハ能ク考慮シタ上相決スルコトニ致シタイ

○渡部芳造君(八十番) 唯今直チニ開クト云フコトニ就イテ不贊成ノ御方ガアルヤウデゴザイマスガ、併シ議決ノ數ヲ見マスルニ大多數ノ決議アル位デゴザイマスカラ、直チニ二讀會ヲ開カレタイ

○議長(星亨君) 決ヲ採リマス、直チニ二讀會ヲ開クト云フコトニ就イテ決ヲ採リマス、即チ直チニ二讀會ヲ開クト云フコトニ贊成ノ方ハ起立ナスツテ下サイ

起立者 少數

○議長(星亨君) 少數ト認メマス、直チニ開カスト云フコトニ決シマス

是ヨリ第二ノ私設鐵道法案ニ移ルノデアリマスガ、先程……ソレデ移ルノデゴザイマスガ、政府カラ請求ガアッテ、是ハ一時公債法案ノ確定マデ、待ッテ貰ヒタイト云フコトデアリマス

○内藤利八君(十一番) 私ハ矢張議事日程ノ通ニ議シタイ

○鈴木萬次郎君(二十六番) 先刻議事日程通ナルト云フコトヲ議長ハ宣告ヲシテアリマス、然ルニ今更サウ云フコトハナリマセヌ

○内藤利八君(十一番) 全體政府カラ提出シマシタ所ノ議案ニ修正ヲ加ヘルトカ、或ハ議案ヲ撤回スルト云フ場合ナラバ、ソレハ法律ニ明記ガアリマ

ス、然ルニ都合ニ依ッテ之ヲ鐵道公債法案ヲ議シタ後ニ、買収案ヲ議スルト云フ政府ノ望ハ、本會ハ應ズルコトハ出來マセヌ、(然リミト呼ブ者アリ)即チ本會ノ意見ニ依ッテ決スレバ差支ナイ、私ハ矢張引續買収案ノ第一讀會ヲ開クコトヲ希望致シマス

○佐々木善右衛門君(二百二十七番) 私ハ政府ノ照會トハ云ハズニ、矢張買収案ハ今日ハ議サナイト云フノガ宜シイ、政府ガ照會シタノ……矢張議長ノ御見込通デ宜シイ、政府ガ照會シタカラト云ッテ、故ラニ反對スルハ私ハ宜シクナイ、是ハ道理上カラドウシテモ鐵道公債法案ガ可決シタ後ニスルノガ一體宜シイノデアアル、手續サヘ善ケレバソレデ宜イノデアリマス

○早川龍介君(二十七番) 先刻議長ガ御宣言ニナリマシタ其通デ一向差支ナイ、ト云フモノハ、此所デ後トテ議スノ先キニ議スノトハ喧イコトガアル、或ハ倒ストカ、氣ニ入ラヌトカト云フタ所ガ、既ニ唯今二讀會ヲ開クト云フコトガ決シテ、既ニ其事ハ修正案ト云フモノヲ委員ガ作ッテ出シタ中ニハ、サウ云フモノガ混和シテ居ルモノデアリマス、或ハ是ハ否決シタモノダ、是ハ氣ニ入ラヌト云フタ所ガ、立派ニ言ッタ所ガ、矢張幾分力ヲ針ト云フモノニ附イテハ幾分力ヲ入ッテ居リマス、唯言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、ドウ云フコトデモ言ハレルカ知リマセヌ、ケレドモ唯甚ダ言葉ヲ飾ッテ言フニ限ルヤウナ話デアリマス、素ヨリ委員ガ出シタ案ト云フモノハ、十分ニ之ヲ決シマシタ以上ハ、是デ決シテ仕舞ヘバ政府カラ出シタ案ハ、自ラ消滅シタ、自ラ消滅シタデ、言ヒ草ガ惡イナラ撤回デモ否決デモ、蹴飛ばシタト云ッテモ宜イ、(笑聲起ル)ケレドモ事實ハサウ行カヌカラ、先刻議長ガ御宣告ノ通ニヤルガ宜シイ

(此時騒然)

○議長(星亨君) 是ハ特別ノ事デスカラ、ソレハイケマセヌ

○山田東次君(百三番) 政府ガ此議案ヲ撤回ヲスルナラバ別段ノ話、撤回ヲシナイデ以テ外ノ議案ガ結了スルマデ、——三讀會ヲ結了スルマデ、待ッテ吳レト云フ要求ハ今日マデ慣例ノナイ話、又サウ云フコトヲスルニハ議長ノ職權ヲ以テナスコトハ出來ナイト考ヘル、(然リミト云フ者アリ)故ニ議場ニ御諸ニナッテ、サウシテ決スベキモノト考ヘマス

○井上角五郎君(七十六番) 本員ハ本日ノ場合ニ於テハ議長ノ處置ヲ以テ正當ト認メマス、(笑聲起ル) 其故如何トナレバ、過日佐藤里治君カラ鐵道擴張法案ガ出テ、其翌日ノ議事日程ニハ鐵道公債法案、私設鐵道買収法案ガ議事日程ニ載ッタ、即チ政府案ヲ明日ニ延べルト云フ時ニ當ッテ、佐藤君ガ如何ナルコトヲ言ッタ、ドウカ此本員ノ出シタ鐵道擴張法案ノ議事ハ延ベテ貰ヒタイ、議長ハ直チニ之ヲ認メ、議員ノ一人モ之ニ反對ナクシテ、今ヤ政府カラ斯様ナ請求ガアッテ、議長自ラ之ヲ認メ、此議事ヲ暫ク延べルト云フニ諸君ガワイノ噪グト云フ如キハ、甚ダ彼ニ厚ク、要スルニ諸君ガ公平ヲ保チ得ナイ仕業デアルト云ハナケレバナラヌ、此一點ハ議長ナル星君ノ處置甚ダ公平ナリト云ハナケレバナラヌ(笑聲起ル)

○清水文二郎君(四十五番) 此鐵道買収法案ハ今議スルヤ否ヤト云フコトガアリマスガ、是ハ政府ガ言フ言ハナイニ拘ラズ、鐵道公債法案ヲ議シタ後ニ、鐵道公債法案デ以テ鐵道ノ必要ガナイト云フコトニナッタナラバ、少シモ要ラナイコト、是ニ於テ力癩ヲ入レテ先キニ議スル、後トテ議スルト云フヤウナ



アルト思フ、即チ議院法ノ第二十六條ニ「各議院ノ議長ハ議事日程ヲ定メ之ヲ議院ニ報告シ」ト云フコトガアル、宜シイカ(宜シイト呼ブ者アリ)即チ議長ガ議事日程ヲ定ムル權ハアル(鈴木萬次郎君議事日程ヲ變更スル時ニ議場ニ諮ラシメ變更スル權利ハナイト呼ビ、又氣狂ニナシタカト呼ブ者アリ)徒ニ車夫馬丁ノ喧嘩ノ如ク立騒ガレテハ誠ニ困ル、議場ニ於テハ慎シク貫ハナケレバナランネ、ソレデ議長ハ即チ其權ガアルト思フノダ、(有ルト呼ブ者アリ)又ナイト呼ブ者アリ、其後二ノ例ガアル、二ツノ例ト云フノハ、第一ハ鹽田君其外ガ提出シタル蠶業獎勵法ト云フモノガアル、是ハ一時引キマシタコトガアル、斯ウ云フコトガアルテドウシタカト云フ、議長ハ之ヲ報道シタ、是ハ引クト云フ時デゴザリマス、宜シウゴザリマス、之ヲ引クト云フコトデアルカラ、議長ハ之ヲ引カシムル權ガアルカラ、(此時發言スル者多シ)先ツ默ッテ聽イタ上デ、議論スルガ宜シイ、議長ハ引カセル權ガアルカラ、其事ヲ報道シタラ、默ッテ居タデハナイカ

第二ニハ佐藤里治君提出問題ニ附イテ自カラ出シテ居タガ、尙ホ取調ベノタメニ一時引クト云フ時ニナツテ今日ハ佐藤君ノ提出問題ハドウデゴザルト聽イタ人ガアル、其時ニ方ツテ一時取調ベノタメニ佐藤君ハ引イタト云フコトヲ議長ガ言タデアル、諸君ハソレデ即チ其事ヲ承知致シテ居ル、然ルニ今日ニナツテ之ヲ議長ガ權ノナイト云フノハ、私ハ諸君ノ間違デアルト考ヘテ居ル……、間違デアルト考ヘルノデアル、(鈴木萬次郎君異議アレハ議場ニ諮ヘト呼フ)是ハ宜シイノデアル、ソウ云フノガ議長ノシタコトデ、諸君ガ今迄騒イタト云フコトハ、即チ怪シカラヌ話ト言ハナケレバナラヌ、(贊否ノ聲交々起ル)異議ガアルタラ後ニ言フガ宜シイ、(鈴木萬次郎君何ゼ異論ガアルニ議場ニ諮ハヌカ、宜シク可ク否ヲ議場ニ諮フベシ)幾ラ騒イデモアナタ方ハ連モ叶ハヌ、議長ハドコ迄モ遣リマスヨ、サウ云フ例ガ二ツアル、今迄ハ默ッテ居ナガラ、今日騒グト云フノハ其意ヲ得ナイ話デアル、(場合ガ違フト呼ブ者アリ)イヤ、決シテ場合ガ違ハヌト云フ議長ノ考デアル、(工藤行幹君議長バカリサウ考ヘテモ、議場ニモ考ガアル、議員ニモ考ガアル)サウ云フコトニナツテ居ルカラ、果シテ議長ノシタ事ガ惡イカ善イカト云フコトヲ議場ニ諮フノ外ナイ、議長ガ今迄ノ例ヲ以テ今日之ヲサシ上ケタ、第三ノ日程ニ移タト云フモノハ、議長ニ於テハ自ラ信シテ是ナリト考ヘテ居ル、若シサウデナイト云フナラバ、議場ニ諮フノ外ハナイ、然ルニ諸君ハ何故ニ騒々敷スルカ、ナゼソレ丈ノ議論ヲセヌカ、議場ニ諮フ、諸君ニ諮フ、議長ハ今迄ノ二ツノ例ニ依ッテヤッタノデアル、ソレガ惡イト云フナラ議場ニ諮フ、議長ガ議長ノ見解ト同シナレバ、ソレデ宜シイ、議場ガ——諸君ノ意見ガ多數ヲ得タレバ、其見解ニ從フノガ正則ト思フ、ソレデ宜シイ——餘リ騒々シクスルト見ツモナイ話デアル

(起立者)

○議長(星亨君) ソレナラバ即チ議長ノ今迄シタコトガ宜イト云フコトニ贊成ノ諸君ハ……

○議長(星亨君) 多數

○鈴木萬次郎君(三十六番) 異議ヲ申立テマス

○議長(星亨君) 多數デゴザイマス、ケレドモ異議ノ申立ガアレバ決ヲ採リマス

○角田眞平君(二百二十五番) 今迄議長ノシタコトガ宜イト云フ例ノ中ニ、是迄佐藤里治君鹽田眞造君……

(無用々々ノ聲起リ議場騒然)

○島田三郎君(百五十一番) 場合ガ違フノデアル

○鈴木萬次郎君(三十六番) 議事日程ヲ變更スルハ宜シイガ、場合ガ違フ

○角田眞平君(質問ガアル質問ガアルト呼ブ)

○議長(星亨君) 諸君今ノハ多數ト認メマシタガ、異議ガアルト云フナレバ氏名點呼デ決ヲ採リマス

○島田三郎君(百五十一番) 決ヲ採ツタ意味ガ違フ

○議長(星亨君) ヲンナ事ハナイ

○島田三郎君(百五十一番) ソレハ分ラヌノデアル、起ツコトモ出來ナイノデアル

○議長(星亨君) ソレハ行カヌ

○島田三郎君(百五十一番) 今迄議長ガヤッタノヲ是非ヲ問フノデアル

(異議ガアリマスト呼ブ者アリ)

○議長(星亨君) ヲンナ氏名點呼ニ致シマス

○橋本久太郎君(七十四番) 決議ノ採方ガ分ラヌ

○議長(星亨君) 贊成カ反對ト云フコトニ致シマセウ

○新井啓一郎君(三番) 分ラナイ

(此時議場騒然)

○島田三郎君(百五十一番) 從來アツタコトカ、今日ノコトカ、分ラヌ

○議長(星亨君) 諸君ニ向ッテ申シマスガ、議長ノシタコトガ宜イト云フコトニ贊成ノ方ハ贊成ト言ッテ下サイ、反對ノ方ハ反對ト言ッテ下サイ

(町田書記官氏名點呼ヲ繼續ス)

○尾崎行雄君(斯様ナ決議ニハ與カラヌト云フコトヲ申シテ退ク)ト呼ビ退場ス

○島田三郎君(百五十一番) 分ラヌコトニ起立ハ出來ナイ

(議場騒然)

○角田眞平君(二百二十五番) 質問々々

○井上角五郎君(七十六番) 議長ノ職權ヲ以テ速ニ島田君ナリ角田君ナリニ退場ヲ命ズベシ

○島田三郎君(百五十一番) 意味ヲ示サズニ決ヲ採ルト云フコトガアルカ

○議長(星亨君) 諸君ガ多數ト認メテ異議ハナイサウデスナ……

(議場騒然)

○島田三郎君(百五十一番) 分ラヌ

○議長(星亨君) 今ニナツテソナコトヲ言フ答ハナイ、初メ起ツタ時言ハナイデ後トニナツテ意味ガ分ラヌト言フノハ諸君ハ議場ヲ紊スノデアル

(議場騒然)

○島田三郎君(百五十一番) 議長ガ議場ヲ紊スノデアル

(議場騒然)

○島田三郎君(百五十一番) 議長ガ議場ヲ紊スノデアル

(議場騒然)

○島田三郎君(百五十一番) 議長ガ議場ヲ紊スノデアル

(議場騒然)

○島田三郎君(百五十一番) 議長ガ議場ヲ紊スノデアル

(議場騒然)

○島田三郎君(百五十一番) 議長ガ議場ヲ紊スノデアル

(議場騒然)

○議長(星亨君) 終日終夜ヤリマス  
○島田三郎君(百五十一番) 何處迄モ妨ゲナケレバナラヌ  
○和田彦次郎君(三十八番) 島田三郎君ニ退場ヲ命ズベシ  
○島田三郎君(百五十一番) 非ヲ遂ゲルタメニ曖昧ニ付シ去ルト云フ、斯様ナ言ヲ聴ク耳ハ持タヌ  
○議長(星亨君) 諸君ニ報道シマスガ、黙ッテ居ル人ハ權ヲ棄テタモノト看マス

(議場騒然)

(町田書記官氏名點呼ヲ繼續ス)

○島田三郎君(百五十一番) 左様ナ亂暴ナコトハ受ケナイ、權ヲ棄テナイモノヲ棄テタト言フノハ分ラヌ

(議場騒然)

○鈴木萬次郎君(三十六番) 分ラヌ

○鳩山和夫君(二百八十七番) 分ラヌ分ラヌ、斯ノ如キ分ラヌ議場ニ居ルコトハ出來ヌカラ、我々ハ退場スル、諸君退場セヨ

(拍手盛ニ起リ丸山名政君齋藤桂次君野口駿君其他數名議席ヲ退ク)

○高梨哲四郎君(百八番) 出テ仕舞ヘ……、議院規則ヲ知ランカ……、皆出テ仕舞ヘ

○島田三郎君(百五十一番) ドウシテモ分ラヌ、分ラヌ議決ダ

(此時河野廣中君島田三郎君其他數名議長席ニ到リ議長ト問答ス)

(私語ハナラヌ應對ハナラヌト呼ブ者アリ)

(石田貫之助君東尾平太郎君其他數名議長席ニ到リ議長ト問答ス)

(議長席ノ前ニ居ル者ヲ引摺リ下セト呼ブ者アリ)

(鈴木萬次郎君下セルナラ下セト呼ブ)

○川原茂輔君(百八十番) 議長ノ命ニ應ゼザル者ハ退場サセロ

○俣野景孝君(百六十九番) 議長ハ何ヲシテ居ルノカ、議場ニ於テ私話スルコトハ出來マセヌ

○井上角五郎君(七十六番) 何故ニ點呼ヲ中止スルカ

○川原茂輔君(百八十番) 演壇ノ前ノ者ヲ追拂ヘ……見ットモナイ

○若原觀瑞君(四十四番) 議長、職權ヲ執行シ給ヘ

○和田彦次郎君(三十八番) 議長ハ軟骨男兒ニ化スル勿レ、シツカリヤルベシ

(氏名點呼氏名點呼ト呼ブ者アリ)

○井上角五郎君(七十六番) 記名投票ニ願ヒタイ、記名投票ノ方ガ宜シイ

○島田三郎君(百五十一番) 退場サセルガ宜シイ、退場ヲ命ゼラレル迄ハ妨ゲル覺悟デス、我々ハツレ迄ハ妨ゲテ居ル

(町田書記官氏名點呼ヲ繼續ス)

○尾崎行雄君(五番) 不都合ガアルナラバ、速ニ退場ヲ命ズルガ宜シイ

○島田三郎君(百五十一番) 分ラヌ、分ル迄ハ妨害ヲスル

○村山龍平君(二百七十七番) 退場ヲ命ズベシ

(議場頗ル騒然)

○若原觀瑞君(四十四番) 職權ヲ執行シナケレバ議長ヲ斥クベシ  
○島田三郎君(百五十一番) 執行ナサイ、退場スル迄ハ此決議ヲ妨ゲナケレバナラナイ

(町田書記官氏名點呼ヲ繼續ス議場復騒然タリ)

○議長(星亨君) 少々御待ナサイ、諸君ニ御話シタイ、私ノ今迄爲シタコトハ好シ就デアッテモ、諸君ハ議場ヲ棄ス者デアルト考ヘル、依ッテ諸君ガ斯ノ如キコトニ就イテ、此事ガ分カラヌナド、言フガ、分ッタ人ハ起ッタ、分ラナイナラバ起ッ人ハ無イノデアアル、分ッタカラ起ッタノデアアル、ソレデ分ラヌト言フ人ハ起タナイ人デアッテ、自カラノ方ガ負ケタカラサウ云フコトヲ言フノダ、喧嘩甚シサウ云フコトヲ以テ議場ヲ棄ス者ハ、議場ノ神聖ヲ欲スルガ故ニ議長ハ退場ヲ命スル積デアアル

○鈴木萬次郎君(三十六番) 分ラヌ……、退場サセテ貰ハウ

○島田三郎君(百五十一番) 退場サセルナラ、名ヲ擧ゲテ退場セシムヘシ

○橋本久太郎君(七十四番) 退場ヲ命ズルナラ、一言シタイ

(會場荒助君議長席ニ至リ議長ト語ス)

○渡邊又三郎君(九十六番) 中和説ハ御止シナサイヨ

○島田三郎君(百五十一番) 退場ヲ命ズルナラ、早く命ズベシ

○角田眞平君(二百三十五番) 議長ノ宣言ハ不平デアアル、ソナコトハ無効デアアル

(山田東次君河野廣中君福田久松君其他三名議長席ニ至リ議長ト問答ス)

○福田久松君(二百八十四番) 説明モセズニ退場セシムルト云フノハ何ノ事ダ、説明ガ聴キタイチツトモ分ラヌ

(議場騒然)

○島田三郎君(百五十一番) 此事ニ附イテ斯様ニスルノハ依頼者デモアッテスルノカ

○議長(星亨君) 此事ニ附イテハ將來ノ例ニモナリマスカラ、一ツノ御話ヲ致ス積リデアリマス、ソレデ既ニ決ハ採リマシタ、サウシテ議長ハ之ヲ多數ト認メマシタ、然ルニ異議ノ申立ガアツタカラ氏名點呼ニシタ、然ルニ今妨害ヲスル者ガアル、サスレバ其妨害者ヲ退場ヲ命スル外ナイ、ソレデ諸君ニ於テ或ハ起ッタ趣意ガ分ラヌトカ、何トカ仰シヤルケレドモ、起ッタ人ハ趣意ガ分ルカラ起ッタノデアアラウト思ヒマス、此事ハ歎ハシキ事デ、斯ル小サナ事デ此諸君ヲ退場セシムルトカ、又斯ル小サナ事デ議場ヲ棄スト云フ事ハ歎ハシキ事デアアル、議長自カラ棄スノデアアルト呼ブ者アリ、斯ノ整理ノ任ニ當ッタ以上ハ、已ムヲ得ズ諸君ニ對シテハ御氣ノ毒ナ譯デアアルガ、諸君ガ議事ヲ妨ゲルト云フナラバ、此議事ハ諸君ノ議事ニ非ズシテ、國家ノ議事デアアルカラ、左様御心得ヲ……(拍手)

(ツレニ外ナイト呼ブ者アリ)

(大岡育造君、議長公平)

(點呼シタマヘト呼ブ者アリ)

(退場サセロト呼ブ者アリ)

○角田眞平君(二百三十五番) ドウ云フ理由カ説明ヲ求メマス

○島田三郎君(百五十一番) 明瞭ニ説明スルノハ少シモ差支ナイノデアアル、其通ニ議長ガ何處迄モ執拗ニセラル、カラデアアル、何分今迄ノハ解

シ難イカラ、點呼ノ前ニドウカ能ク分ル様ニ……

(宣告ノ通過場サセ給ヘト呼フ者アリ)

(町田書記官氏名點呼ヲ繼續ス)

(議場騒然タリ)

○議長(星亨君) 尾崎君退場ナサイ

(此時議長守衛ヲシテ命令ヲ執行セシム)

○尾崎行雄君(五番) 腕力ヲ以テスルノ外決シテ動カヌ

○議長(星亨君) 宜シイ引出セ

(此時守衛尾崎行雄君ノ手ヲ執リ退場セシム)

(田中正造君ヒヤノトハ何ンデアル馬鹿野郎)

○福田久松君(二百八十四番) 點呼ガ分ラヌ

○議長(星亨君) 二百八十四番ニ退場ヲ命ジマス

(福田久松君說明ヲシテ吳レト言フノニ說明セズニ退場セシムルト云フコトガアルカ、ベラボウナ)

(此時守衛議長ノ命ヲ執行シ福田久松君ヲ退場セシム)

(鈴木萬次郎君拙者モ妨ゲルカラ退場ヲ命ジテ貫ヒマス)

(町田書記官氏名點呼ヲ繼續シ田中正造君ニ至ル)

○田中正造君(二十一番) 開エナイ

○議長(星亨君) 田中君ニ退場ヲ命ジマス

(此時守衛議長ノ命ヲ執行シ田中正造君ヲ退場セシム)

○田中正造君(二十一番) 開エナイト言フニ退場ヲ命ズルハ何ンデアルカ退場ハシマス、何ゼ開エナイ様ニ呼ブ、ノロマ

(町田書記官氏名點呼ヲ繼續シ淺香克孝君ニ至ル)

○淺香克孝君(七十二番) 議長ノ處置ガ不當デアルカラ、點呼ニ應ゼヌ

(町田書記官氏名點呼ヲ繼續ス)

(議場騒然)

○議長(星亨君) 三十八番退場

(守衛議長ノ命ニ依リ鈴木萬次郎君ヲ退場セシム)

(町田書記官氏名點呼ヲ繼續ス)

○石坂昌孝君(百十番) 點呼ニ服從セズ

○山田泰造君(百十三番) 宣告ヲ取消スベシ

○小林雄雄君(百三十三番) 分ラヌカラ……

○加藤政之助君(百三十七番) 此點呼ニハ應ゼズ

○新井章吾君(百四十三番) 決議ノ順序ヲ誤ラテ居リマスカラ……

○工藤行幹君(百六十六番) 不當ノ採決ニ附キ……

○河島醇君(百六十八番) 是ハ何ンデアル、是ハ何ンデアル、何故本員ノ名ヲ呼ンダ、何故本員ノ名ヲ呼ンダ

○議長(星亨君) 河島君ニ退場ヲ命ジマス

(守衛議長ノ命ヲ執行シ河島醇君ヲ退場セシム)

(町田書記官氏名點呼ヲ繼續ス)

○有友正親君(百七十三番) 分ラナイ

○中島祐八君(百七十八番) 趣意ガ分ラナイカラ、點呼ニ應ジナイ

○岡田孤鹿君(百八十三番) 賛否ヲ表スルコトハ出來ナイ

○東尾平太郎君(百九十九番) 壓制ノ點呼ニハ應ゼズ、——退場ヲ命ジマス

○都崎秀太郎君(二百十番) 點呼ノ要領ヲ得ズ

○達谷信敬君(二百十二番) 棄權

○小笠原貞信君(二百十四番) 點呼ニ反對

○影山秀樹君(二百十八番) 點呼ニ應ゼズ

○天春文衛君(二百三十一番) 點呼ニ應ゼズ

○角田眞平君(二百三十五番) 古今未會有壓制不法ノ決議ハ取消スベシ

○愛澤寧堅君(二百四十七番) 點呼ニ應ゼズ

○關信之介君(二百五十五番) 點呼ニ應ズルノ責任ナレ

○河野廣中君(二百六十八番) 少シ分リマセヌカラ、可否ヲ表スル前ニ議長ニ承リマス、議長ハ斯ノ如ク異議アルニモ拘ラズ議事日程ヲ變更スルノハ……(議場騒然聽取スル能ハズ) 其意味デアリマスナ

○齋藤圭次君(二百七十三番) 構ハヌツンナ者ニハ……

○岡崎逸君(二百七十五番) 不當ヲ採決ハ反對

○廣住久道君(二百八十九番) 議長ノ處置ニ不服

○丸山名政君(二百九十八番) 壓制ノ點呼ニ應ゼズ

○議長(星亨君) 諸君、氏名點呼ノ結果ヲ報ジマス

出席者 二百六十六

可トスル者 百四十七

否トスル者 三十九

可否ニ加ハラザル者 八十

○長谷場純孝君(九十九番) 私ハ茲ニ於テ議長ニ要求シタイト云フモノハ、今日ハ帝國議會ノ開會以來、議場内未會有ノ喧噪ヲ醸シテ、誠ニ此結果ハ將來ノ大ニ悲シムベキカ、將タ喜ブベキカ、速ニ之ヲ即斷スルコトガ出來ヌ、故ニ今日ハ暫ク此間ニ當テ休會ヲ命ゼラレンコトヲ希望シマス

○議長(星亨君) 議長ハ休會ヲスル必要ヲ認メマセヌ、即チ次ノ今日ノ議事日程ノ第三ニ移リマス

(井上角五郎君演壇ニ登ル)

○議長(星亨君) 諸君、退場ヲ命ジタ方ハ直チニ今入レルコトニ致シマス

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○井上角五郎君(七十六番) 本員ハ此問題ニ附イテ先刻演説ヲ始メマシタ、處ガ遂ニ其目的ヲ達シマセシデシタ、今ヤ前ノ演説ヲ續ケナケレバナラヌノデアルルガ、其實本問題ニ附イテ言フ必要ガナイト思ヒマスカラ、モウ此處デ演説ヲ止メマス、唯一言スルノハ夫ノ新聞紙法案トカ、出版法案トカ、集會政社法ノ改正ノ如キハ、第一期以來第二期此議會ニ於テ毎度此議會ハ可決ト云フ目的ヲ……可決ト云フ意思ヲ表明シテ居ルモノデアレバ、此二次會ノ逐條議ハヤメテ直チニ三次會ヲ可決シ、合セテ三次會ヲ即日ニ開イテ本日直チニ確定議ニ至ルト云フコトニ致シタイト云フ、コレヲコトヲ申述ベテ置キマス

(反對贊成ノ聲起ル)

○議長(星亨君) 第一條ヲ今辯論シテ、サウシテ議事ニ掛テ居リマスカラ、

(議場騒然)

(議場騒然)

(議場騒然)

(議場騒然)

(議場騒然)

(議場騒然)

(議場騒然)

(議場騒然)

(議場騒然)

(議場騒然)

(議場騒然)

(議場騒然)

(議場騒然)

(議場騒然)

(議場騒然)

(議場騒然)

(議場騒然)



之ニ附イテ異議が無ケレバ可決シタモノト認メマス

○折田兼至君(百五十八番) 井上君ニ賛成致シマス

○議長(星亨君) 第二條ハ朗讀ハ省キマスガ、三條ヨリ五條マテ即チ會議ニ掛ケマス

○小野隆助君(二十四番) 一寸御尋致シマスガ、是ハ委員ノ報告ノ條項デゴザイマス

○議長(星亨君) 左様、是ハ委員ノ報告ヲ以テ原案トスルト云フコトニナツテ居リマス

(異議ナシ異議ナシト呼ブ者アリ)

○議長(星亨君) 二條ヨリ五條マデニナツテ居リマス、ツレデ小西君ノ修正ガ出マシテ、二十二條ノ六項、——二百八十八番、アナタ是ハ賛成者ガアリマセヌガ、演説ヲシテ賛成ヲ求メルノデスカ、二條ノ六項デス

○小西甚之助君(二百八十八番) ザウデス

○河島醇君(百六十八番) 議長、——退場ヲ命ジテ、モウ這入ッテモイ、ト守衛ガ言ッタガ、議長ノ命デ入レマシタカ

○議長(星亨君) 議長ノ命デ入レマシタ

○河島醇君(百六十八番) サウカ

○議長(星亨君) 二條カラ五條マデ會議ニ掛ケ、二條ノ六項ニ修正ガアル小西甚之助君(二百八十八番) 私ハ此第二條ノ第六項中ニ「集會」トアル、此上ニ政談ノ二字ヲ加ヘヤウトスルノデアリマス、ツレカラ第四條ノ「屋外」ト云フ二字ヲ「第三條」ト云フ三字ニ換ヘルノデゴザイマス、サウシテ「多衆運動」アル此「多衆」ノ二字ヲ削ラウト云フコトデゴザイマス、此第二條ノ第六項「集會」ノ上ニ政談ノ二字ヲ加ヘルト云フコトハ、是ハ政談集會デアルカ故ニ、加ヘルト云フコトデゴザイマシテ、此理由ト云フモノハ委シク述べナクツテモ分ルコトト、思ヒマス、唯此第四條ニ屋外ノ集會トゴザイマスガ、唯此儘デハ總テノ屋外ノ集會ト云フ意味ニナリマスカラ、此「屋外」ト云フモノヲ「第三條」ト云フ文字ニ變ヘル、サスレバ即チ第三條ニ在ル所ノ集會ト云フコトニナルノデゴザイマス、又「多衆運動」ト云フコトニナツテゴザイマスケレドモ、是ハ唯運動ト云フコトニ書イテアルコトニナツテ居リマスカラ、茲ニ多衆運動ト云フコトニシナイデモ、矢張前ノ所ノ運動ト云フモノト同一ナ語ヲ用井タイト云フ精神ニ外ナラナイノデゴザイマス

○新井章吾君(百四十二番) 私ハ第四條ヲ削除致シタイ積デアリマス、「帝國議會」ノ開會ヨリ閉會マデノ間ニ此議會ヲ去ル三里以内ニ於テ云々」ト云フコトデアリマスガ、今日迄ノ實驗ニ依リマス、コンナ條ヲ置クノ必要ハナイト思フ、唯壯士ガ五人三入集ッテ議員ノ頭ヲ叩イタトカ、議員ノ家ニ這入り込ンドト云フ位ニ過キナイ、三里以内ニ於テ屋外ノ集會運動ヲ爲スト云フモ、是ハ第三條ニ於テ取締ル法ガアル、故ニ此第四條ハ削除シテ、今日迄ニ現レタル事實ニ依レバ、決シテ差支ナイト思ヒマスカラ、是ハ削除説ヲ提出致シマス

○野出綱三郎君(四十九番) 二百八十八番ニ質問致シタイ、之ヲ修正ヲスル

ト云フ所ハ第二條ノ六項トアリマスガ、何トアル上ニ政談ト云フ字ヲ入レルノデアルカ、分ラヌ

○小西甚之助君(二百八十八番) 此第二條ノ六項ト云フモノハ「法律ヲ以テ組織シタル議會」ノ議員選舉準備ノタメニ開ク所ノ集會」トアル、其集會ノ上ニ政談ノ二字ヲ加ヘタイト云フノデアリマス

○伊藤大八君(九十七番) 小西君ノ修正ノ動議ハ定規ノ賛成者ガゴザイマスカ

○議長(星亨君) マダ……

○伊藤大八君(九十七番) 無イデスカ

○議長(星亨君) 議題ニナツテハ居ラヌ

○早川龍介君(三十七番) 三十七番ハ修正案ヲ以テ宜シイ、完全ナモノト思ヒマス

○廣瀬貞文君(百十四番) 本員ハ集會ノ上ニ政談ノ二字ヲ入レルニ賛成デゴザイマス

○議長(星亨君) 決ヲ採リマセウト考ヘマス

○末松謙澄君(二百六十九番) 一寸注意ノタメニ申上ゲマスガ、第三條ノ二項ノ所ニ誤脱ガアルヲ、既ニ議長カラ各部室ニ配ッテ下サツタガ、或ハ諸君ノ中ニ其穴ヲ探サナイ御方ガアルカモ知レマセヌカラ、朗讀ヲ願ヒマス

○議長(星亨君) ツレハモウ宜シカラウ、——二百八十八番ノ説ハ一人賛成ガゴザイマスガ、成規ノ賛成ガナイ、ツレカラシテ新井君百四十三番ノ説ニ賛成ガゴザイマセヌ

○由雄與三平君(六十九番) 百四十三番ニ賛成致シマス

○議長(星亨君) 成規ノ賛成ガゴザイマセヌカラシテ、決ヲ直チニ採リマスニ條ヨリ五條マデ決ヲ採リマス、三條ヨリ五條マデ原案ニ賛成……(此時原案ハ修正案デゴザイマスカタ呼ブ者アリ)修正案ガ原案ニナツテ居リマス、之ヲ賛成ノ諸君ハ起立ナスッテ下サイ

起立者 多數

○議長(星亨君) 多數デゴザイマス、第六條ヨリ八條マテ會議ニ付シマス

○朝倉親爲君(二百六十二番) 第六條ノ第四ニ小學校ノ教員ト云フガアリマス、之ヲ削除致シタイデゴザイマス

○議長(星亨君) 二百六十二番、議場ノタメニ御立チヲ願ヒタイ

○朝倉親爲君(二百六十二番) 一寸デゴザイマス、餘リ長クゴザイマセヌカラ此處カラ……、第四小學校教員此項ヲ削除致シタイデゴザイマス、小學校教員ハ……年輩ニモナツテ居リマスルカラ、之ヲ除クト云フコトハ甚ダ不穩當ト考ヘマスカラ、此項ヲ削除致シマス

(イケンイト呼ブ者アリ)

○小西甚之助君(二百八十八番) 私ハ矢張字句ノ修正ニ外ナラヌコトデゴザイマスガ、此第六條ノ二ニアル警察官ト云フ下ヘ吏ト云フ一字ヲ加ヘタイ、又官立公立私立學校ノ學生生徒トゴザイマスガ、之ヲ倒ニシテ生徒學生トスルト云フノデアアル、警察官ノ下ニ吏ノ一字ヲ加ヘルハ、是ハ即チ巡查等ヲ包含セシメテ置クニ外ナラヌデゴザイマス、ツレカラ官立公立私立學校ノ學生生徒トゴザイマスケレドモ、官立公立等ハ學生ト云ハナイ、生徒ト云フ方

デゴザイマスカラ、矢張生徒ト云フモノヲ上ニ置イテ、學生ヲ下ニ置タ方ガ穩當デゴザイマス

○千葉胤昌君(二百六十三番) 二百六十二番ノコトヲ賛成致シマス

○新井章吾君(百四十三番) 六條ノ四ヲ削除スルト云フ説ガアツタヤウデスナ

○議長(星亨君) アリマシタ

○新井章吾君(百四十三番) ツレニ賛成シマス、尙ホ三項ヲ削除致シタイ精神デゴザイマス、官立公立私立學校ノ學生生徒ヲ削除致シマス

○加藤六藏君(二百三十四番) 修正説ニ賛成致シマス、委員ノ修正案ニ賛成致シマス、早速起立ニ諮ハレタイ

(決ヤト呼ブ者アリ)

○田中正造君(三十一番) 唯今缺席中ニドウ云フ結果ニナリマシタ、議員ノ中ノ一入デゴザイマスカラ……

○議長(星亨君) 今ノ政社法デスガ

○田中正造君(三十一番) 氏名點呼ハ……

○議長(星亨君) ツレハ多數

○田中正造君(三十一番) 出席人ハ幾人デアツテ、ドウ云フ……(無用々々ト呼ブ者アリ) 無用デゴザイマセヌ、聽カナケレバ分ラヌ、黙レ——缺席シタ者ニハ報道スルガ當リ前デアル

○議長(星亨君) 退場ヲ命ジタノデアルカラシテ、其間ニ起ツタコトハ報ラヌ必要ハナイ、後トデ見タイト云フナラバ、書記官ノ所デ御聽ニナツタガ宜イ

○田中正造君(三十一番) 書記官ノ所ヘ往ツテ聽クコトハナイ、書記官ナラ我々ハ書記官ニ聽クト云フコトハ何ノ規則ニアリマス、議長ニ聽クノダ、議員タル者ハ書記官ノ手ニ就イテ聽ケト議長ガ命令スルハ何事ダ

○議長(星亨君) 書類ハ書記官ガ預ツテ居ルカラ、書記官ニ就イテ聽カナケレバナラヌ

○田中正造君(三十一番) 何ノ規則ニ依ツテ議長ハ斯ノ如ク議員ヲ輕蔑スル、議長ニ聽ケト言ハズニ書記官ニ聽ケト……

○議長(星亨君) 書類ハ書記官ガ預ツテ居リマスカラシテ、書類ニ就イテ御覽ナサイ

○田中正造君(三十一番) 聽クコトハ議長ニ聽クガ至當デアル、然ルニ何デ書記官ノヤウナ界シイ者ニ議員ノ一人ガ何デ聽クノダ、議長ハ何デ議員ヲ其様ニ輕蔑スル

(問題ノ採決ヲ望ミマスト呼ブ者アリ)

○議長(星亨君) 色々削除説ガ出マシタガ、ツレニハ成規ノ賛成ガアリマセヌカラシテ、即チ此原案ニ就イテ決ヲ採リマス、原案六條ヨリ八條マデ、異議ガナケレバ原案ノ通ニ決シマス

(異議ナシ異議ナシト呼ブ者多シ)

○議長(星亨君) 原案ノ通ニ決シマス、——九條ヲ會議ニ掛ケマス

○小西甚之助君(二百八十八番) 私ハ此第九條ノ但書即チ「制規ニ依リ戎器ヲ携帯スルモノハ此限ニ非ス」此文ヲ削ラウト思ヒマス、其譯ハ此但書ヲ拵ヘテ本文ノ例外ヲ示シタノハ、如何ノモノデアアルカト云フハ、制規ニ依テ戎器ヲ携帯シテ來ル者ハ構ハナイト云フコトデアリマス、併ナガラ此制規ニ依テ戎器ヲ携帯シテ來ル者ハ、如何ナル者デアルト言ヘバ、或ハ警察官吏ガさアべるヲ携帯シテ來ルトカ、若クハ憲兵ガ短銃ヲ腰ニシ來ルトカ云フマウナモノデアリマス、處ガ警察官ナリ若クハ憲兵等ナリ携帯シテ來ルト云フコトハ、或ハ管理ノタメ、或ハ警戒ノタメニ來ルタメデアツテ、決シテ會同ノタメニ來ルモノデアナイ、即チ集會ノ一人トナリ、若クハ運動者ノ一人トナツテ會同シテ來ル者デアナイ、故ニ斯ル者ハ構ハナイ、携帯シテ來ルコトガ出來ルコトハ明デアアルカラ、全ク本文ハ戎器若クハ兇器ヲ携帯シテ會同スルコトガ出來ナイト云フコトニシテ、其但書ヲ置クト云フコトデゴザイマスガ、會同シテ來ルノデナイカラ何ニモ構ハナイ、即チ職務ヲ以テ來ルノデアアルカラ、斯ル但書ヲ加ヘナイデモ携帯シテ來ルコトガ出來ルカラ、無用ナ法文ト云フノ削ルト云フノデゴザイマス

○石井定彦君(二百二十八番) 小西君ノ削除スルト云フ説ハ、最モ至當ト存シマスカラ、是ハ賛成致シマス

○廣瀬貞文君(百十四番) 本員モ唯今ノ説ニ賛成シマス、本法ノ二字ヲ……此修正案中ニハ外ノ所ハ此法律此法律トアリマシテ、此條ニ限ツテ本法トアリマスカラ、一定ヲスル爲メ修正シタイ

(決ヤト呼ブ者アリ)

○議長(星亨君) 決ヲ採リマス、修正削除モゴザリマシタガ、定規ノ賛成ハアリマセヌ、依ツテ原案ノ決ヲ採リマス、九條ニ附イテ酷ク御議論ガナケレバ原案通、……(異議ナシト呼ブ者多シ) ツレカラ十條ヨリ十五條マデヲ會議ニ付シマス、別ニ修正モ何モアリマセヌ、原案可決ト認メマス、(異議ナシ異議ナシト呼ブ者多シ) 十六條ヲ會議ニ付シマス

○小西甚之助君(二百八十八番) 私ハ此十六條ノ次ニ一條ヲ加ヘマス、即チ第十七條トシテ斯様ナ文ニ致サウト思ヒマス

○第八條第二項ノ尋問ヲ受ケテ詐欺ノ答ヲナストキハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

(モウ一遍ト呼ブモノアリ)

○第八條第二項ノ尋問ヲ受ケテ詐欺ノ答ヲナストキハ五十圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

此原案ヲ取調ベテ見マスルニ、第八條ノ第二項ノ尋問ヲ受ケタトキニ、詐欺ノ答ヲナシタ場合ニ於テ、之ニ對スル制裁ガ定メテナイノデアリマス、サウシテ熟シ此二十六條ヲ見ルト云フト、政社ノコトニ附イテ役員ニ向ツテ尋問ヲスル場合ニ詐欺ノ答ヲナシタ時分ニ於テハ、五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ

處スルニ云フ制裁ガアルノデアリマス、既ニ政社ノ方ニ於テ詐欺ノ答ヲナシ  
タ場合ニ於テ、之ニ制裁ヲ加ヘテアルモノナラバ、此政談集會ノ發起人ニ對  
シテモ又詐欺ノ答ヲナシタ場合ニ於テハ、之ト同ジク制裁ヲ加ヘナケレバ甚  
ダ權衡ヲ失スルモノデアリマス、是レ私ガ是ニ於テ第十七條トシテ此事ヲ規  
定シテ置カウト云フ所以デアリマス

(贊成々々ノ聲起ル)

○議長(星亨君) 十六條ハ別ニ御異議ガナイ様デアリマス、サスレバ十六條  
ハ即チ原案通りニ決シマス、サウスルト今二百八十八番ノ即チ修正案ニ制規  
ノ贊成ガアルト認メマスカラシテ、十七條トシテ今ノ二百八十八番ノ動議ヲ  
入ル、ヤ否ヤト云フ決ヲ採リマス、二百八十八番ニ贊成ノ御方ハ起立ナサッテ  
下サイ

起立者 少數

○議長(星亨君) 少數ト認メマス、是ヨリ第十七條ヨリ十九條マデ會議ニ付  
シマス、別ニ修正說モ出デ居リマセヌ

(異議ナシ異議ナシト呼ブ者多シ)

○議長(星亨君) 異議ガゴザリマセヌナレバ、原案通り——二十條ヲ會議ニ  
付シマス

○小西甚之助君(二百八十八番) 是ハ些細ナコトデゴザリマスガ、本案ノ第  
四條モ「之レニ答ウ」ト云フ下ニ「ベシ」ト云フ二字ヲ加ヘルノデアリマス(贊  
成々々ノ聲起ル)

○議長(星亨君) ドウデス、是ハモウ(異議ナシト呼ブ者アリ)修正案ノ通り  
決シタラドウデス(異議ナシト呼ブ者アリ)ツレナラ修正案通過シマス、  
二十一條ヲ會議ニ付シマス

○廣瀬貞文君(百十四番) 委員ニ質問シタイ、少シ分ラヌコトガアル

○議長(星亨君) 委員會ノ人ニデスカ……誰ニデス

○廣瀬貞文君(百十四番) 修正案ノ委員長ニ

○議長(星亨君) 宜シ

○廣瀬貞文君(百十四番) 第二條ノ手續ヲナスベシトアリマスガ、若シ之ヲ  
ナサシテ政談集會ヲ致シタ時分ニハ、十四條ノ……政談集會ノ發起人モア  
ノ罰ニ觸レルコトガ出來マスノデゴザリマス

○末松謙澄君(二百六十九番) 矢張原案ノ意ハ、假ハバ政社ニシテモ普通ノ  
手續ニ依ルガ原則デアリマス、例會ヲ開クコト丈ノコトガ特例デアリマス、  
普通ノトキハ矢張第二條ノ手續ヲスルノデシナケレバ制裁ガ加ハル

○廣瀬貞文君(百十四番) 然ラバ政社ニテモ發起人ヲ定メテ、第二條ノ様ニ  
スルノデゴザリマス

○末松謙澄君(二百六十九番) 左様、第二條ノ届出ヲナスヘシト云フノハ、  
政社モ矢張届ケル譯デアリマス、發起人ト云ハズトモ幹事モアリマセウ、何  
モ居リマセウ、此法律ニ依ッテ居ケサヘスレバ宜シ

○議長(星亨君) 然ラバ原案通過可決シタモノト認メマス、——二十二條ヲ會  
議ニ付シマス(異議ナシト呼ブ者アリ)二百八十八番ハ修正ガアリマス

○小西甚之助君(二百八十八番) 修正ハアリマスガ、前ト對ナ修正デアリマ  
スカラ、前ノ方デ否決シタカラ……

○議長(星亨君) 官立公立私立學校ノ學生生徒ト云フ方ハ

○小西甚之助君(二百八十八番) 前ノト同ジデアリマス

○議長(星亨君) ツレナラバ二十二條ハ原案通り可決シタモノト認メマス、  
(異議ナシ異議ナシト呼ブ者アリ)——二十三條ヨリ(仕舞ヒマデドウデス  
ト呼ブ者アリ)三十三條マデ——末條マデ會議ニ付シマス

(異議ナシ異議ナシト呼ブ者アリ)

○廣瀬貞文君(百十四番) モウ一遍質問シタイ

○鈴木萬次郎君(二十六番) 異議ナシ、極ッテカラ質問シテモイケナイ

○廣瀬貞文君(百十四番) 僕ハ異議ガアル、第二十四條ノ制裁ハナイノデス  
カ、仕方ガナイト云フノデスカ

○末松謙澄君(二百六十九番) 二十四條ノ制裁ト云フ程ノコトモアリマス  
イガ、二十四條ニ「議會外ニ於テ責任ヲ負ハシムル云々」ト云フ様ナコト  
ヲシロト云フ制規ヲ設ケ、若シ斯ウ云フ制規ヲ設ケテ壓制ヲスルトカ云フ社  
ハ、解散ニ逢ラトカ、サウ云フヤウナコトハ行政法デ行ク方ガ適當ダラウト  
思ヒマス

(異議ナシ異議ナシト呼ブ者多シ)

○議長(星亨君) 然レハ原案通過、可決致シタモノト見テ、宜シウゴザリマス  
カ

(異議ナシ異議ナシト呼ブ者多シ)

○野出鎬三郎君(四十九番) 直チニ三讀會ヲ開カレンコトヲ希望致シマス

○議長(星亨君) 一讀會ハ是ニテ終リマシタ

○野出鎬三郎君(四十九番) 三讀會ヲ開クコトヲ希望致シマス

(贊成々々ノ聲起ル)

○議長(星亨君) 然ラバ決ヲ採リマセウ

(末松謙澄君先刻ノ九條ノ處……)

○議長(星亨君) 三讀會ヲ開クヤ否ヤノ決ヲ採リマス

(異議ナシ異議ナシト呼ブ者多シ)

○議長(星亨君) 然ラバ第三讀會ヲ開クコトニ決シマス

○末松謙澄君(二百六十九番) 第九條ニ「本法ニ掲グル集會及運動ニハ云々」  
ト云フ、本法ハ「此法律ニ掲グル云々」トシタガ宜シイト思ヒマス、モウ一ツ申  
シマスガ、先ノ第十八條ノ次ニ一條ヲ置クト云フコトハ、是モ少シ發議者ノ意  
ガ貫徹シナイタメニ少數デ倒レマシタガ、矢張是ハ入レタ方ガ宜カラウト思  
ヒマス、勿論三讀會ニ於テハ文字ノ修正ヲト云フ方カラ參ルノデス、其理由ハ  
抵觸スルヤウニ聞ヘルカラ、後トノ方ト——ホンノ一項ヲ入レル丈デ、一條ヲ

入レルト云フノデハナシ

○議長(星亨君) 異議ナシト呼ブ者アリ

○伊藤大八君(九十七番) 原案ヲ賛成致シマス

(九十七番ト同意ト呼ブ者アリ)

○議長(星亨君) 此「法律」ト云フコトニ文字ノ更正ニナリマシタカラ、別ニ御異議ガナケレバ……(異議ナシト呼ブ者多シ)サウスルト此第三讀會ハ原案即チ二讀會ノ決議通ア宜シウゴザリマスカ(異議ナシト呼ブ者多シ)ソレナレバ三讀會ヲ終リマシタ

○牧朴真君(百八十七番) 私ハ此處ニ於テ議長ニ請求シテ置キタイコトガゴザリマス、先刻第一讀會ヲ終リマシメ鐵道公債法案デス、アノ二讀會ハドウカ明日開カレルコトヲ希望致シマス、

(賛成々々ノ聲起ル)

○伊藤大八君(九十七番) 賛成者ノ聲ガ多トゴザリマスガ、是ハ衆議院ノ規則ガ許シマセヌト考ヘル、斯ウ云フコトハ直チニ其場合デ決ヲ採レバ宜シイガ、斯ウ時間ガ經過致シマシテ後ニ、斯ウ云フコトガゴザリマスト紛擾ヲ醸スト心得マスカラ、此事ハ勸議者ニ忠告ヲ致シマスガ、撤回ヲ致サレルコトヲ希望致シマス、規則上斯ウ云フコトガアルトイケマセヌ

(差支ナイト呼ブ者アリ)

○議長(星亨君) 規則ニハ構ハヌセ、サッキノ決ハ直チニ開クヤ否ヤト……

○伊藤大八君(九十七番) 唯紛擾ヲ……

○河野廣中君(二百六十八番) 先刻ハ鄭重ヲ要シマスカラ、相當ノ日數ヲト云フコトハ即チ山口千代作君ノ發議デ決シテアルノデアアルカラ明日ト云フ議ハ出サヌ方ガ宜カラウト考ヘル

○伊藤大八君(九十七番) ソレ丈ハドウカ守テガマンナサル方ガ宜シイ、一日ノコトデスカラ

(採決々々ト呼ブ者多シ)

○議長(星亨君) 一ツ疑ノ起ツタノハ、斯ウ云フコトデアアルガ、鐵道公債案ハサッキモウ濟ンデ仕舞ツテ、外ノ議事日程ニ移ツテ……、緊急勸議トカ何トカ云フモノガ出ナイト都合ガ惡イト思フ、緊急勸議デ決ヲ先ニ採ツテ議題トナルトシタカラ、今ノ延バストカ云フ様ナコトガ出ナケレバナラヌト思フ

(此場合デ煩雜ナ事ハ止メ給ヘト呼ブ者アリ)

○井上彦左衛門君(百七十番) 此延バスト云フコトニ附イテハ二三日延バサナケレバナラヌト云フ様ナ事デ、決ヲ採リタイ

(伊藤大八君撤回スルガ善イシヤナイカ理屈ヲ言ハズニ……)

(二三日シヤナイ、二日隔レバ宜シイノダト呼ブ者アリ)

(規則通ニ遵レバ宜シイノデアアルト呼ブ者アリ)

○井上彦左衛門君(百七十番) 二三日延バスト云フコトニナツテ、決議ニナレバツレデ宜シイ

○議長(星亨君) 撤回シタノデスカ

○牧朴真君(百八十七番) 撤回シマセヌ

○議長(星亨君) 議場ニ異論ガナケレバツレニ致シテ置キマセウ、異論ガアレバ……許サヌト云フコトナラバ許サヌガ宜シイ

(異議ナシト呼ブ者アリ)

○牧朴真君(百八十七番) 撤回セナイ矢張明日開カレンコトヲ希望シマス

(撤回レ給ヘト呼ブ者アリ)

○曾我部道夫君(八十二番) 是ハ先刻決議ノ旨意ニ由ツテ少シ日數ヲ置イタ方ガ宜カラウ、今日ハ段々入モ不足シテアリマスカラ、今日ハ置イテ……斯ウ云フコトハ鄭重ニ遣リタイト云フ考デアアル

(賛成々々ト呼ブ者アリ)

○横井善三郎君(百八十五番) 八十二番ニ賛成シマス

○牧朴真君(百八十七番) 私ノ説ハ引キマス

○議長(星亨君) 引イテ異議ナケレバサウ致シマス

(異議ナシト呼ブ者多シ)

○議長(星亨君) マダ議事日程ガ殘ツテ居リマスガ、モウ仕舞フコトニ致シマス

(賛成々々遣ルベシ遣ルベシ議事日程丈ハ遣ルベシト呼ブ者アリ)

○議長(星亨君) 然ラバ遣リマセウ、議事日程ノ第四ニ移リマス、是ハ朗讀ヲ省キマス

#### 第四 府縣制改正法案(朝長慎三君外三名提出)

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ掲載ス)

#### 第一讀會

#### 府縣制改正法案

#### 第一章 總則

#### 第一款 府縣及區域

第一條 府縣ノ廢置分合及府縣境界ノ變更ハ法律ヲ以テ之ヲ定ム

府縣境界ニ當ル郡市町村ノ境界ヲ變更スルトキハ府縣境界モ亦自ラ變更スルモノトス

本條ノ處分ニ付財產處分ヲ要スルトキハ内務大臣之ヲ定ム但特ニ法律ノ規定アルモノハ此限ニアラス

第二條 府縣條例及規則

府縣ノ公共事務ニシテ此法律中ニ明文ナク又ハ特例ヲ設クルコトヲ許セル事項ハ各府縣ニ於テ特ニ條例ヲ設ケテ之ヲ規定スルコトヲ得

各府縣ハ其設置ニ係ル營造物ニ關シ規則ヲ設クルコトヲ得

府縣條例及規則ハ法律命令ニ牴觸スルコトヲ得ス

府縣條例及規則ハ各府縣慣行ノ公告式ニ依リ之ヲ公告スヘシ

第二章 府縣會

第三條 府縣會ハ府縣內郡市ニ於テ選舉シタル議員ヲ以テ之ヲ組織ス

府縣會議員ハ人口五十萬以下ノ府縣ニ於テハ三十人ヲ定員トシ五十萬以上百萬迄ハ三萬ヲ加フル毎ニ一人ヲ増シ百萬以上ハ五萬ヲ加フル毎ニ一人ヲ増ス

第四條 前條ニ定ムル所ノ議員配當法ハ府縣會ニ於テ之ヲ定ム但各郡市ヲシテ少クトモ一人ノ議員ヲ選舉セシムヘシ

人口増減ノ爲議員ノ定數ニ異同ヲ生シタルトキハ其改選期ヲ待テ之ヲ増減スヘシ

第五條 府縣會議員ノ選舉ハ市ニ於テハ市民郡ニ於テハ町村公民中市町村會議員ノ選舉ニ參與シ得ル者ニシテ滿一年以上其府縣内ニ於テ直接國稅年額五圓以上ヲ納メ猶引續納ムル者之ヲ行フ

住居ヲ轉シタル爲市町村ノ公民權ヲ失ヒタル者其居住同郡内ニ在リ其他ノ要件ヲ失ハサルトキハ猶府縣會議員ノ選舉權ヲ有ス

家督ニ依リ財產ヲ相續シタル者ハ前財產主ノ納額ヲ以テ相續者ノ納額ニ算入スヘシ

第六條 府縣内市町村公民中市町村會議員ノ選舉ニ參與スルヲ得ル者ハ府縣會議員ノ被選舉權ヲ有ス

住居ヲ轉シタルメ市町村ノ公民權ヲ失ヒタル者其居住同府縣内ニアリ其他ノ要件ヲ失ハサルトキハ猶府縣會議員ノ被選舉權ヲ有ス

官吏及有給吏員神官僧侶又ハ諸宗ノ教師並ニ小學教員ハ府縣會議員タルコトヲ得ス

府縣會議員ハ貴族院及衆議院議員ヲ相兼スルコトヲ得ス

第七條 府縣會議員ハ名譽職トス其任期ハ四年トシ毎二年其半數ヲ改選ス若其員數二分シ難キトキハ初會ニ於テ多數ノ一半ヲ解任セシム初會ニ於テ解任スヘキ者ハ府縣會ニ於テ抽籤シテ之ヲ定ム

解任ノ議員ハ再選セラルコトヲ得

第八條 議員中缺員アルトキハ通クモ三箇月以内ニ補缺選舉ヲ行フヘシ補缺議員ハ前任者ノ殘任期間在職スルモノトス

第九條 府縣會議員ノ選舉ハ府縣知事ノ告示ニ依リ郡市長之ヲ行フヘシ

第十條 選舉ハ通常三月ニ於テ之ヲ行フヘシ但解散及補缺選舉ノ場合ハ此限ニアラス

前項ノ時期ハ府縣ノ情況ニ依リ府縣知事ハ議會ノ決議ヲ經テ之ヲ變更スルコトヲ得

第十一條 町村長ハ毎年九月十五日ヲ期トシ其役場管内ノ選舉人名原簿ヲ調製シ其副本ヲ十月一日迄ニ郡長ニ出スヘシ

第十二條 市長ハ毎年九月十五日ヲ期トシ其市内ノ選舉人名原簿ヲ調製シ十月十五日ヲ期トシ選舉人名簿ヲ調製スヘシ區ヲ置キタル市ニ於テハ其

區内ノ選舉人名原簿ハ區長之ヲ調製シ其副本ヲ十月一日迄ニ市長ニ出スヘシ

第十三條 選舉人名簿ニハ選舉人ノ氏名住所生年月納ムル處ノ直接國稅額並ニ其納稅地ヲ記載スヘシ

第十四條 選舉人其住居スル市町村外ニ於テ直接國稅ヲ納ムルトキハ其納稅地ノ市町村長ノ證明書ヲ副ヘ選舉人名原簿調製ノ期日迄ニ其住居地ノ市町村長若クハ區長ニ出スヘシ

本條ノ屆出ヲ爲サル者ハ其納稅額ハ選舉資格ニ算入セス

第十五條 郡市長ハ十月二十日ヨリ十五日間其郡市役所ニ於テ郡市内選舉人名簿ノ寫ヲ關係者ノ縱覽ニ供スヘシ

第十六條 選舉資格アル者選舉人名簿ニ脫漏又ハ誤載アルコトヲ發見シタルトキハ其理由書及證據ヲ具シテ縱覽期限内ニ之ヲ郡市長ニ申立ツヘシ

郡市長ハ其申立ヲ受ケタル日ヨリ十日以内ニ審査判定シ人名簿ヲ訂正スヘキトキハ直ニ之ヲ訂正シ其旨ヲ郡市内ニ告示シ且當人及當人住居地ノ町村長又ハ區長ニ通知スヘシ

第十七條 申立人又ハ被告人ニ於テ郡市長ノ判定ニ不服アルトキハ判定ノ日ヨリ七日以内ニ府縣參事會ニ訴願スルコトヲ得府縣參事會ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

訴願又ハ訴訟ノ爲メ其施行ヲ停止スルコトヲ得ス

第十八條 選舉人名簿ハ十一月十五日ヲ以テ確定期限トス

此期限ヲ經過シタル名簿ハ次年ノ改正期日マテ之ヲ据置臨時ノ選舉ニモ亦之ヲ使用スルモノトス

確定名簿ト雖モ縣參事會ノ裁決ニ依リ又ハ裁判申渡ニ依リ訂正スヘキモノハ郡市長ニ於テ其通知ヲ受ケタルトキヨリ二十四時間以内ニ之ヲ訂正シ其旨ヲ郡市内ニ告示シ且當人及當人住居地ノ町村長又ハ區長ニ通知スヘシ

郡市長ニ於テ名簿ニ記入シアル人名中選舉權ヲ失ヒ若クハ選舉權ヲ有セサル者アルコトヲ發見シタルトキモ亦同シ

第十九條 議員ヲ選舉スヘキ時ハ少クモ一箇月前ニ其月日及選舉ヲ行フヘキ郡市ノ名選舉スヘキ議員ノ數ヲ記シ府縣知事ハ之ヲ管内ニ告示スヘシ

若シ正議員ノ外補缺員ノ選舉ヲ要スルトキハ別ニ其數ヲ記スヘシ

第二十條 投票所ハ郡ニ於テハ町村長市ニ於テハ市長區ヲ置キタル市ニ於テハ區長之ヲ管理ス

投票所ハ管理者ニ屬スル役所又ハ管理者ノ指定スル場所ニ於テ之ヲ設クヘシ

投票所書記ハ管理者所屬役所吏員ヲ以テ之ニ充ツ

第二十一條 投票所管理者ハ其管理スル投票區域内ニ於ル選舉人中ヨリ立會人三名以上五名以下ヲ指定シ少クモ選舉期日ヨリ三日以前ニ之ヲ本人



ニ通知シ選舉ノ當日投票所ニ參會セシムヘシ  
立會人ハ正當ノ事故ナクシテ其任ヲ辭スルコトヲ得ス  
投票ノ時刻ニ至リ立會人若シ出頭セサルトキハ參會ノ選舉人中ヨリ管理  
者ノ指定ヲ以テ假ニ其員ヲ補フヘシ

第二十二條 立會人ハ名譽職トス郡市ニ於テ旅費日當ヲ給スルコトヲ得

第二十三條 投票並ニ選舉會及當選ノ規定ハ明治二十二年法律第三號衆議  
院議員選舉法第三十四條乃至第六十五條ヲ適用ス但同法中(選舉長)トア  
ルヲ郡長市長トス

第二十四條 府縣會議員選舉ニ關スル罰則ハ明治二十三年五月法律第三十  
九號市町村會議員選舉罰則ヲ適用ス

第二十五條 投票效力ノ有無及選舉ノ效力ニ關シ異議アル者ハ選舉當日ヨ  
リ十四日以内ニ其理由ヲ具シテ府縣參事會ニ訴願スルコトヲ得府縣參事  
會ノ裁決ニ不服アル者ハ裁決ノ日ヨリ十日以内ニ行政裁判所ニ出訴スル  
コトヲ得但訴願又ハ訴訟ノ爲メニ其執行ヲ停止スルコトナシ

第二十六條 當選人當選後資格ノ要件ヲ失フトキハ議員ノ職ヲ失フモノト  
ス

第二十七條 府縣會議員議決スヘキ事件左ノ如シ

一 府縣條例及規則ヲ設クルコト

二 府縣ノ歲入出豫算ヲ定ムルコト

三 決算報告ヲ認定スルコト

四 府縣稅ノ賦課徵收方法ヲ定ムルコト

五 府縣有不動産ノ賣買交換讓渡讓受並ニ質入書入ノコト

六 歲入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除ク外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ及權利  
ノ棄却ヲ爲スコト

七 府縣有財産ノ管理及營造物ノ維持方法ヲ定ムルコト

第二十八條 府縣會ハ其權限ニ屬スル事項ニ付議案ヲ提出スルコトヲ得

第二十九條 府縣會ハ其權限ニ屬スル事件ヲ府縣參事會ニ委任スルコトヲ  
得

第三十條 府縣會ハ官廳ノ諮問アルトキハ意見ヲ陳述スヘシ

府縣會ハ其府縣ノ全部又ハ一部ノ利害ニ關スル事件ニ付府縣知事又ハ内  
務大臣ニ建議スルコトヲ得

第三十一條 府縣會ハ其議員資格ノ有無及選舉ノ效力ニ關シ府縣知事ノ請  
求ニ依リ又ハ議員三名以上ノ發議ニ依リ自ラ之ヲ議決スルコトヲ得但先  
キニ府縣參事會ノ裁決若クハ裁判言渡アリタル同一ノ事件ニ付議決スル  
コトヲ得ス

議員資格審査ノ動議アルモ其資格ナキコトヲ證明セラルハニ至ルマデハ  
議會ニ於テ位列及發言ノ權ヲ失ハス但自身ノ資格審査ニ關スル會議ニ對  
シテハ辯明スルコトヲ得ルモ其表決ニ與ルコトヲ得ス

本條ノ議決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得此場合ニ於テ  
ハ裁判確定スルニアラサレハ更ニ選舉ヲ爲スコトヲ得ス

第三十二條 府縣會ハ改選後ノ初會ニ於テ議長及副議長各一名ヲ互選スヘ  
シ其任期ハ二年トス議長副議長辭職又ハ其他ノ事故ニヨリ缺位ナリタル  
トキハ後任者任期ハ猶前任者ノ任期ニヨル

議長副議長共ニ故障アルトキハ臨時議長ヲ互選スヘシ

第三十三條 府縣知事若クハ特ニ委任ヲ受タル府縣官吏ハ府縣會ノ議事ニ  
參與スルコトヲ得但議決ノ數ニ加ハルコトヲ得ス

第三十四條 府縣會ハ毎年一回秋季ニ於テ通常會ヲ開ク通常會期ハ三十日  
以内トス其他必要アルトキハ其事件ニ限リ七日以内ヲ會期トシテ臨時會  
ヲ開クコトヲ得

府縣會ハ府縣知事之ヲ招集ス其招集ハ開會ノ日ヨリ十四日前迄ニ告示ス  
ヘシ但急施ヲ要スル場合ハ此限ニアラス

府縣會ハ府縣知事之ヲ招集ス其招集ハ開會ノ日ヨリ十四日前迄ニ告示ス  
ヘシ但急施ヲ要スル場合ハ此限ニアラス

第三十五條 府縣會ハ議員半數以上出席スルニアラサレハ會議ヲ開キ議決  
ヲ爲スコトヲ得ス

第三十六條 府縣會ノ議決ハ過半數ニ依ル可否同數ナルトキハ議長ノ決ス  
ル所ニ依ル

第三十七條 議員ハ自己及其父母兄弟若クハ妻子ノ一身上ニ關スル事件ニ  
付テハ議會ノ承諾ヲ經ルニ非サレハ府縣會ノ議事ニ參與シ及議決ニ加ハ  
ルコトヲ得ス

第三十八條 府縣會ノ會議ハ公開ス但議長ノ意見ニ依リ又ハ府縣知事ノ要  
求若クハ議員五名以上ノ發議ニ依リ可決シタルトキハ傍聽ヲ禁止スルコ  
トヲ得

前項ノ場合ニ於テハ討論ヲ用ヒシテ其可否ヲ決スヘシ

第三十九條 東京府京都府大阪府々會ノ職權ニ屬スル事件ニシテ專ラ東京  
市京都市大阪市ニ關スルモノト專ラ其他ノ部分ニ關スルモノト分別スル  
コトヲ要スルモノアルトキハ府縣會議決ニ依リ之ヲ分別スルコトヲ得

前項ノ分別ニ依リ專ラ東京市京都市大阪市ニ關スルモノハ其郡部議員ニ  
於テ其事件ノ議事ニ參與シ及議決ニ加ハルコトヲ得ス其他ノ部分ニ關ス  
ルモノハ市部議員ニ於テ其事件ノ議事ニ參與シ及議決ニ加ハルコトヲ得  
ス此場合ニ於テハ郡部議員市部議員ニ於テ各臨時議長ヲ互選スヘシ

此法律中東京府京都府大阪府會市部議員トアルハ東京市京都市大阪市ニ  
於テ選舉シタル議員ヲ云ヒ郡部議員トアルハ東京市京都市大阪市ヲ除キ  
其他ノ部分ニ於テ選舉シタル議員ヲ云フ

第四十條 議長ハ議事ノ順序ヲ定メ會議及選舉ノ事ヲ總理シ其日ノ會議  
ヲ開閉シ並ニ延會シ議場ノ秩序ヲ保持ス

第四十一條 議員ハ會議中無禮ノ語ヲ用ヒ及他人ノ身上ニ涉リ言論スル

コトヲ得ス

第四十二條 會議中此法律若クハ議事規則ニ違ヒ其他議場ノ秩序ヲ紊ル

議員アルトキハ議長ハ之ヲ警戒シ又ハ制止シ又ハ發言ヲ取消サシム命ニ

從ハサルトキハ議長ハ當日ノ會議ヲ終ルマテ發言ヲ禁止シ又ハ議場外ニ

退去セシム若シ強抗ニ涉ル者アルトキハ警察官ヲシテ之ヲ退去セシムル

コトヲ得

議場騷擾ニシテ整理シ難キトキハ議長ハ當日ノ會議ヲ中止シ又ハ之ヲ閉

ツルコトヲ得

第四十三條 議員議場ノ秩序ヲ紊ルコト二回以上ニ及フ者アルトキハ議長

又ハ議員ノ發言ニ依リ議會ノ議決ヲ以テ七日以内其出席ヲ停止スルコト

ヲ得

第四十四條 傍聽人公然可否ヲ表シ又ハ喧騒ニ涉リ其他議事ノ妨害ヲ爲ス

モノアルトキハ議長ハ之ヲ制止シ若シ命ニ從ハサルトキハ警察官ニ命シ

テ之ヲ退場セシムルコトヲ得

傍聽席騷擾ナルトキハ議長ハ總テノ傍聽人ヲ退場セシムルコトヲ得

第四十五條 第四十二條第四十四條ニ依リ議長ノ命ニ應セシムル爲府縣知

事東京府ハハ每會期警察官ニ議場掛事務ヲ命スヘシ

第四十六條 府縣會ニ書記ヲ置キ議長ニ隸屬シテ庶務ヲ處理セシム

書記ハ議長之ヲ選任ス

第四十七條 府縣會書記ヲシテ議事錄ヲ製シ議決及選舉ノ顛末並ニ出席議

員ノ氏名ヲ記錄セシムヘシ議事錄ハ議長及議員二名以上之ニ署名スヘシ

其議員ハ議會ニ於テ豫メ之ヲ定メ議事錄中ニ其氏名ヲ記載シ置クヘシ

第四十八條 府縣會ハ議事細則及傍聽人取締規則ヲ設クヘシ

第三章 府縣行政

第一款 府縣參事會及府縣吏員委員ノ組織

第四十九條 府縣ニ參事會ヲ置キ府縣知事名譽職參事會員ヲ以テ之ヲ組織

ス

府ノ名譽職參事會員ハ十名トス郡部議員ニ於テ其議員中ヨリ五名ヲ互

選シ市部議員ニ於テ其議員中ヨリ五名ヲ互選スヘシ

縣ノ名譽職參事會員ハ六名トス縣會ニ於テ其議員中ヨリ之ヲ互選スヘシ

府縣名譽職參事會員ノ定數ハ其府縣ノ便宜ニ依リ府縣條例ヲ以テ増減ス

ルコトヲ得

第五十條 府參事會ハ府縣知事ヲ以テ議長トス

議長故障アルトキハ出席會員中ヨリ臨時議長ヲ互選ス

第五十一條 府縣會ハ改選後ノ初會ニ於テ名譽職參事會員ノ補充員ハ十

名縣ハ六名ヲ互選シ其名譽職參事會員ノ缺員アルトキハ府縣知事ニ於テ

補員中投票多數ノ順次ニ依リ之ヲ補充シ仍缺員ヲ生スルトキハ二箇月以

内ニ臨時其選舉ヲ行フヘシ但其補充シタル者ハ前任者ノ任期中在職スル

モノトス

第五十二條 名譽職參事會員ノ任期ハ議員ノ任期ニ從フ但任期滿限ノ後ト

雖モ後任者就職ノ日マテ其職務ヲ繼續スルモノトス

第五十三條 府縣知事ハ府縣會ノ議決ニ依リ府縣ノ費用ヲ以テ府縣有財產

若クハ營造物ノ管理又ハ土木工事ニ必用ナル有給ノ府縣吏員ヲ置クコト

ヲ得但府縣吏員ハ府縣知事ニ於テ之ヲ任免監督ス

府縣吏員ノ給料手當及退隱料等ハ府縣會ノ議決スル處ニ依ル其身元保證

金ヲ要スルトキ其金額ヲ定ムルモ亦同シ

第五十四條 府縣知事ハ府縣會ノ議決ヲ經テ臨時又ハ常設ノ委員ヲ置キ府

縣事務ノ一部ヲ調査セシメ又ハ府縣有財產及營造物ノ一部ヲ管理セシム

ルコトヲ得其選舉又ハ選任ノ方法及任期ハ府縣會ノ議決スル所ニ依ル

常設委員ノ組織及職務權限ニ關シテハ府縣條例ヲ以テ規定ヲ設クルコト

ヲ得

委員ハ名譽職トス

第二款 府縣參事會及府縣吏員ノ職務

第五十五條 府縣參事會ノ職務權限左ノ如シ

一 府縣會ノ議決及府縣條例ノ執行ニ關スル府縣令ヲ議決スルコト

二 府縣會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ其委任ヲ受ケタルモノヲ議決スル

コト

三 府縣會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ臨時急施ヲ要シ府縣知事ニ於テ府

縣會ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルトキハ府縣會ニ代テ議決ヲ爲スコ

ト

四 府縣會ノ定メタル方法ノ範圍内ニ於テ府縣有財產ノ管理又ハ營造物

ノ維持ニ關シ必要ナル事件ニ付議決ヲ爲スコト

五 府縣ノ費用ヲ以テ支辨スル工事ノ方法順序其他必用ナル事件ニ付議

決ヲ爲スコト

六 府縣知事及其他官廳ノ諮問ニ對シ意見ヲ述フルコト

七 臨時必要アルトキ府縣ノ出納ヲ檢査スルコト

第五十六條 府縣參事會ハ府縣知事之ヲ招集ス會員半數以上ノ請求アルト

キハ府縣知事ハ府縣參事會ヲ招集スヘシ

第五十七條 府縣參事會ノ會議ハ府縣會議員ノ外傍聽ヲ許サス

第五十八條 府縣參事會ハ名譽職參事會員半數以上出席スルニ非サレハ會

議ヲ開キ議決ヲ爲スコトヲ得ス

府縣參事會ノ議決ハ過半數ニ依ル可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ

依ル

議決ノ事件ハ之ヲ議事錄ニ登記シ議長及名譽職參事會員二名以上之ニ署

名スヘシ

第五十九條 府縣參事會ハ自己及其父母兄弟若クハ妻子ノ一身上ニ關スル事件ニ付府縣參事會ノ議事ニ參與シ及議決ニ加ハルコトヲ得ス

前項規定ノ爲メ出席ノ參事會員減少シテ第四十九條ノ數ヲ得サルトキハ府縣知事ハ補充員ヲ以テ臨時ニ之ニ充テ仍其數ヲ得サルトキハ府縣會員ニシテ該事件ニ關係ナキ者ノ内ヨリ臨時ニ指名シ名譽職參事會員ノ不足ヲ補充シテ第四十九條ノ定數ニ滿タシムヘシ

第六十條 市制町村制ノ規定ニ依リ府縣參事會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ二府縣以上ノ郡市町村ニ交渉スルモノアルトキハ其府縣知事ノ具狀ニ依リ内務大臣ニ於テ其事件ヲ管理スヘキ府縣參事會ヲ指定スヘシ

第六十一條 東京府京都府大阪府參事會ノ職權ニ屬スル事件ニシテ專ラ東京府京都市大阪市ニ關スルモノハ其郡部名譽職參事會員ニ於テ其事件ノ議事ニ參與シ及議決ニ加ハルコトヲ得ス其東京府京都市大阪市外ノ市町村若クハ郡ニ關スルモノハ市部名譽職參事會員ニ於テ其議事ニ參與シ及議決ニ加ハルコトヲ得ス

此法律中東京府京都府大阪府ノ市部名譽職參事會員トアルハ市部議員ニ於テ選舉シタル名譽職參事會員ヲ云ヒ郡部名譽職參事會員トアルハ郡部議員ニ於テ選舉シタル名譽職參事會員ヲ云フ

第六十二條 府縣知事ハ府縣會及府縣參事會ノ議決ヲ施行シ及府縣有財產及營造物ヲ管理シ並ニ府縣ノ費用ヲ以テ支辨スル工事ヲ執行ス府縣ニ於テ他人ニ對シ義務ヲ負擔スヘキ證書及委任狀ニハ知事ノ外名譽職參事會員二名以上之ニ署名捺印スヘシ

前項ノ文書中府縣會又ハ參事會ノ職權ニ屬スル事件ニシテ其議決ヲ經タルモノハ總テ其旨ヲ記スヘシ

第六十三條 府縣知事ハ前條第一項ニ記載シタル職務ノ執行ニ付又ハ法律勅令若クハ特別ノ委任ニ依リ其職權ニ屬スル職務ノ執行ニ付必要ナル府縣令ヲ發スルコトヲ得

第六十四條 府縣會ニ於テ名譽職參事會員ヲ選舉セス又參事會員成立セス又ハ招集ニ應セサルトキハ參事會成立シ又ハ招集ニ應スル迄府縣知事ハ府縣參事會ノ權限ニ屬スル事件ヲ專決處分スルコトヲ得

非常事變ニ際シ府縣參事會ヲ招集スルノ暇ナク又ハ名譽職參事會員ノ出席半數以上ニ至ラサルトキハ府縣知事ハ府縣參事會ノ權限ニ屬スル事件ヲ專決處分スルコトヲ得

本條ノ處分ハ次回ノ府縣會々議ニ於テ認定ヲ受クヘシ

第四章 府縣ノ會計

第六十五條 府縣稅及備荒儲蓄金ノ經濟ニ屬スル財產及營造物並ニ備荒儲蓄金ハ此法律施行ノ日ヨリ府縣ノ所有トス但備荒儲蓄金ノ徵收蓄積及支出方法ハ該法ノ規定スル所ニ依ル

第六十六條 府縣有財產ノ賣買貸借又ハ建築工事及物品調達ノ請負ハ總テ

公ノ競爭ニ付スヘシ但特ニ府縣會ノ承認ヲ得ルモノハ此限ニアラス

府縣會ハ府縣條例ヲ以テ前項但書ニ關スル規程ヲ設クルコトヲ得

第六十七條 府縣ノ權利義務ニ屬スル諸費及法律命令若クハ慣例ニ依リ府縣ノ負擔トナルヘキ事務ニ關スル費用ハ府縣ニ於テ之ヲ支辨スヘシ

第六十八條 名譽職參事會員及委員ニハ旅費滞在手当及出務日當ヲ給スルコトヲ得府縣會議員ニハ旅費及滞在手当ニ限リ之ヲ給スルコトヲ得

府縣會ハ府縣條例ヲ以テ前項ニ關スル支給額及方法ヲ規定スルコトヲ得

第六十九條 府縣ノ支出ハ府縣稅其他府縣ノ收入ヲ以テ之ニ充ツ

第七十條 府縣稅目及其賦課徵收方法ニ關スル規定ハ此法律ニ依リ變更シタルモノヲ除ク外從前地方稅ニ關スル規定ニ依ル

第七十一條 府縣知事ハ府縣會ノ決議ニ依リ内務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受ケ其府縣ノ全部若クハ市制施行ノ地ニ家屋稅ヲ賦課スルコトヲ得但家屋稅賦課ノ地ニ於テハ戶數割ヲ賦課スルコトヲ得ス

第七十二條 府縣内ニ土地家屋ヲ所有セ又ハ店舗ヲ定メテ營業ヲ爲ス者ハ其土地家屋營業ニ對シテ賦課スル府縣稅ヲ納ムルモノトス其法人タルトキモ亦同シ但郵便電信及官設鐵道ノ業ハ此限ニアラス

府縣内ニ一戶ヲ構ヘ三箇月以上ニ及フ者ハ其戶數ニ對シテ府縣稅ヲ納ムルモノトス但其課稅ハ一戶ヲ構ヘタル初メニ遡リ徵收スヘシ

第七十三條 府縣稅ノ賦課ニ付テハ納稅者カ其府縣外ニ於テ店舗ヲ定メタル營業ノ收入ヲ其標準ニ算入スルコトヲ得ス

第七十四條 府縣會ハ各市町村内ニ於テ徵收スル府縣稅賦課ノ細目ニ係ル事項ヲ關係市町村會ノ議決ニ付スルコトヲ得

前項市町村會ノ議決ハ法律命令又ハ府縣會ノ議決ニ牴觸スルコトヲ得ス

市町村會ニ於テ府縣會ノ指定シタル期限内ニ其議決ヲ爲サルトキハ府縣參事會之ヲ議決スヘシ

第七十五條 營業ノ狀況又ハ收入ヲ標準トシテ賦課スル府縣稅ニ付テハ府縣知事ハ府縣會ノ議決ヲ經テ賦課額調査ノ爲メ其府縣内郡市ニ調査委員ヲ置クコトヲ得

第七十六條 府縣稅ノ免除ハ市町村稅免除ノ規定ニ依ル

第七十七條 府縣會ハ府縣内郡市町村ノ土木工事又ハ府縣内ノ教育衛生勸業及慈善ノ事業若クハ營造物ニ對シ補助金ヲ與フルコトヲ議決スルコトヲ得

第七十八條 府縣會ハ家屋稅又ハ戶數割ノ全部又ハ一部ノ代納トシテ府縣費用ヲ以テ支辨スル事業ニ對シ夫役又ハ現品ヲ出スヲ許スコトヲ議決スルコトヲ得

第七十九條 府縣稅ハ納稅義務ノ起リタル翌月ノ始ヨリ免稅理由ヲ生シタル月ノ終リ迄月割ヲ以テ之ヲ徵收スヘシ但日割ヲ以テ徵收スルモノハ此限ニアラス

(二六)

納稅義務消滅シ又ハ變更スルトキハ納稅者ヨリ之ヲ當該官廳ニ届出ツヘシ其届出ヲ爲シタル月ノ終迄ハ從前ノ稅ヲ徵收スヘシ

物體ヲ目的トシ納期ヲ定メテ一定ノ額ヲ賦課スル府縣稅ハ其納期ニ於テ納稅義務ヲ負フ者其額ヲ納ムヘシ

府縣稅ノ前納ニ係ルモノハ其義務ノ消滅シ又ハ他人ニ移轉シタル場合ト雖モ之ヲ還付セス但其義務ノ移轉ヲ受ケタル者ハ其前納期限ノ終迄納稅セサルモノトス

第八十條 府縣稅ノ賦課ニ對シ錯誤アルコトヲ發見シタル者ハ徵稅傳令書交付後三箇月以内ニ之ヲ其傳令書ヲ發シタル廳ニ申立ルコトヲ得但申立ノ爲其納稅ヲ拒ムコトヲ得ス

第八十一條 前條ノ申立ヲ爲シタル後二十一日以内ニ其更正ヲ得サルトキ又ハ其更正ヲ得ルモ之ニ不服ナルトキハ十四日以内ニ郡參事會ニ訴願シ郡參事會ノ裁決ニ不服ナルトキハ其裁決書ヲ交付シ又ハ之ヲ告知シタル日ヨリ十四日以内ニ府縣參事會ニ訴願シ府縣參事會ノ裁決ニ不服ナルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得但市ニ在テハ府縣參事會ニ訴願シ府縣參事會ノ裁決ニ不服ナルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第八十二條 府縣稅ノ免稅若クハ納稅延期ハ特別ノ事情アルモノニ限り府縣知事ニ於テ府縣參事會ノ議決ヲ經テ之ヲ許スコトヲ得

府縣稅ノ滯納處分ハ國稅滯納處分法ニ依ル

第八十三條 東京府京都府大阪府ニ在テハ府ノ支出ニ充ツヘキ府稅ヲ市部及郡部ニ分賦ノ割合ニ府會ニ於テ之ヲ議決シ內務大臣ノ認可ヲ受ケテ施行スヘシ

前項市部ノ分賦額ハ市ニ於テ之ヲ市ノ豫算ニ編入シ市稅トシテ徵收シ其總額ヲ府金庫ニ納ムヘシ郡部ノ分賦額ハ此法律ノ規定ニ依リテ徵收ス但市部議員ハ其徵收ニ關スル議事ニ參與シ及議決ニ加ハラサルモノトス此場合ニ於テ若シ議長副議長市部議員ナルトキハ郡部議員ニ於テ臨時議長ヲ互選スヘシ

第八十四條 府縣内ノ或ル部分ニ對シ特ニ利益アル土木事業ヲ起ストキハ府縣會ノ議決ニ依リ該部分ニ對シ通常府縣稅賦課ノ外其利益ノ厚薄ニ應シ特ニ夫役現品ヲ増課スルコトヲ得

第八十五條 府縣ハ其舊債元額ヲ償還スル爲又ハ天災事變ノ爲已ヲ得サル支出又ハ府縣ノ永久ノ利益ト爲ル可キ支出ヲ要スルニ方リ通常ノ歳入増加スルトキハ府縣ノ負擔ニ堪ヘサル場合ニ限り勅令ノ定ムル所ニ依リ府縣會ノ議決ヲ以テ縣債ヲ起スコトヲ得

府縣債ヲ起スノ議決ヲ爲ストキハ併セテ起債ノ方法利足ノ定率及償還ノ方法ヲ定ムヘシ

府縣債償還ノ初期ハ三年以内ト爲シ年々償還歩合ヲ定メ起債ノ時ヨリ三十年以内ニ還了スヘシ

歳入出豫算ノ支出ヲ爲スカ爲メ必要ナル一時ノ借入金ニシテ其年度内ノ收入ヲ以テ償還スヘキモノハ本條ノ例ニ依ルノ限ニアラス但府縣參事會ノ議決ヲ經ルコトヲ要ス

第八十六條 府縣知事ハ毎年其翌年度ニ係ル歳入歳出豫算ヲ調製スヘシ但府縣會計年度ハ政府ノ會計年度ニ同シ

豫算ハ府縣會ノ議決ニ付スル前府縣參事會ノ審査ニ付スヘシ若シ府縣知事ト府縣參事會ト意見ヲ異ニスルトキハ知事ハ參事會ノ意見ヲ豫算ニ添ヘ府縣會ニ提出スヘシ追加又ハ臨時ノ豫算ニ付テモ亦同シ

內務大臣ハ省令ヲ以テ豫算調製ノ式ヲ定メ並ニ費目流用ニ關スル規定ヲ設クルコトヲ得

第八十七條 豫算ハ毎年府縣會ノ議決ヲ取リ之ヲ內務大臣ニ報告シ並ニ府縣ノ公告式ニ依リ其要領ヲ告示スヘシ追加又ハ臨時ノ豫算ヲ議決シタル場合ニ於テモ亦同シ

府縣ノ費用ヲ以テ支辨スル事業ニシテ數年ヲ期シ施行スヘキモノ又ハ數年ヲ期シテ其費用ヲ支出スヘキモノハ府縣會ノ議決ヲ以テ其年間各年度ノ支出額ヲ定メ繼續費ト爲スコトヲ得

豫算ヲ府縣會ニ提出スルコトキハ府縣知事ハ併テ其府縣有財產表ヲ提出スヘシ

第八十八條 歳入出豫算中ニ豫備費ヲ設クヘシ豫備費ハ府縣知事ニ於テ府縣參事會ノ議決ヲ經テ已ヲ得サル豫算外ノ支出又ハ豫算超過ノ支出ニ充ツルコトヲ得但府縣會ノ否決シタル費途ニ充ツルコトヲ得ス

第八十九條 府縣ノ收支命令ハ府縣知事之ヲ發スヘシ

第九十條 會計事務ヲ管理スル官吏ハ前條ノ命令ニアラサレハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス及命令アルモ支出ノ豫算ナキカ又ハ豫備費支出及費目流用ノ規定ニ依ラサルコトキハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス

第九十一條 決算ハ會計事務ヲ管理スル官吏ニ於テ會計年度後三箇月以内ニ之ヲ府縣知事ニ提出シ府縣知事ハ府縣參事會ヲシテ之ヲ檢査セシメ次回ノ通常府縣會ノ認定ニ付スヘシ

決算報告書並ニ之ニ關スル府縣會ノ議決ハ府縣知事ヨリ之ヲ內務大臣ニ報告シ並ニ決算ハ府縣ノ公告式ニ依リ其要領ヲ告示スヘシ

第五章 監督

第九十二條 府縣行政ハ內務大臣之ヲ監督ス

第九十三條 府縣ノ行政ニ關スル訴願ハ其事件ノ處分若クハ裁決ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ其理由ヲ具シテ內務大臣ニ提出スヘシ

此法律ニ指定スル場合ニ於テ府縣知事ノ處分又ハ府縣參事會ノ裁決ニ不服アリテ行政裁判所ニ出訴セントスルモノハ裁決ヲ受タル日ヨリ二十一日以内ニ出訴スヘシ

行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ヘキ場合ニ於テハ內務大臣ニ訴願スルコ

トヲ得ス

第九十四條 內務大臣ハ府縣行政ノ法律命令ニ背戾セサルヤ其事務錯亂滯滯セサルヤ否ヲ監視スヘシ內務大臣ハ之ヲ爲メ行政事務ニ關シテ報告ヲ爲サシメ豫算及決算等ノ書類帳簿ヲ徴シ並ニ實地ニ就テ事務ノ現況ヲ觀察シ出納ヲ檢閲スルノ權ヲ有ス

第九十五條 府縣會又ハ府縣參事會ノ議決公益ヲ害スト認ムルトキハ府縣知事ハ其理由ヲ示シテ之ヲ再議セシムルコトヲ得猶其議決ヲ改メサルトキハ直チニ內務大臣ニ具狀シテ指揮ヲ請フヘシ

府縣會又ハ府縣參事會ノ議決其權限ヲ超ヘ又ハ法律命令ニ背クト認ムルトキハ府縣知事ハ其議決ヲ取消スヘシ此場合ニ於テ府縣知事ノ處分ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第九十六條 府縣會又ハ府縣參事會ニ於テ法律命令又ハ慣行ニ依テ府縣ノ負擔ニ關スル行政上又ハ公益上ニ關スルノ費用ヲ否決シ又ハ議決スト雖モ必要ノ給需ヲ缺クトキハ府縣知事ハ內務大臣ニ具狀シ其指揮ヲ請フヘシ內務大臣ハ原案ノ金額以內ニ於テ適當ノ金額ヲ定メ指揮スルコトヲ得

第九十七條 府縣會招集ニ應セス又ハ成立セサルトキハ府縣知事ハ內務大臣ノ指揮ヲ請ヒ處分スルコトヲ得

前項ノ處分ハ次回ノ會議ニ於テ之ヲ報告スヘシ

第九十八條 府縣會又ハ府縣參事會ニ於テ其議決スヘキ議案ヲ議決セス又ハ第三十四條第一項ニ定メタル期限ニ議了セサル場合ニ於テ其事務緊急ヲ要スルトキハ府縣知事ハ內務大臣ニ具狀シ其指揮ヲ請フヘシ內務大臣ハ原案金額以內ニ於テ適當ノ金額ヲ定メ指揮スルコトヲ得

第九十九條 內務大臣ハ府縣ノ歲入出豫算中不適當ノ支出ト認ムル費目アルトキハ之ヲ削減スルコトヲ得此場合ニ於テハ收入科目中ニ就キ之ニ相當スル收入額ヲ減殺スヘシ

第一百條 內務大臣ハ府縣條例又ハ府縣令ノ規定公益ヲ害シ法律勅令ニ背キ又ハ權限ヲ犯ス者アルト認ムルトキハ之ヲ取消シ又ハ中止セシムルコトヲ得

第一百一條 府縣會ノ解散ハ勅令ヲ以テス此場合ニ於テ三箇月以內ニ議員ヲ改選スヘシ

前項解散ノ場合ニ於テハ名譽職參事會員モ亦解職スルモノトス

府縣會解散ノ後改選了ニ至ル迄ノ間急施ヲ要スル事件アルトキハ府縣知事ハ專決處分スルコトヲ得

前項ノ處分ハ次回ノ會議ニ於テ報告スヘシ

第一百二條 左ノ事件ニ關スル府縣會ノ議決ハ內務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

一 新ニ府縣債ヲ起シ又其額ヲ増加シ若クハ償還ノ方法ヲ變更スルコト

二 地租四分ノ一ヲ超過スル府縣稅ノ土地ニ賦課スルコト

三 法律勅令ノ規定ニ依リ官廳ヨリ下渡シ歩合金ニ對シ支出金額ヲ定ムルコト

第一百三條 左ノ事件ニ關スル府縣會ノ議決ハ內務大臣ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス

一 府縣條例ヲ設ルコト

二 府縣有不動產ノ賣買讓渡讓受並ニ質入書入ノコト

三 第八十四條ニ依リ府縣內ノ或ル部分ニ對シ特ニ夫役現品ヲ增課スルコト

四 第八十七條第二項ニ依リ繼續費ヲ定メ及其年期内ニ議決ヲ變更スルコト

### 第六章 附則

第一百四條 市制町村制施行ノ爲メ定ムル直接稅ノ種類ハ此法律ノ施行ニ付テモ亦之ヲ適用ス市制町村制郡制及此法律施行ノタメ將來ノ諸稅ニ付直接稅ト爲スヘキ者ハ內務大臣大藏大臣之ヲ告示スヘシ

第一百五條 此法律ハ郡制市制ヲ施行シタル各府縣ニ施行スルモノトス其施行ハ明治二十六年四月一日ヨリ施行スルモノトス

第一百六條 此法律施行ノ後ハ市制第二百二十二條第三ニ定ムル附加稅徵收ノ許可ハ東京市京都市大阪市ニ在リテ地租二分ノ一其他市ニ在テハ其四分ノ一ヲ超過スルトキ之ヲ要スルモノトス

第一百七條 府縣內ニアル島嶼ノ其本地ニ對スル關係ニ付テハ勅令ヲ以テ特例ヲ設ク

郡制ヲ施行セサル島嶼ヨリ選出スヘキ府縣會議員ノ選舉ニ關シテハ別ニ勅令ヲ以テ其制ヲ定ム

第一百八條 明治十三年四月第十五號布告府縣會規則明治十四年二月第八號布告區郡部會規則明治二十二年二月法律第六號府縣會議員選舉規則明治二十三年五月法律第三十五號府縣制其他此法律ニ牴觸スル成規ハ此法律施行ノ府縣ニ於テ其施行時期ヨリ總テ之ヲ廢止ス

第一百九條 內務大臣ハ此法律施行ノ責ニ任シ之ヲ爲メ必要ナル命令ヲ發布スヘシ

○波多野傳三郎君(百十八番) 政談集會政社法ノ僅ノ字句デゴザリマスルガ、是ハ開クト云フ儀式丈ハセネバナラスト思ッテ、先刻發言ヲ求メマシタガ、第四ノ日程ニ移リマシタナラバ已ムヲ得マセヌ

○議長(星亨君) 朗讀ハ省キマス

(朝長慎三君演壇ニ登ル)

○朝長慎三君(二百八十五番) 本案ハ隨分條項ガ多クアリマシテ先ヅ此短イ會期ニ向ッテ甚ダ諸君モ御不満足カモ知レマセヌ、ケレドモ既ニ此府縣制ノ改正ニ於テハ第一回ニモ出シ、ソレカラ第二回ニモ出シ、遂ニ不幸ニシテ議スルコトガ出來マセヌデ、此回ニ出スコトニ及ビマシタ譯デゴザイマス、其



實際ニ於テハ諸君モ知ラル、通、目下郡制ヲ布キ續イテ府縣制ヲ布クト云フコトニ際シテ居リマスル、然ルニ現行ノ府縣制ハ最モ不完全デ之ヲ布クヤ直チニ改正ト云フコトニナツテハ、實際甚ダ不便アルカラ、先ハ改正ヲ俟ッテ布クト云フ、即チ各府縣ノ有様ニナツテ居リマス、就イテハ此僅ナル會期デアルケレドモ、成ルベク此府縣制ハ改正ヲシテ先ツ茲デ結了スル方ニ致シタ方ガ、誠ニ各府縣ニ取ツテ便利ダラウト思ヒマス、——今日ハ最早諸君モ餘程御草臥ノ様デアリマスカラ、唯改正ノ主タル所ノ要點ヲバ簡單ニ述ベテ置キマス、先ツ此改正ノ要點ト云フノハ、第一ニ市町村制度ト凡ソ比准ヲ取ルト云フコトニ先ツ目安ヲ立テマシタノデアリマス、此市町村制度ハ諸君ノ知ラル、通ニ、先ツ今日ノ制度ニ於テハ稍、完全ナモノト認メテ居リマスルガ、之ニ准ジテ郡制府縣制ハ何分比准スルコトハ出來ナイ、ソレカラ此選舉權ノコト其他先ツ此行政ト立法トノ區別ノナイコト、マースウ云フ所ニ至ッテドウシテモ改正ヲシナケレバナラス、ソレデ此理由書ニモ簡單デアリマス、ケレドモ舉ゲテアリマスル通ニ先ツ一番此重ナルモノト云フモノハ、選舉權ヲサセルト云フノハ、既ニ一般ノ輿論デアツテ、之ニ就イテハ辯ズルニ足リマセヌ、實ニ複選ト云フコトハ大變弊害モアルレ、最早現在是迄布イタル所ニ於テ弊害ヲ感シテ、今日ハ其弊害ヲ改メントシテ居ル所デゴザイマス、ソレカラ此參事會ノ性質デアル、現行法デハ先ツ行政ト凡ソ混淆ノ様ナコトニナツテ居リマシテ、格別行政ヤラ立法ヤラ、能ク判別シナイ、先ツ言ハハ行政組織ト云フ位デアリマス、ソレデ到底此立法ト行政トハ成ルベク一ツ區別ヲ附ケナケレバナラス、ソレ故ニ此參事會ハ先ツ立法組織ト云フ性質ヲ以チマシテ、是迄ノ現行法ト性質ヲ變ヘテ居リマス、ソレデ先ツ縣會ノ權限ヲ廣クスルト云フノハ改正ノ精神デアリマス、ケレドモ其範圍内ニ於テ參事會ハ運動ガ出來テ、先ツ參事會ハ行政ノ方ニ立入ルコトハシナイヤウニシテアリマス、其外府縣條例ヲ設ケ是モ其今日ニ於テハ先ツ必要ナコトデアル、デ其外此大體ニ於キマシテハ、マダ餘程自治體ノ方ニ進メタイ、モウ一ツハ府縣モ自治體ノ方ニ擴張シテ行キタイト云フノハ、萬々望ム所デアリマス、ケレドモマダ今日ノ程度デハ餘リ府縣迄ドウモ其自治權ヲ廣クスルト云フコトハ、マダ弊害ヲ生スルカモ知レマセヌ、ソレデ我々ハモウ少シ此自治體ヲ擴張シタイト云フコトハ希望デアリマス、ケレドモ先ツ府縣丈ハ少シク郡制ヨリモ自治ト云フ度ヲ低クメテ、先ツ是位ノ所ニ止メテ置キマシテ譯デゴザイマス、又自然御質疑等ガアレハ其條項ニ依ツテ御答モ致シマセウ、何レ此點ニ就イテハ我々ノ是迄調ベテ居ルコトデアリマス、ケレドモ愈々之ヲ以テ判然ト云フ譯ニモ諸君ニ於テ御認モナイデゴザイマセウ、是等ノ長イコトハ宜シ

ク委員ヲ設ケテ其委員デ調査ヲシテ、然ル後議了スルコトニシタナレバ、尙ホ完全ヲスルデアラウト思ヒマス、宜シク御贊成アラントヲ希望致シマス

○渡邊洪基君(四十一番) 本員ハ之ニ反對ノ意見ヲ述ベヤウト思ヒマス

○議長(星亨君) 通告ガアリマス

○渡邊洪基君(四十一番) 通告ハ撤回致シマシタ

(渡邊洪基君演壇ニ登ル)

○渡邊洪基君(四十一番) 此短期ナル議會ノ間ニ拘ラズ、多條ノ府縣制改正案ガ出マシタガ、之ヲ一々之ニ就イテ駁撃スルノ要ハアルマイト考ヘマス、單簡ニ一ツ私ノ不同意ノコトヲ申サウト思ヒマス、凡ソ此自治區ト云フモノハゴク之ヲ大ニスレバ、一國ノ自治、是ガ一番大切ノモノデアル、ソレカラ之ヲ小ニシテハ町村ノ自治ト云フモノガ大切デアツテ、其間ニ幾ツモ自治區ト云フモノハ大抵許サヌコトデアアルンデス、餘リ自治區ヲ幾ツモ拵ヘルヲ保ツコトハ出來ヌヤウニナリマス、依ツテ本員ハ即チ此郡制ノコトモ不同意デアアルノデアル、此府縣制ニ於テモ亦不同意ヲ唱ヘザルヲ得マセヌ、今一寸仰セラレタ中ノ即チ參事會ノ行政官タルコトハ判然デナイト云フコトヲ仰セラレタガ、參事會ハ市デモ即チ行政官デアアル參事會ハ決シテ立法官デハゴザイマセヌ、是等ノコトニ至ッテハ尙更見解ノ誤ダラウト考ヘマス、依ツテ先ツ唯今ノ成程府縣制ニ致セ、郡制ニ致セ十分完全ノモノデナイコトハ立法ノコトハ、初ハドノ法ト雖モ完全ノ法ト云フモノガアルモノデナイ、又之ヲ完全ニスルノハ矢張歴史上經歴上カラ完全ニスルヨリ外ニハ仕方ガナイ、唯机ノ上デ考ヘテ議論ヲ闡ハシタノデハ、ドウシテモ完全ト云フコトハ言ハレヌ、即チ唯今マデ現行ノ府縣制ナリ郡制ナリ市町村制ナリニ於テモ、多少本員等モ不満足ヲ懷イテ居ルガ、俄ニ之ヲ改正スルハ出來ナイ、モウ少シ行フテ見テ實際ニ差支ノ生シタ時ニ、之ヲ實際ニ就イテ一ツツ、改良ノ效ヲ遂ゲルガ宜シイ、一時ニ斯ウ云フ大キナモノヲ拵ヘルノハ、是ハ出來ナイコトデアアル、又惡ルイコトデアアルト思フ、故ニ各條ニ就イテ反對ヲスルノハ止メマシテ、全體ニ就イテ一時ニ斯ウ云フ改正ヲ……、マダ本當ニ行フテモ見ズ、其一部行フタバカリデ、机上デ考ヘテ見テ之ヲ改正スルノハ宜シクナイト云フヲ以テ、私ハ反對致シマス

○平林九兵衛君(百九十六番) 討論終結ノ動議ヲ起シマス

(贊成々々ノ聲起ル)

○片岡直溫君(百八十一番) 私モ討論終結ニ同意シマスガ、全體此案ハ直接ニ關係スルコトダカラ、最早時期ガ早イトカ、何トカ(討論終結ニナツテ居ルト呼ブ者アリ) 討論終結ト云フコトダカラ、止メマセウ

(討論終結ニ同意賛成々々ト呼ブ者アリ)

○議長(星亨君) 討論終結ノ動議ガ出マシタガ、直チニ決ヲ採リマス、即チ討論終結ニ同意ノ方ハ起立ナサイ

起立者 多數

○議長(星亨君) 多數ト認メマス

○小西甚之助君(二百八十八番) 既ニ討論ハ終結ニナリマシタガ、私ハ之ヲ委員ヲ設ケテ此案ヲ審査セタイト思ヒマス、サウシテ其委員ハ既ニ郡制ノ改正案ヲ提出セラレテ、既ニ……(討論終結ニナツテ居ルト呼ブ者アリ)此特別委員ヲ設ケテ……

○議長(星亨君) 二百八十八番……今迄ノ例ニ依レバ、討論終結ノ後ニ出シタ委員ヲ設ケル說ハ行カヌト云フコトニナツテ居リマス

○小西甚之助君(二百八十八番) 私ハ是ハ可否ヲ論ズルコトノミデアツタト思ヒマス

(採決々々ト呼ブ者アリ)

○議長(星亨君) 決ヲ採リマス

○野出鎬三郎君(四十八番) 是迄討論終結ノ後ニ出シテモ差支ナイヤウニナツテ居ルヤウニ思ヒマス、討論終結ニナツテモ委員ヲ設ケル說ハ宜シイト思ヒマス

○議長(星亨君) ソレハ此間極ツタノデス

○加藤六藏君(二百三十四番) 私ハ此所デ委員ヲ設ケルト云フ說ヲ出シテモ差支ナイト心得ル、即チ衆議院規則ノ第九十條ノ三項ニアリマス、分ラヌナラバ私ハ讀ミマス、委員ヲ設ケルノハ差支ナイ……

○片岡直温君(百八十一番) 此案ノ發言ハ私ガ許サレテ居ルノダ

○加藤六藏君(二百三十四番) 本員ガ許サレテ居ル

○議長(星亨君) 二百三十四番デス

○加藤六藏君(二百三十四番) ソレ見ロ……ソレデ私ハ委員ヲ設ケルト云フ說ヲ提出シマス、ソレニ就イテハ各部デ一名ツツ選ンデ之ヲ全體ニ通算スル、ソレニ就イテ少シク諸君ニ御注意ヲ願ヒタイコトハ、島田三郎君外三名ヨリモ出テ居リマスシ、天竺伊左衛門君外七名ヨリモ之ニ似タル案ガ出テ居リマスカラ、此三案ヲ寄セテ委員ニ付託シタイト思フ、此說ヲ衆議院規則ニ從ッテ提出致シマス

○議長(星亨君) 是ハ先決問題トシテ決ヲ採ラナケレバナラナイ、今迄ノ例ニ依ッテ討論終結ノ後ハ委員說ハ出シテモ行ケナイト云フコトニナツテ居ルト思フ、然ルニ今二百三十四番、ソレニ賛成者モアツテ討論終結ノ後ニ委員說ヲ出シテモ構ハナイト云フ、サウスレバ之ニ就イテ決ヲ採ラナケレバナラ

ナイ

(此時發言ヲ求ムル者多シ)

○牧村眞君(百八十七番) 一旦決議シタコト、既ニ決議シタコトヲ幾度モ同ジコトヲ決議スルモノデナイ

○朝長慎三君(二百八十五番) 委員ヲ置キタイト云フコトハ、既ニ私ガ演壇デ述べテ置キマシタ

○早川龍介君(三十七番) 二百八十五番ハ先程委員ト云フコトハ鮮明ニ述ベラレテアルカラ、ソレニ就イテ決ヲ採ルナラ宜シイガ、討論終結ノ後ニ出タノハ行ケナイ

○議長(星亨君) サウスデスカ……、二百八十五番ノ說ハ委員ヲドウスルト云フノデスカ

○朝長慎三君(二百八十五番) 矢張各部デ選舉シテツレカラ通算スルト云フ考デアリマス

○議長(星亨君) ソレデハ今迄ノ例ニ據ルト云フノデスナ

○朝長慎三君(二百八十五番) サウス

○加藤六藏君(二百三十四番) 私ノモサウ云フ說デス

○議長(星亨君) ソレデモ討論終結ノ後ニ出タノハ行ケナイ、二百八十五番ノ委員ハ各部デ選ンデ通算スルト云フ、此委員ヲ置クト云フ說ニ賛成ノ方ハ起立ナサイ

起立者 少數

○議長(星亨君) 少數ト認メマス、委員ハ置カナイコトニ極マリマシタ

○伊藤大八君(九十七番) 少數デハナイ、少數ナラバ異議ヲ申立デマス  
(賛成々々ノ聲起リ、ヨセ……ト呼ブ者アリ、速ニ採決ヲ望ムト呼ブ者アリ)

○議長(星亨君) 次ニ本案ノ二讀會ヲ開クベキヤ否ヤノ決ヲ採リマス、即チ二讀會ヲ開クト云フ說ニ賛成ノ諸君ハ起立ナサイ

起立者 少數

○議長(星亨君) 少數ト認メマス、二讀會ハ開カヌト云フコトニナリマシタ

(拍手スル者アリ)

是ヨリ明日ノ議事日程ヲ報道致シマス

(水野書記官朗讀)

午後一時開議

- 第一 明治二十四年勅令第四十六號(政府提出)(特別委員)
- 第二 民法商法施行延期法律案(貴族院提出) 第一讀會
- 第三 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第四 製鋼原料調査並ニ製鋼試驗ニ關スル建議案（岡崎運兵衛君外二名提

出緊急事件）

○議長（星亨君） 散會致シマス

午後六時散會

衆議院速記録正誤

| 頁            | 段    | 行                   | 誤   | 正                  |
|--------------|------|---------------------|-----|--------------------|
| 自三四五<br>至三四九 | 欄外見出 | 白根政府委員ノ演説五月二十八日ノ續開口 | 三五〇 | 上三一 精氣 續々氣         |
| 三四三          | 上 一七 | 口                   | 三五六 | 上 二 (星亨君) ○議長（星亨君） |
|              |      | 間口                  | 三五六 | 上 三 ○議長ハ忽          |

